

**松山市こども計画策定のためのアンケート調査  
結果報告書**

**令和6年10月  
松山市**

## 目次

1 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査の設計 .....	1
(3) 回収状況 .....	1
(4) 調査結果の表示方法.....	2
2 小中学生調査.....	3
(1) 基本情報 .....	3
(2) 健康について .....	4
(3) あなた自身について.....	5
(4) 生活状況 .....	15
(5) 居場所について .....	22
(6) こどもの権利 .....	24
(7) 松山市への意見 .....	27
3 高校生以上調査 .....	34
(1) 基本情報 .....	34
(2) 健康について .....	36
(3) あなた自身について.....	39
(4) こどもの権利 .....	49
(5) 松山市への意見 .....	53
(6) 生活状況【17歳以下が回答】 .....	61
(7) 居場所について【17歳以下が回答】 .....	66
(8) 結婚・出産について【18歳以上が回答】 .....	68
(9) 子育てについて【18歳～64歳以下が回答】 .....	76
(10) こどもの生活状況について【小学生以下のこどもがいる方が回答】 .....	81

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

こども基本法第10条に基づき、本市のこども施策の指針となる「松山市こども計画」（以下、「こども計画」という。）の策定にあたって、こども、若者、子育て当事者等、幅広く市民の声を反映するとともに、今後、こども・若者施策を推進するための基礎資料としてアンケート調査を実施しました。

## (2) 調査の設計

調査対象	小学5年生以上の市内在住者（市内の学校等に通学する学生を含む）
調査方法	LoGoフォームを活用したインターネット調査（無記名式）
調査期間	令和6年5月16日～6月10日

## (3) 回答状況

回答者の年代	回答数
小学生（10歳、11歳）	2,599件
中学生（12歳～14歳）	2,599件
15歳～17歳	762件
18歳～39歳	768件
40歳～64歳	1,107件
65歳以上	63件
不明	67件
合計	7,965件

※令和6年4月1日時点での年齢

#### (4) 調査結果の表示方法

- 設問ごとの集計母数は表、グラフ中に (n = ○○) と表記。
- 集計結果の百分率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

## 2 小・中学生調査

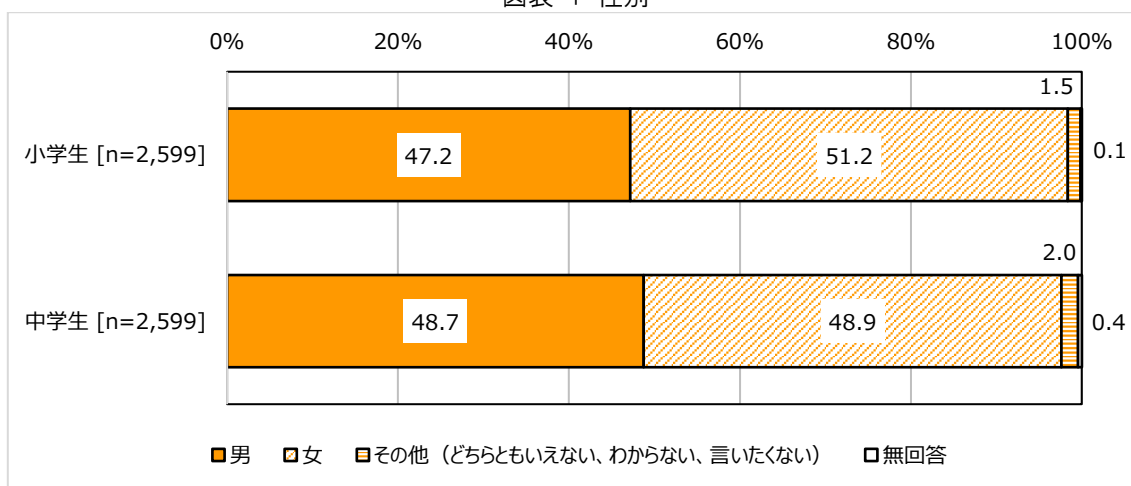
### (1) 基本情報

#### ①性別

性別は、小学生では、「女」が51.2%、「男」が47.2%、「その他（どちらともいえない、わからない、言いたくない）」が1.5%となっている。

中学生では、「女」が48.9%、「男」が48.7%、「その他（どちらともいえない、わからない、言いたくない）」が2.0%となっている。

図表 1 性別

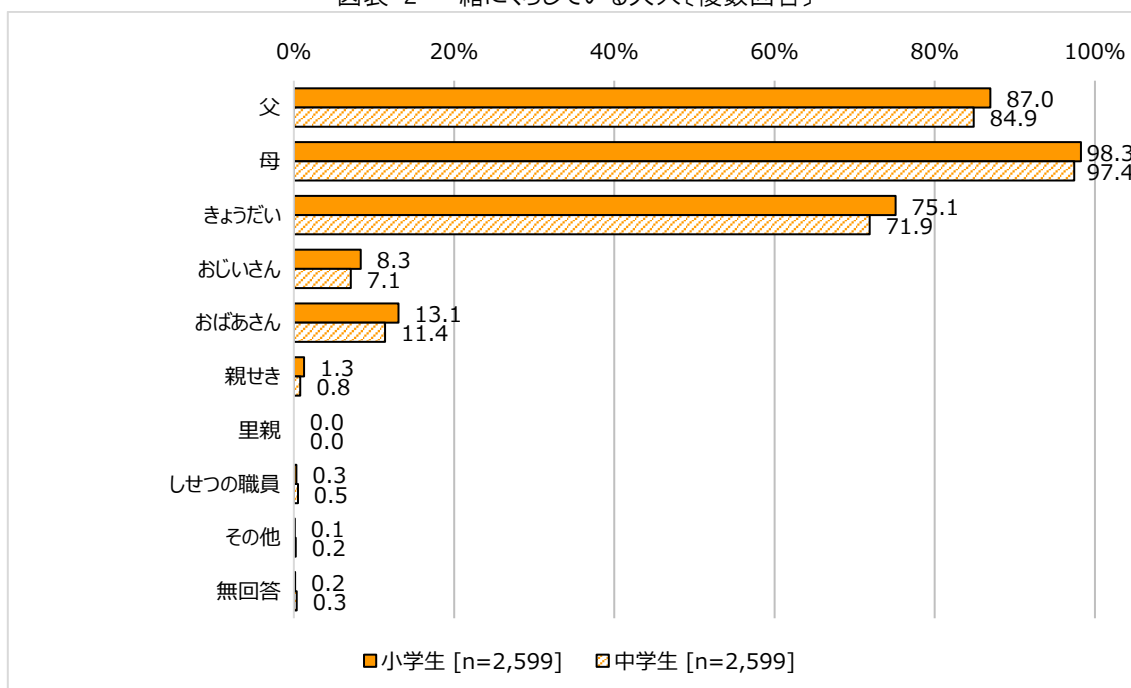


#### ②現在の同居者

現在の同居者は、小学生では、「母」が98.3%、「父」が87.0%、「兄弟姉妹」が75.1%となっている。

中学生では、「母」が97.4%、「父」が84.9%、「兄弟姉妹」が71.9%となっている。

図表 2 一緒にくらしている大人〔複数回答〕

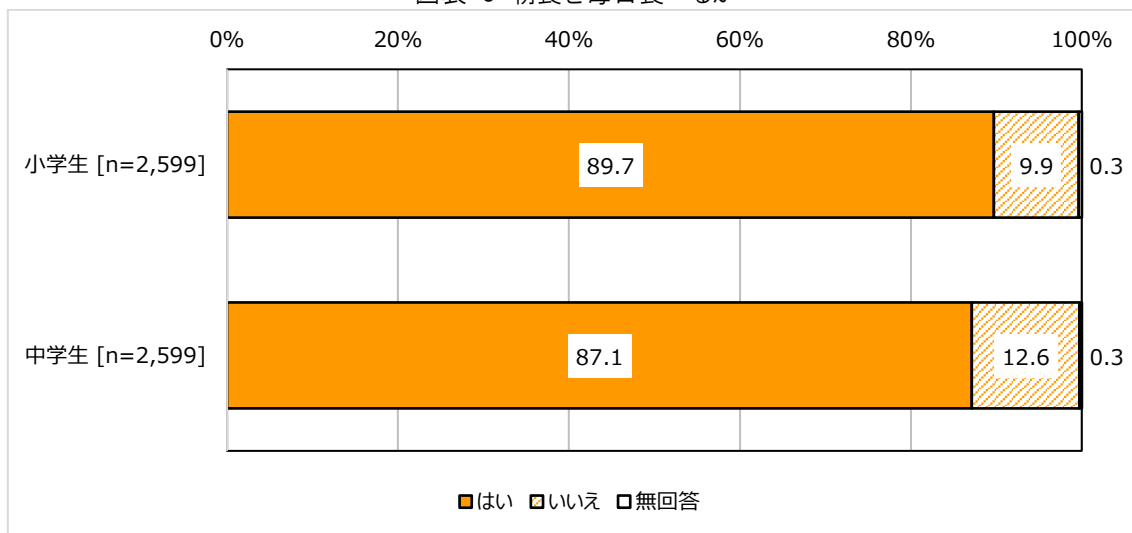


## (2) 健康について

### ①朝食を毎日食べるか

朝食を毎日食べるかについては、小学生では、「はい」が89.7%、「いいえ」が9.9%となっている。  
中学生では、「はい」が87.1%、「いいえ」が12.6%となっている。

図表 3 朝食を毎日食べるか

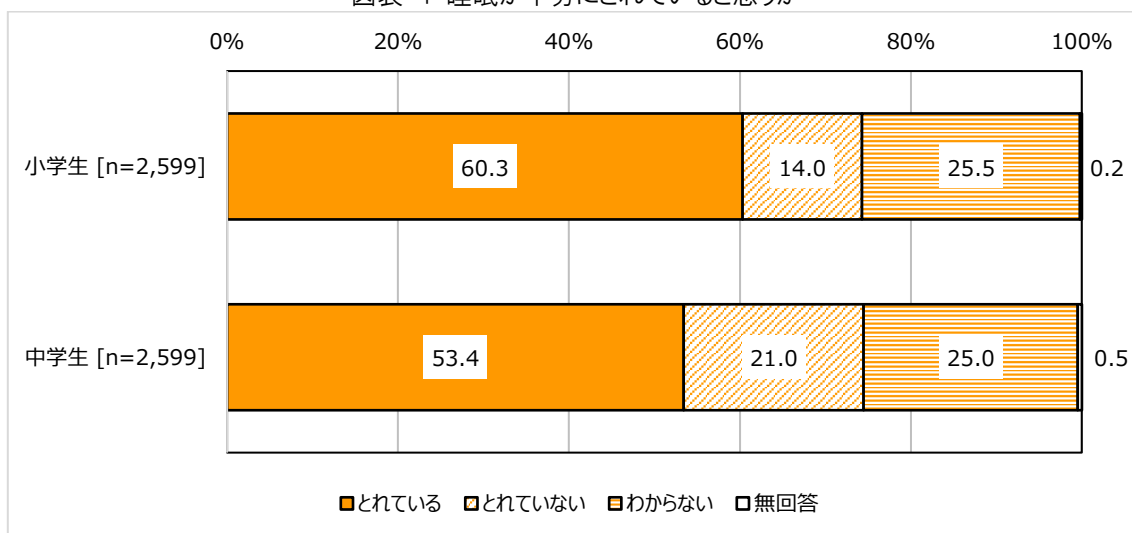


### ②睡眠が十分にとれていると思うか

睡眠が十分にとれていると思うかについては、小学生では、「とれている」が60.3%、「わからない」が25.5%、「とれていない」が14.0%となっている。

中学生では、「とれている」が53.4%、「わからない」が25.0%、「とれていない」が21.0%となっており、中学生では小学生に比べ「とれていない」が高く、2割を超えている。

図表 4 睡眠が十分にとれていると思うか

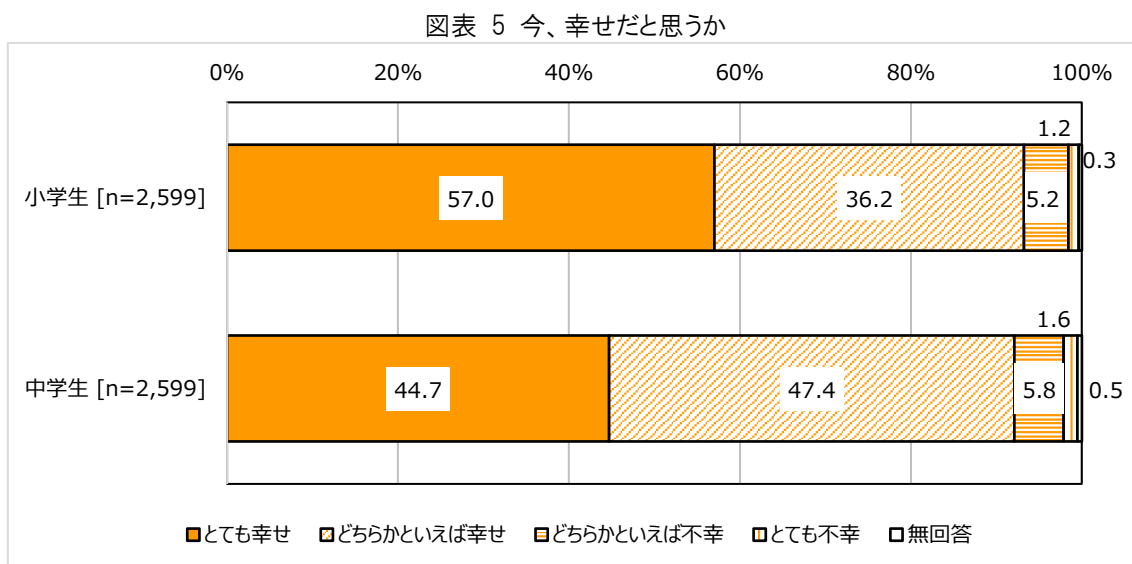


### (3) あなた自身について

#### ①今、幸せだと思うか

今、幸せだと思うかについては、小学生、中学生ともに、幸せ（「とても幸せ」＋「どちらかといえば幸せ」）は9割を超えており、小学生では、「とても幸せ」が5割を超え、中学生より高くなっている。

一方で、小学生、中学生ともに、不幸（「とても不幸」＋「どちらかといえば不幸」）が6～7%程度となっている。

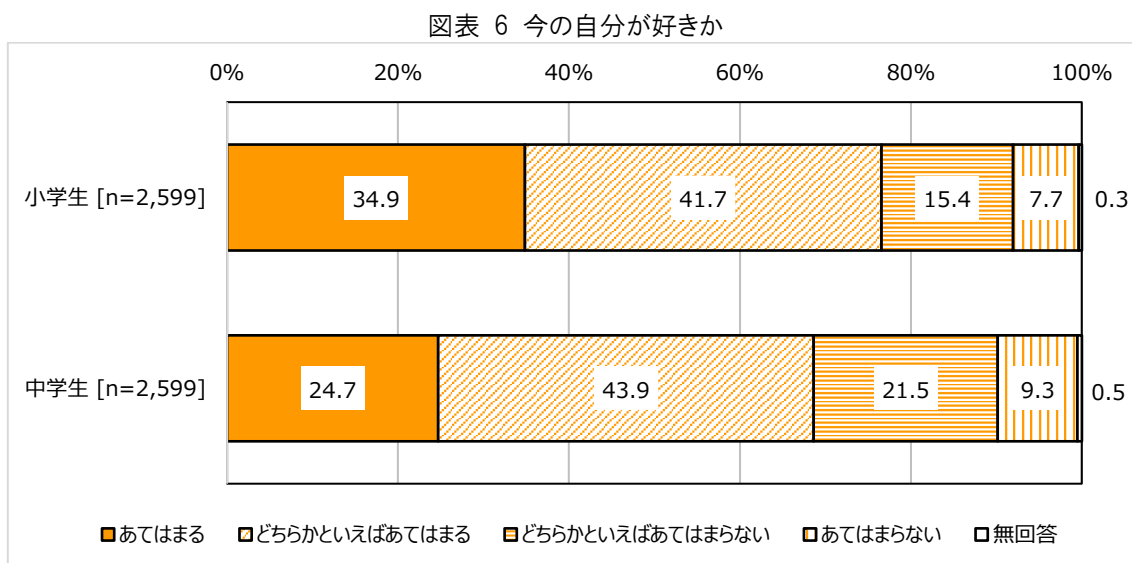


#### ②自分自身について

##### (ア)今の自分が好きか

今の自分が好きかについては、小学生では、「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」が76.6%、「あてはまらない」＋「どちらかといえばあてはまらない」が23.1%となっている。

中学生では、「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」が68.6%、「あてはまらない」＋「どちらかといえばあてはまらない」が30.8%となっており、小学生に比べ、「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」が低くなっている。

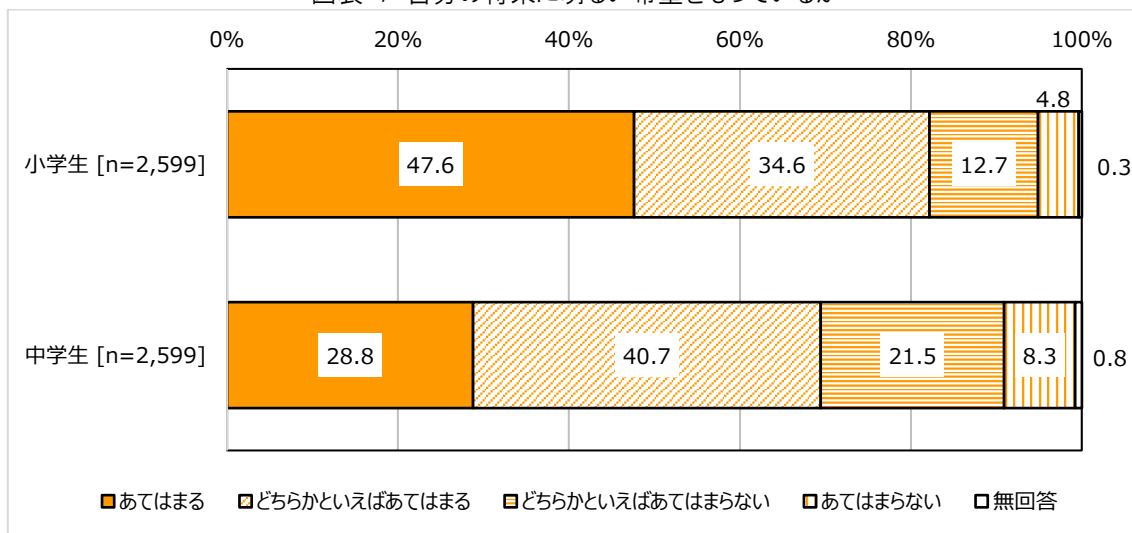


(イ)自分の将来に明るい希望をもっているか

自分の将来に明るい希望をもっているかについては、小学生では、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が82.2%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が17.5%となっている。

中学生では「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が69.5%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が29.8%となっており、小学生に比べ、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が低くなっている。

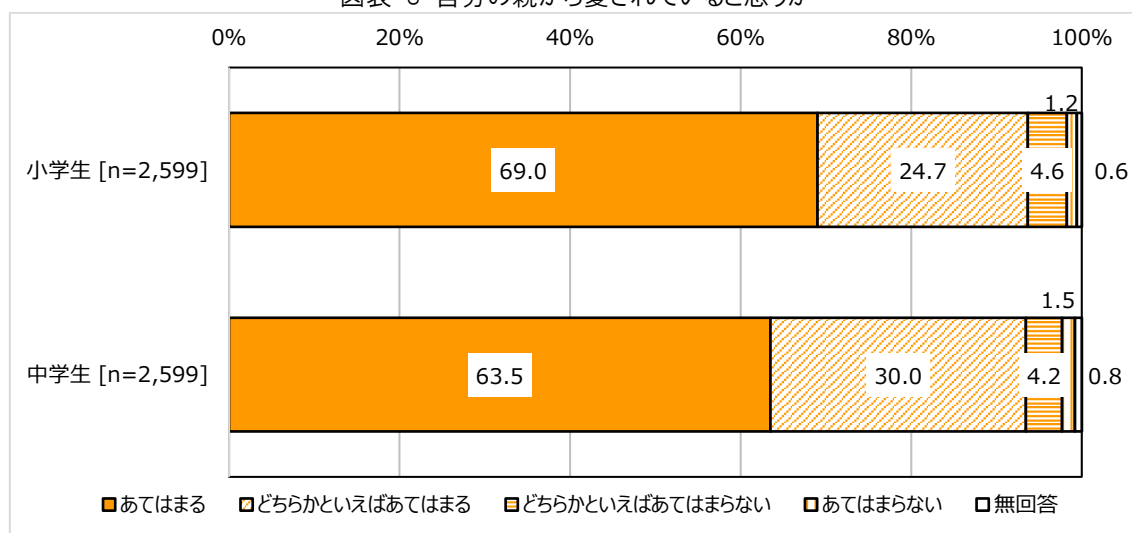
図表 7 自分の将来に明るい希望をもっているか



(ウ)自分の親から愛されていると思うか

自分の親から愛されていると思うかについては、小学生、中学生ともに、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」は9割を超え、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が5%程度となっている。

図表 8 自分の親から愛されていると思うか



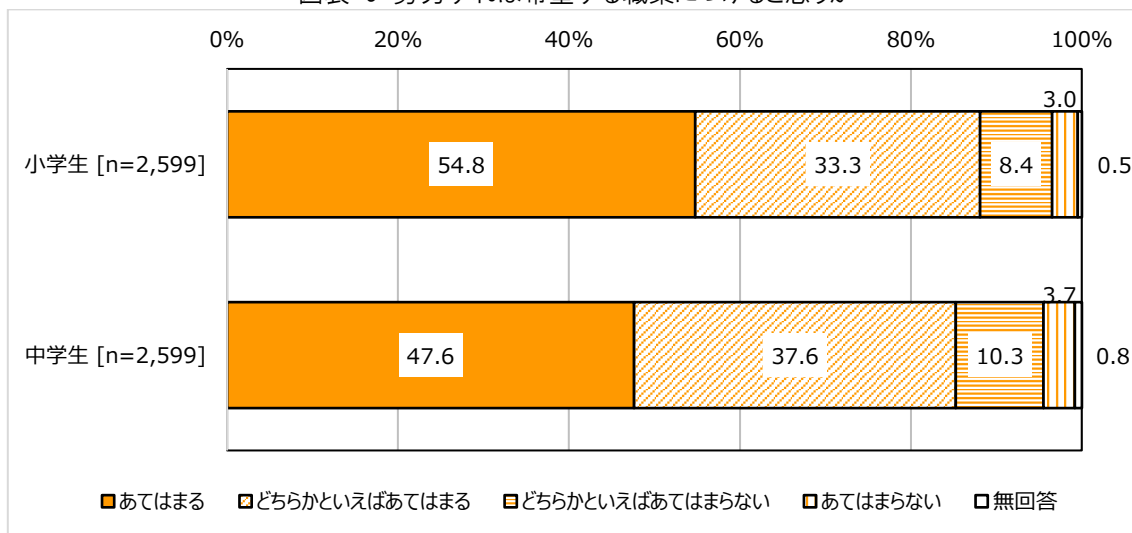


(エ)努力すれば希望する職業につけると思うか

努力すれば希望する職業につけると思うかについては、小学生では、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が88.1%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が11.4%となっている。

中学生では「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が85.2%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が14.0%となっており、小学生に比べ、「あてはまる」が低くなっている。

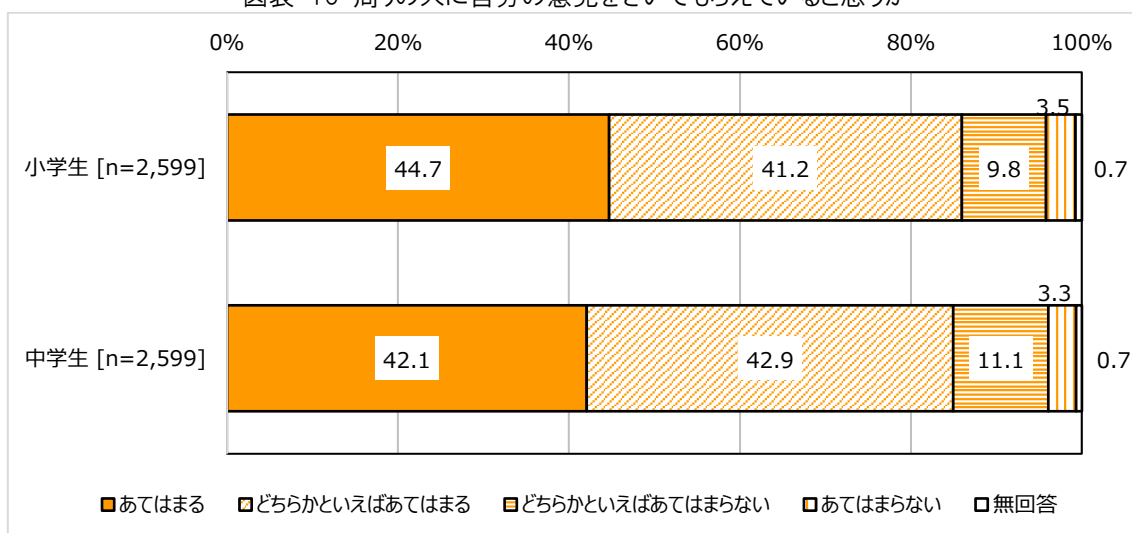
図表 9 努力すれば希望する職業につけると思うか



(オ)周りの人に自分の意見をきいてもらえていると思うか

周りの人に自分の意見をきいてもらえていると思うかについては、小学生、中学生ともに、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」は85%程度となっている。一方で「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が13~14%程度となっている。

図表 10 周りの人に自分の意見をきいてもらえていると思うか

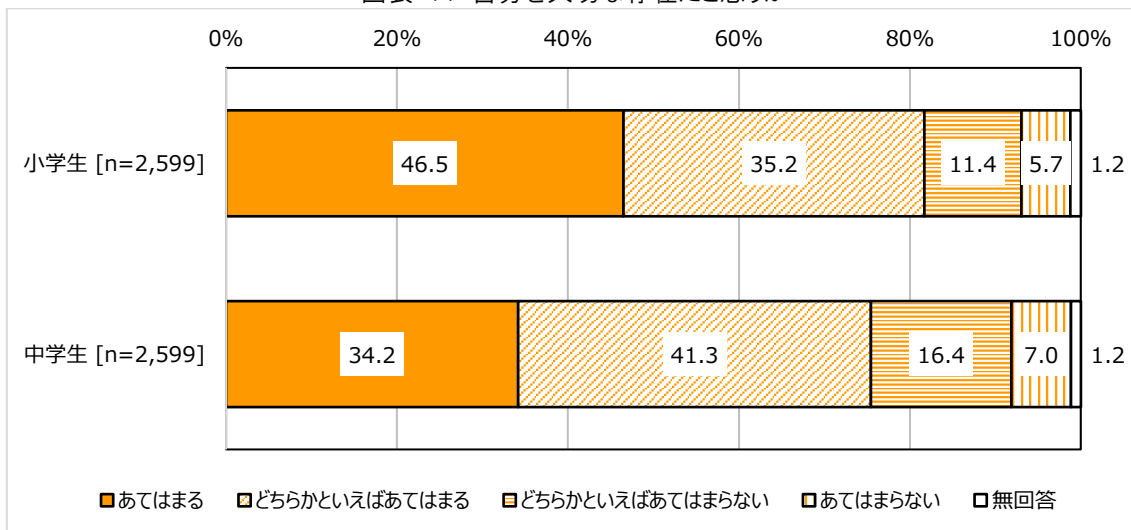


### (カ)自分を大切な存在だと思うか

自分を大切な存在だと思うかについては、小学生では、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が81.7%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が17.1%となっている。

中学生では「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が75.5%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が23.4%となっており、小学生に比べ、「あてはまる」が低くなっている。

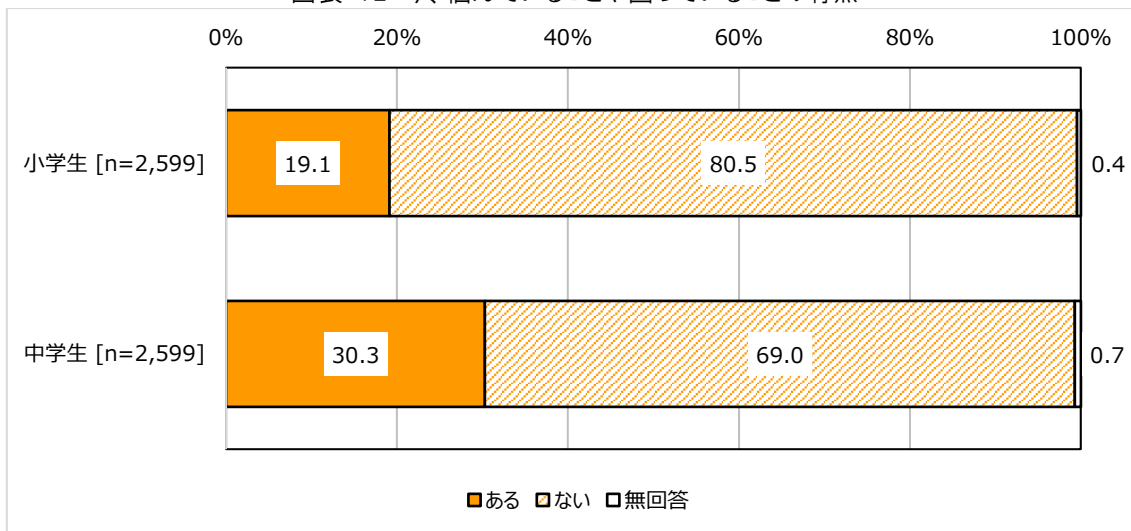
図表 11 自分を大切な存在だと思うか



### ③今、悩んでいることや困っていることの有無

今、悩んでいることや困っていることについては、小学生では、「ある」が19.1%、「ない」が80.5%となっている。中学生では、「ある」が30.3%、「ない」が69.0%となっており、「ある」が小学生に比べ高く、3割を超えている。

図表 12 今、悩んでいることや困っていることの有無



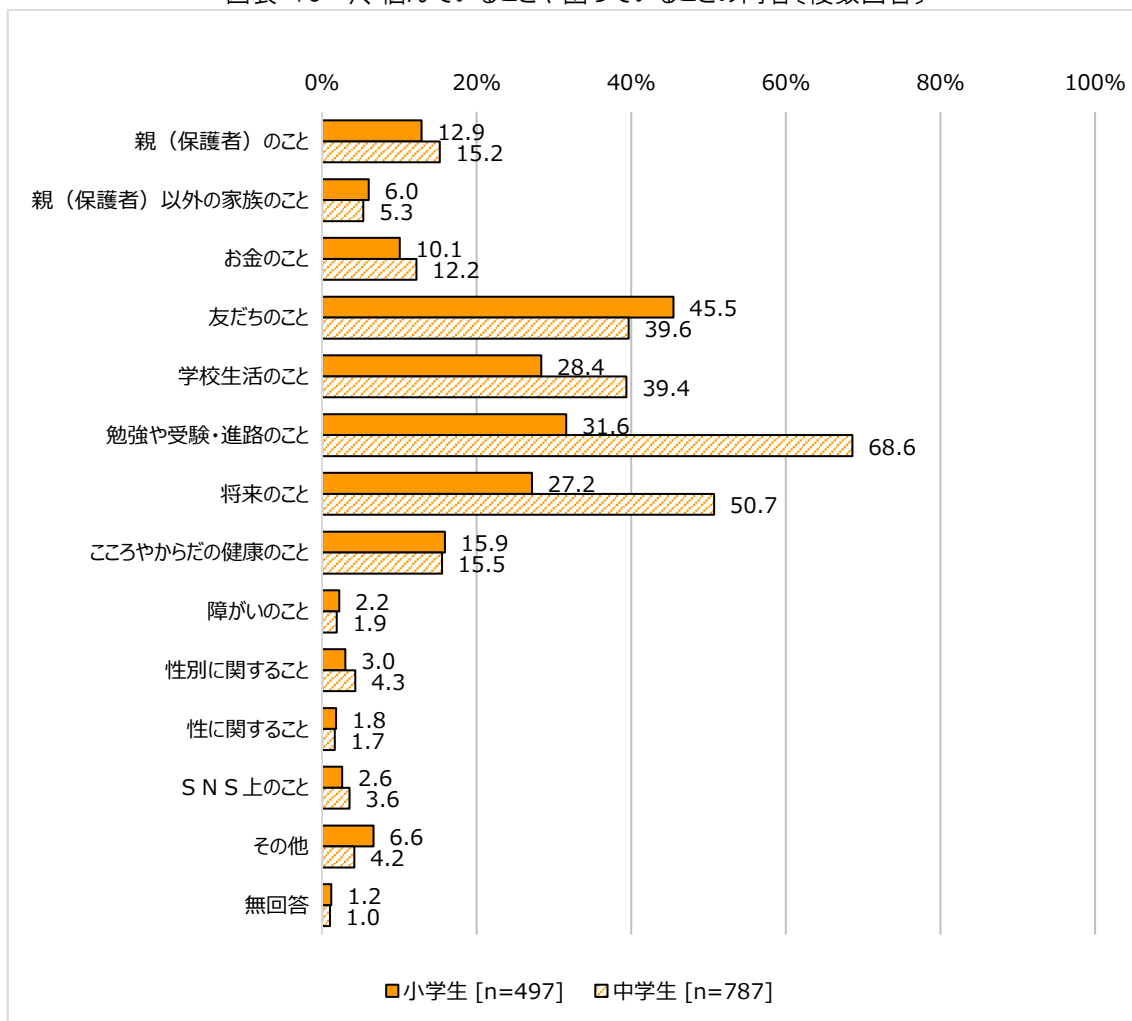
#### ④今、悩んでいることや困っていることの内容

悩んでいることがあると回答した人に対して、今、悩んでいることや困っていることの内容を聞いたところ、小学生では、「友だちのこと」が45.5%、「勉強や受験・進路のこと」が31.6%、「学校生活のこと」が28.4%となっている。

中学生では、「勉強や受験・進路のこと」が68.6%、「将来のこと」が50.7%、「友だちのこと」が39.6%となっている。

「勉強や受験・進路のこと」「将来のこと」「学校生活」については、小学生に比べ中学生の割合が高く、「友だちのこと」については、中学生に比べ小学生の割合が高くなっている。

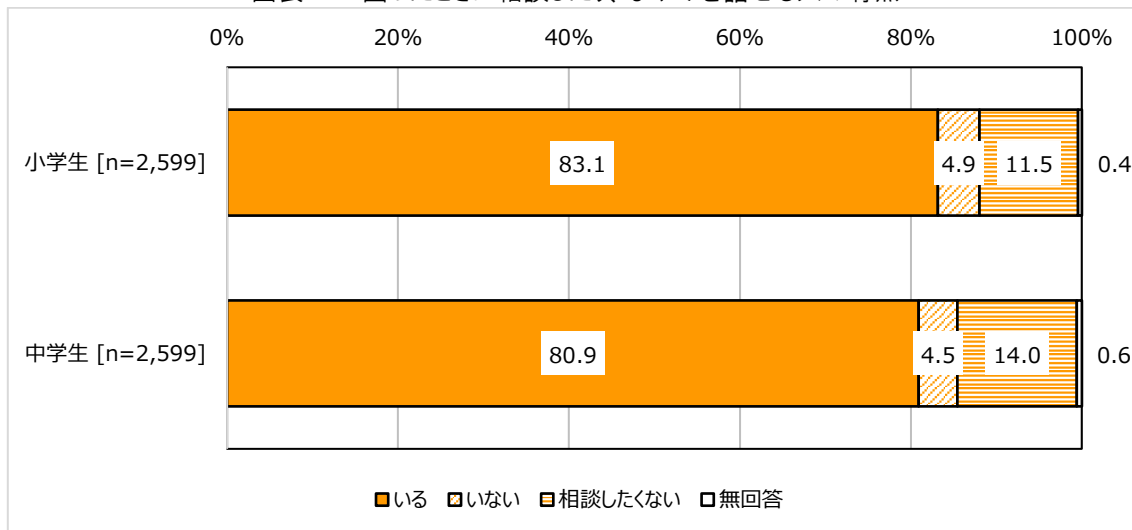
図表 13 今、悩んでいることや困っていることの内容〔複数回答〕



### ⑤ 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無

困ったときに相談したり、なやみを話せる人については、小学生、中学生ともに、「いる」が8割を超えている。一方で、小学生では、「相談したくない」が11.5%、「いない」が4.9%、中学生では、「相談したくない」が14.0%、「いない」が4.5%となっている。

図表 14 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無

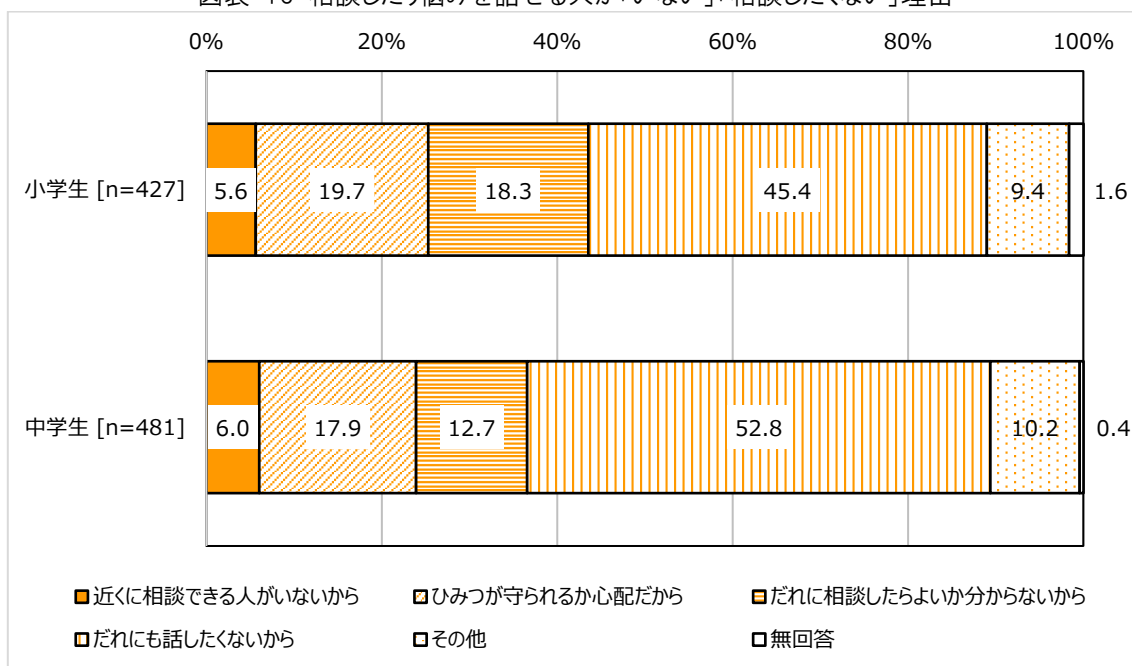


### ⑥ 相談したり悩みを話せる人が「いない」「相談したくない」理由

相談したり悩みを話せる人が「いない」「相談したくない」と回答した人に対して、その理由を聞いたところ、小学生、中学生ともに、「誰にも話したくないから」が最も高く、次いで「ひみつが守られるか心配だから」、「誰に相談したらよいか分からないから」となっている。

中学生では、「だれにも話したくないから」が5割を超え、小学生に比べ高くなっている。一方で、小学生では、「誰に相談したらよいか分からないから」が中学生に比べ高くなっている。

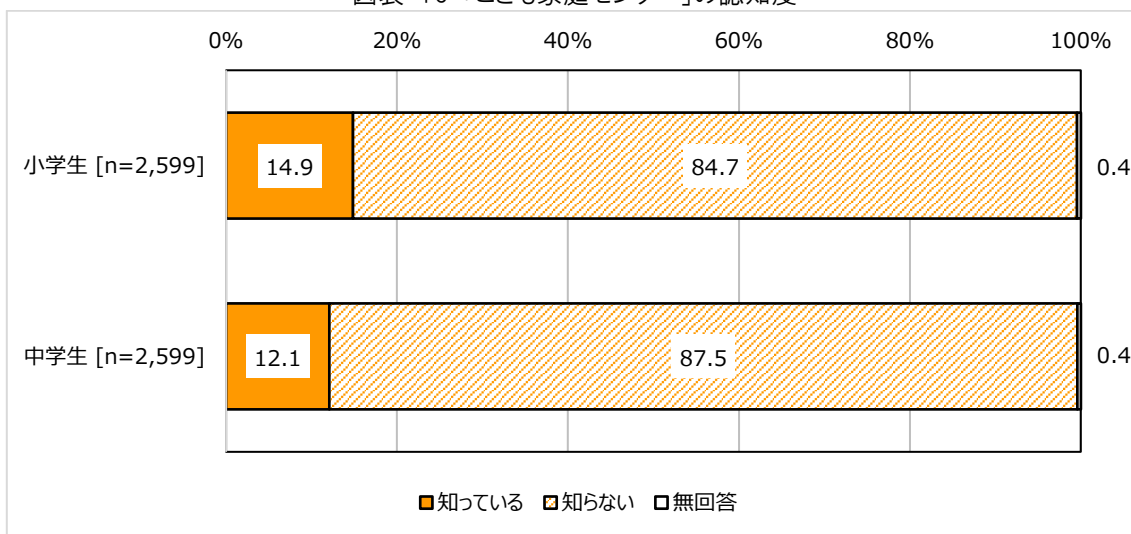
図表 15 相談したり悩みを話せる人が「いない」「相談したくない」理由



## ⑦ 「こども家庭センター」の認知度

「こども家庭センター」については、小学生、中学生ともに、「知らない」が8割以上を占め、「知っている」が小学生で14.9%、中学生で12.1%となっている。

図表 16 「こども家庭センター」の認知度

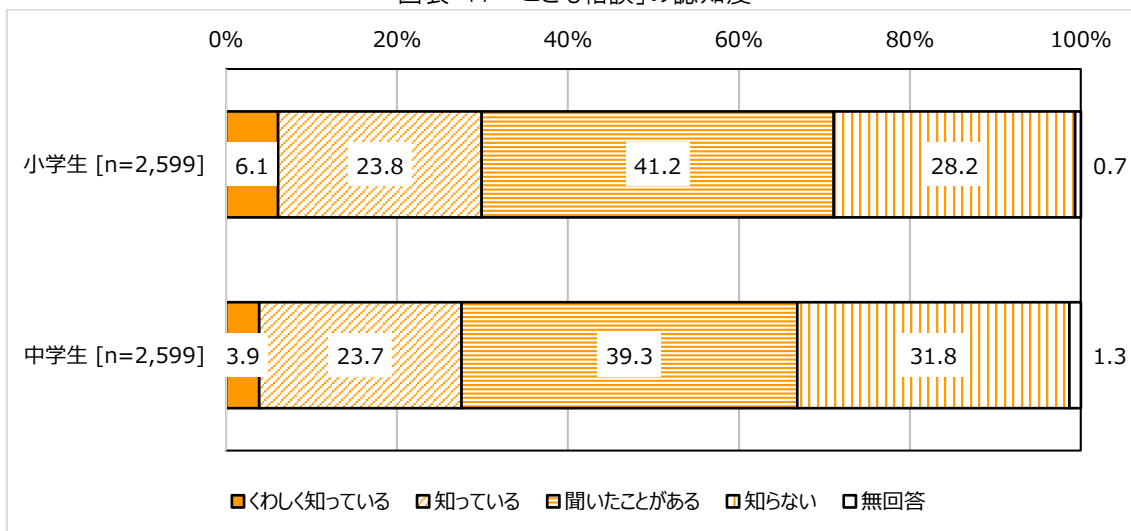


## ⑧ 「こども相談」の認知度

「こども相談」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が29.9%、「聞いたことがある」が41.2%、「知らない」が28.2%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が27.6%、「聞いたことがある」が39.3%、「知らない」が31.8%となっている。

図表 17 「こども相談」の認知度

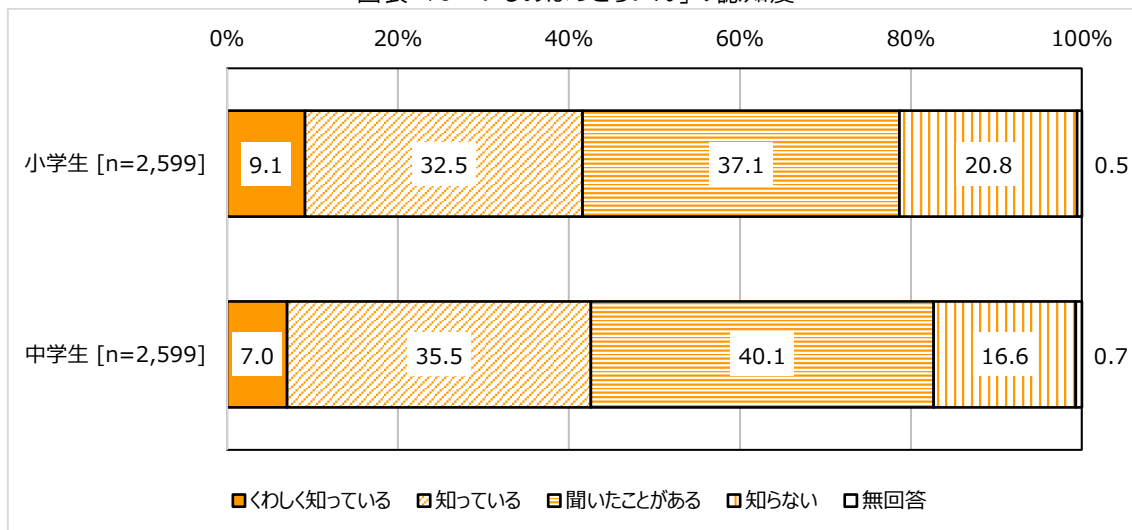


### ⑨ 「いじめほっとらいん」の認知度

「いじめほっとらいん」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が41.6%、「聞いたことがある」が37.1%、「知らない」が20.8%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が42.5%、「聞いたことがある」が40.1%、「知らない」が16.6%となっている。

図表 18 「いじめほっとらいん」の認知度

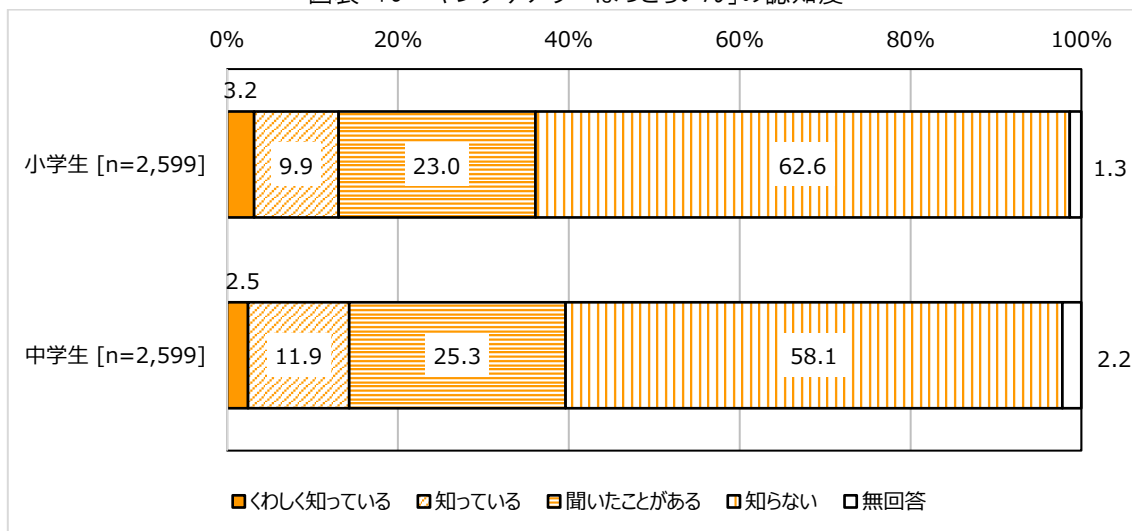


### ⑩ 「ヤングケアラーほっとらいん」の認知度

「ヤングケアラーほっとらいん」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が13.1%、「聞いたことがある」が23.0%、「知らない」が62.6%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が14.4%、「知らない」が58.1%、「聞いたことがある」が25.3%となっており、小学生、中学生ともに、「くわしく知っている」+「知っている」は15%を下回っている。

図表 19 「ヤングケアラーほっとらいん」の認知度

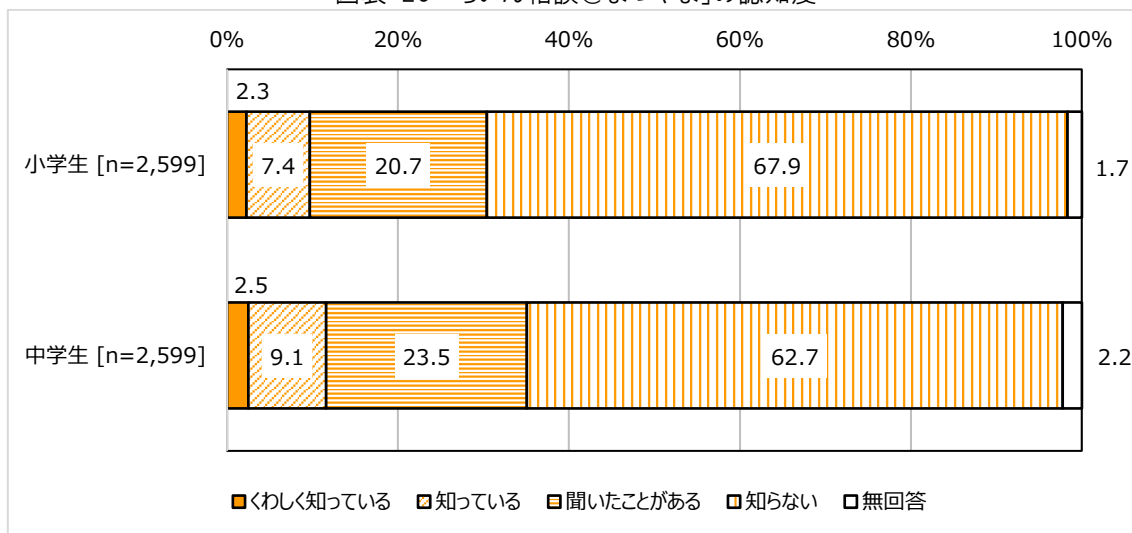


### ⑪ 「らいん相談@まつやま」の認知度

「らいん相談@まつやま」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が9.7%、「聞いたことがある」が20.7%、「知らない」が67.9%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が11.6%、「聞いたことがある」が23.5%、「知らない」が62.7%となっており、小学生、中学生ともに、「くわしく知っている」+「知っている」は10%程度となっている。

図表 20 「らいん相談@まつやま」の認知度



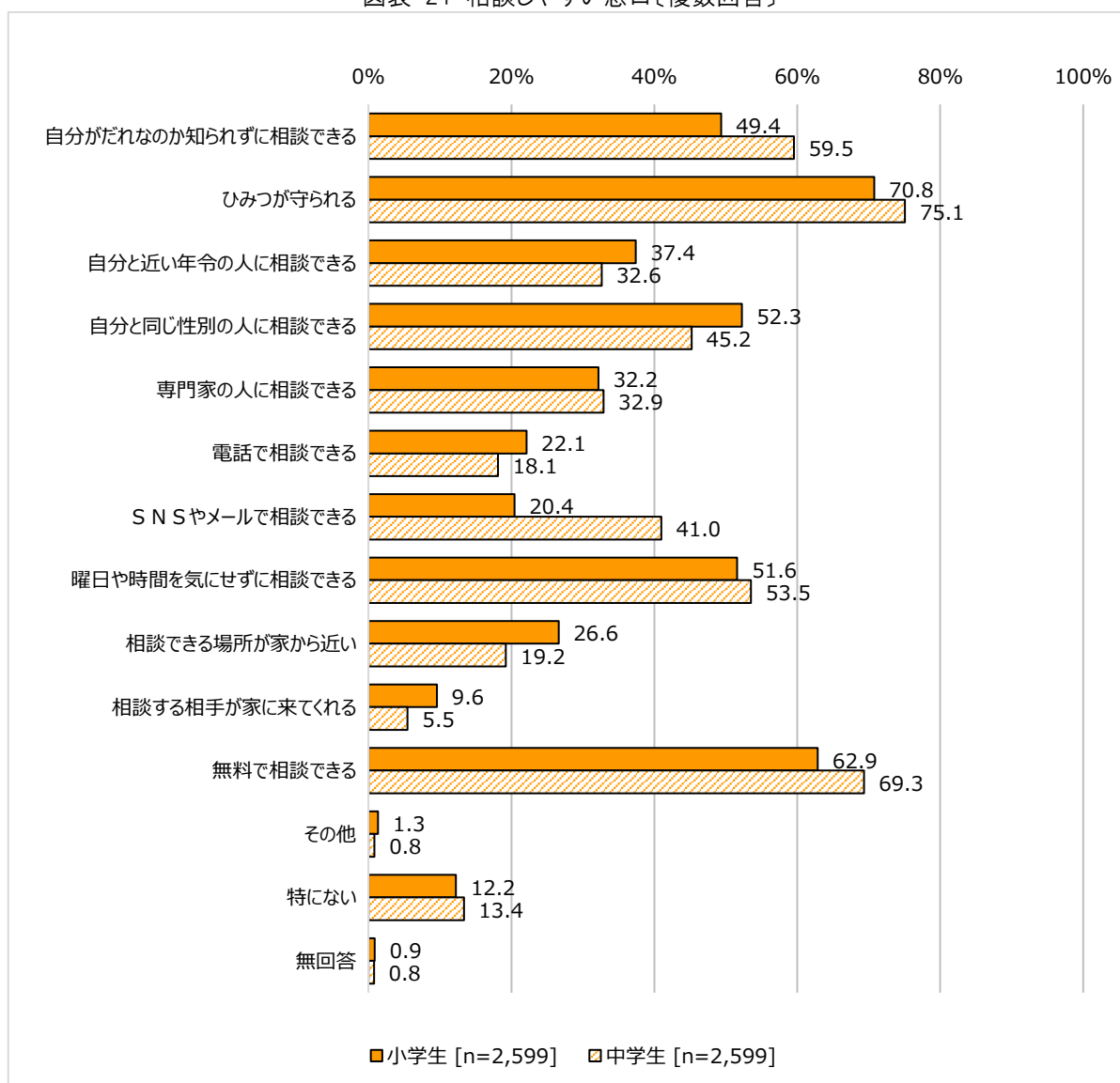
## ⑫相談しやすい窓口

相談しやすい窓口については、小学生では、「ひみつが守られる」が70.8%、「無料で相談できる」が62.9%、「自分と同じ性別の人に相談できる」が52.3%となっている。

中学生では、「ひみつが守られる」が75.1%、「無料で相談できる」が69.3%、「自分がだれなのか知られずに相談できる」が59.5%となっている。

小学生では、「自分と同じ性別の人に相談できる」「相談できる場所が家から近い」が中学生に比べ高く、中学生では、「自分がだれなのか知られずに相談できる」「SNSやメールで相談できる」「無料で相談できる」が小学生に比べ高くなっている。

図表 21 相談しやすい窓口〔複数回答〕





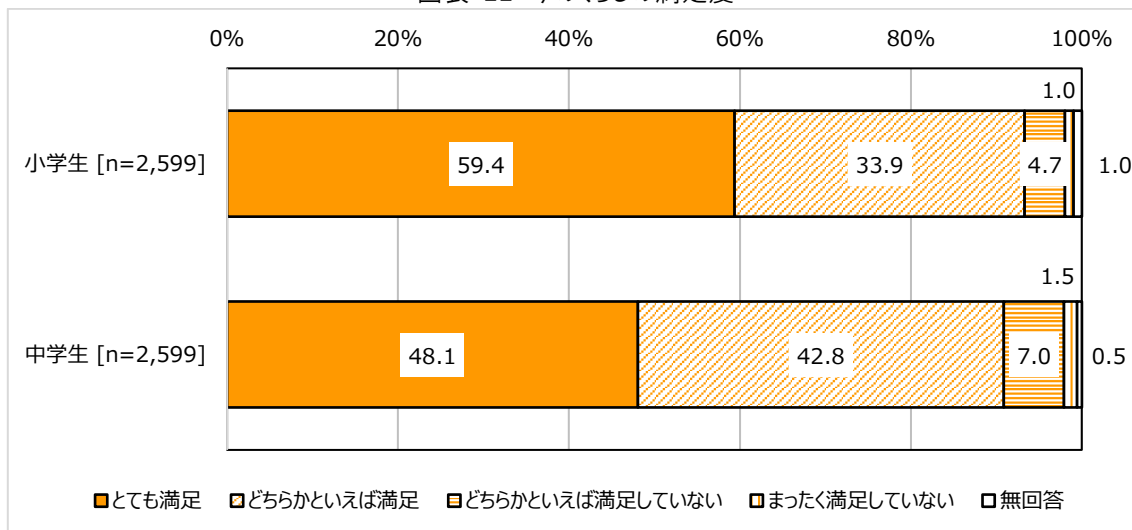
## (4) 生活状況

### ①今の暮らしの満足度

今の暮らしの満足度については、小学生では、「とても満足」+「どちらかといえば満足」が93.3%、「まったく満足していない」+「どちらかといえば満足していない」が5.7%となっている。

中学生では、「とても満足」+「どちらかといえば満足」が90.9%、「まったく満足していない」+「どちらかといえば満足していない」が8.5%となっている。

図表 22 今の暮らしの満足度



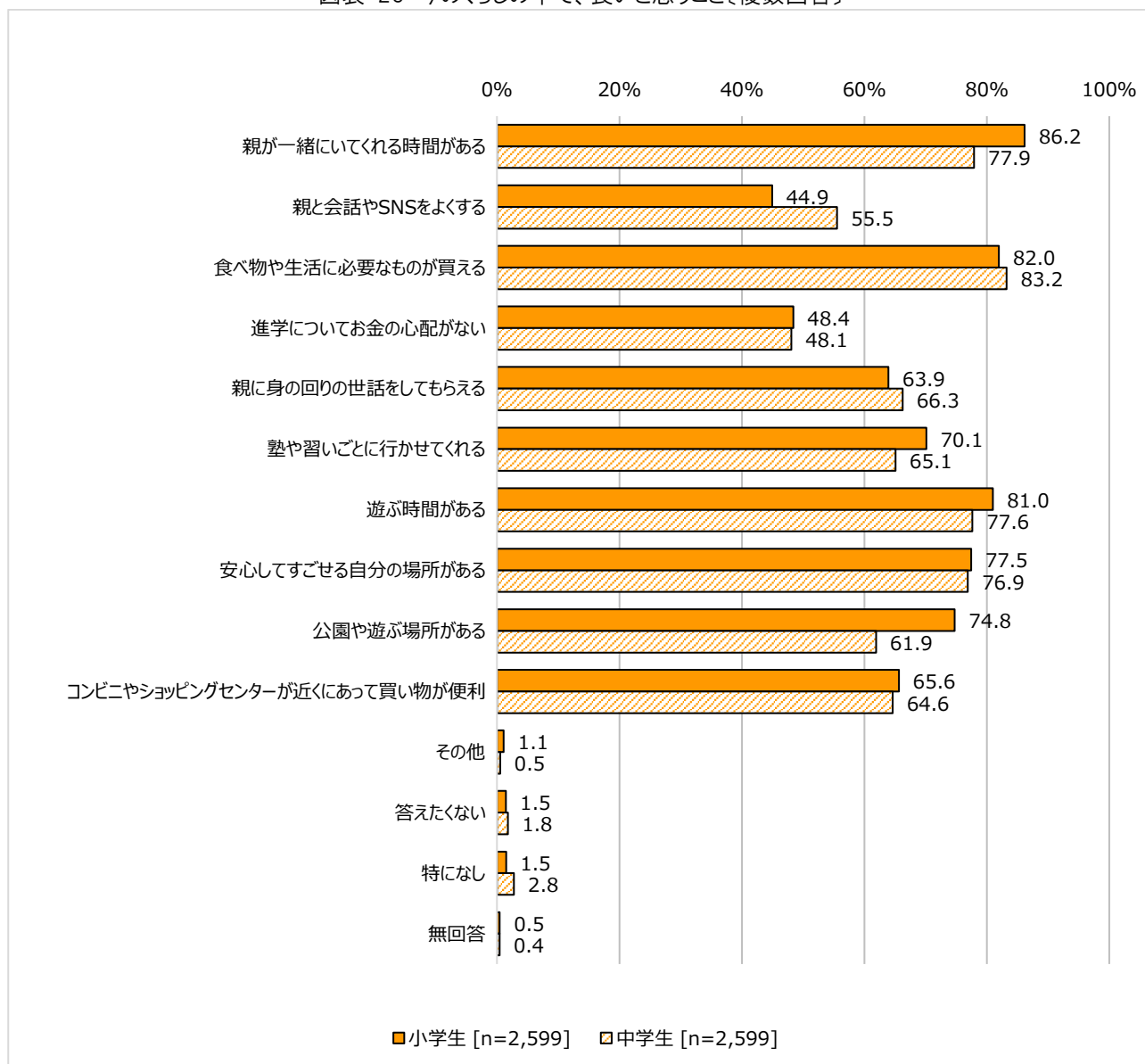
## ②今の暮らしの中で、良いと思うこと

今の暮らしの中で、良いと思うことについては、小学生では、「親と一緒にいてくれる時間がある」が86.2%、「食べ物や生活に必要なものが買える」が82.0%、「遊ぶ時間がある」が81.0%となっている。

中学生では、「食べ物や生活に必要なものが買える」が83.2%、「親と一緒にいてくれる時間がある」が77.9%、「遊ぶ時間がある」が77.6%となっている。

小学生では、「親と一緒にいてくれる時間がある」「公園や遊ぶ場所がある」が中学生に比べ高く、中学生では、「親と会話やSNSをよくする」が小学生に比べ高くなっている。

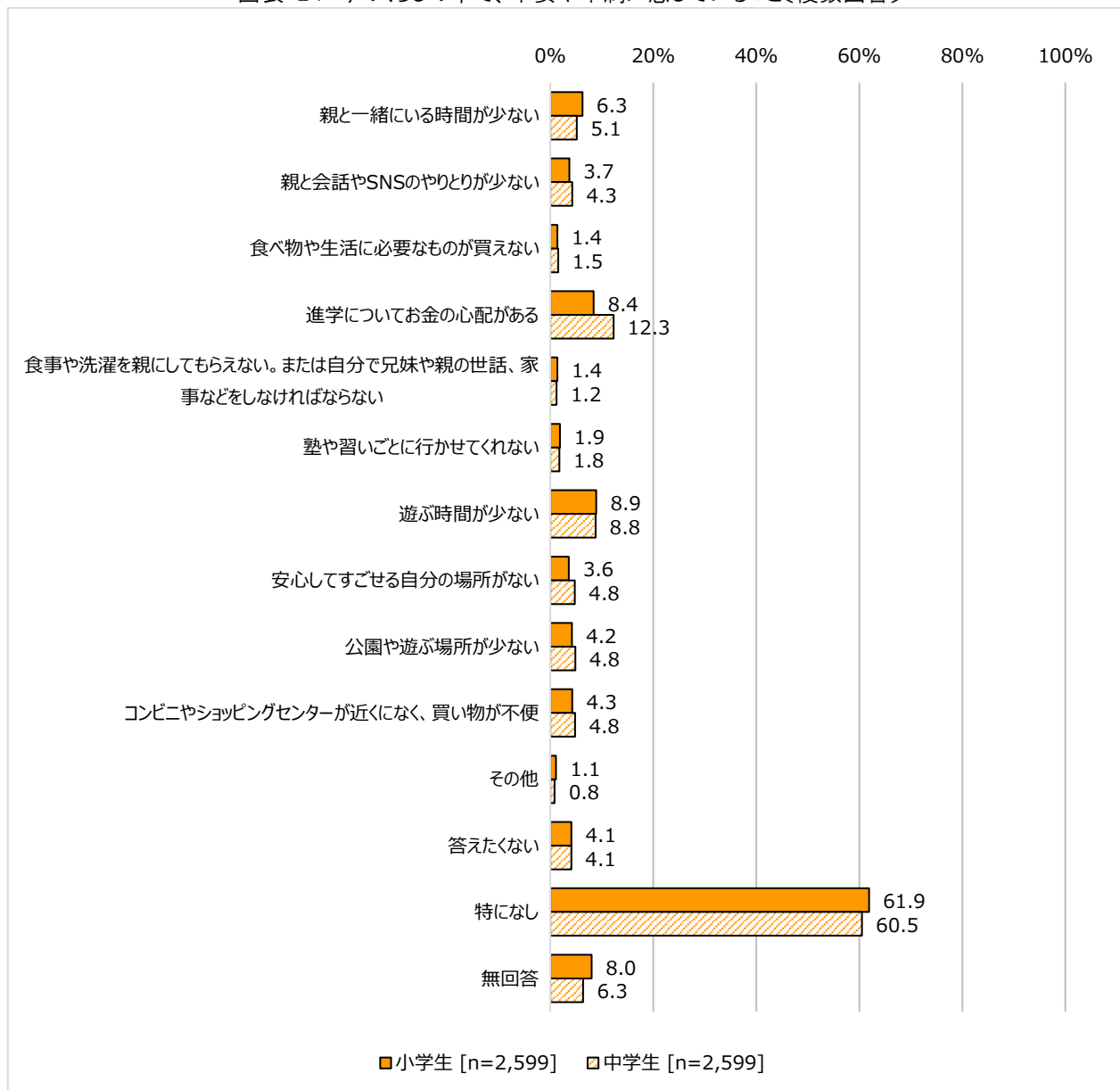
図表 23 今の暮らしの中で、良いと思うこと〔複数回答〕



### ③今の暮らしの中で、不安や不満に感じていること

今の暮らしの中で、不安や不満に感じていることについては、小学生、中学生ともに、「特になし」が6割を超えているが、不安や不満に感じていることとしては、小学生では、「遊ぶ時間が少ない」が8.9%、「進学についてお金の心配がある」が8.4%となっており、中学生では、「進学についてお金の心配がある」が12.3%、「遊ぶ時間が少ない」が8.8%となっている。

図表 24 今の暮らしの中で、不安や不満に感じていること〔複数回答〕



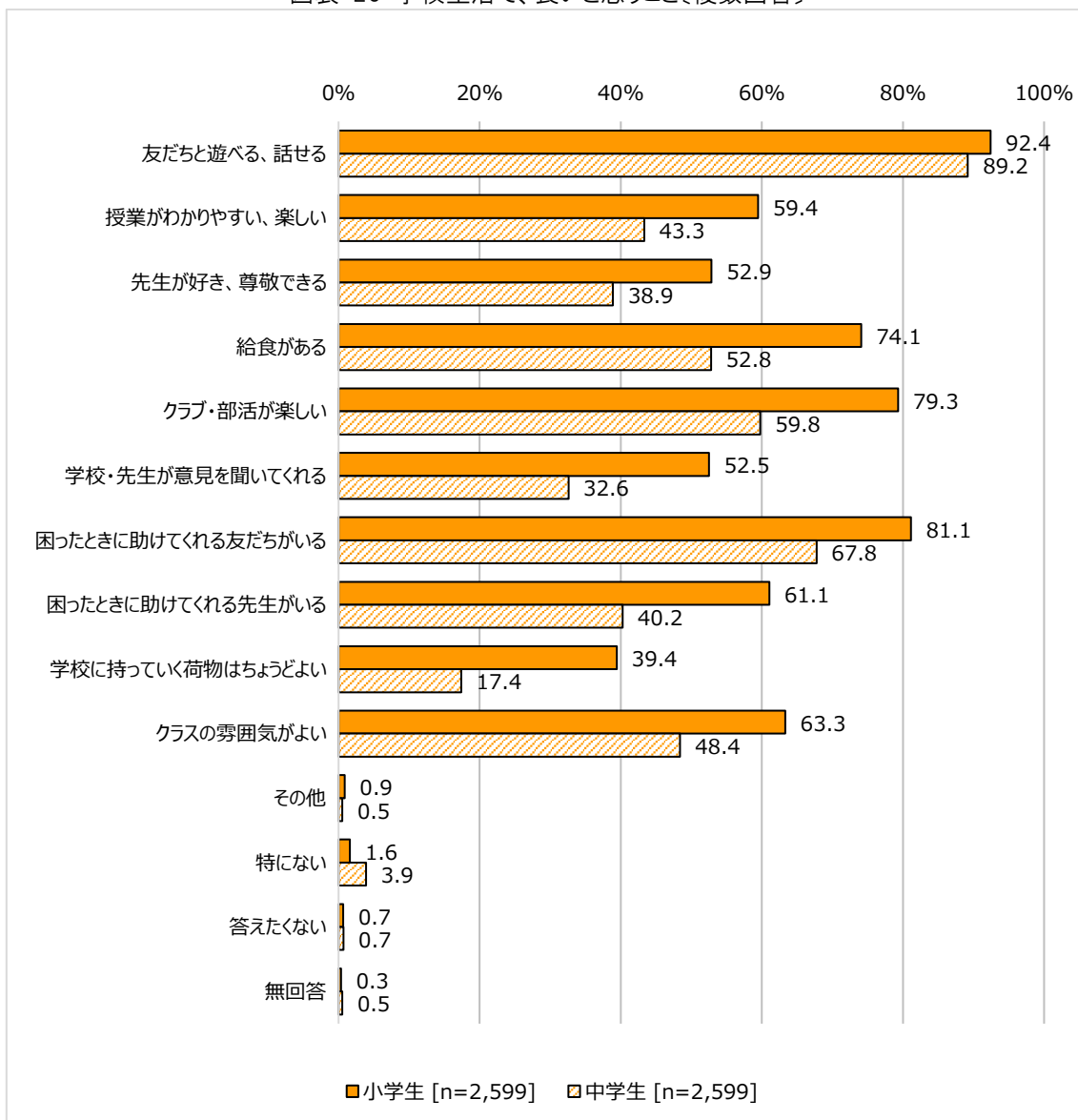
#### ④学校生活で、良いと思うこと

学校生活で、良いと思うことについては、小学生では、「友だちと遊べる、話せる」が92.4%、「困ったときに助けてくれる友だちがいる」が81.1%、「クラブ・部活が楽しい」が79.3%となっている。

中学生では、「友だちと遊べる、話せる」が89.2%、「困ったときに助けてくれる友だちがいる」が67.8%、「クラブ・部活が楽しい」が59.8%となっている。

小学生では、中学生に比べて全体的に割合が高く、特に「給食がある」「クラブ・部活が楽しい」「学校・先生が意見を聞いてくれる」「困ったときに助けてくれる先生がいる」「学校に持っていく荷物はちょうどよい」では、中学生に比べ、約20ポイント以上高くなっている。

図表 25 学校生活で、良いと思うこと〔複数回答〕



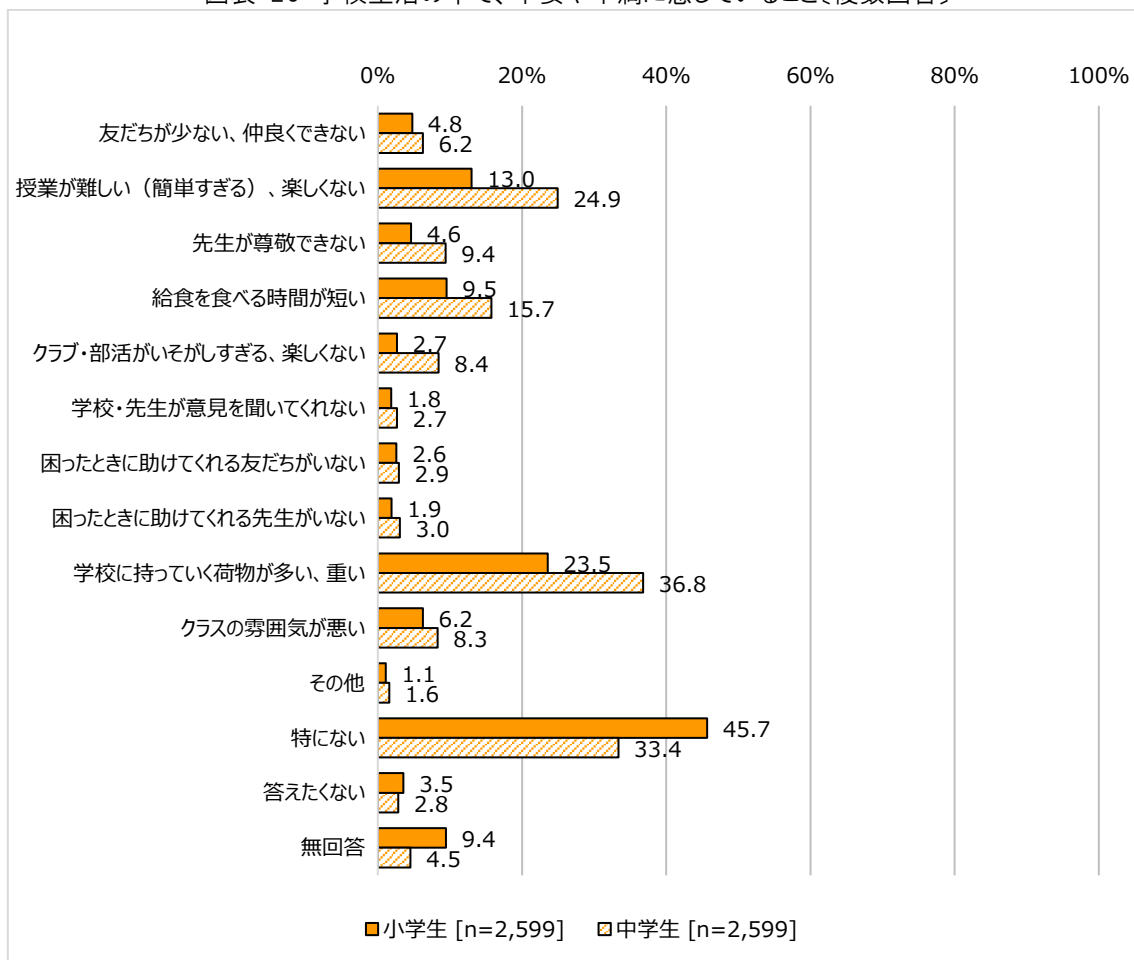
## ⑤学校生活の中で、不安や不満に感じていること

学校生活の中で、不安や不満に感じていることについては、小学生では、「特にない」が45.7%で最も高いが、不安や不満に感じていることとしては、「学校に持っていく荷物が重い、多い」が23.5%、「授業が難しい（簡単すぎる）、楽しくない」が13.0%となっている。

中学生では、「特にない」が33.4%で、「学校に持っていく荷物が重い、多い」が36.8%、「授業が難しい（簡単すぎる）、楽しくない」が24.9%となっている。

中学生では、「授業が難しい（簡単すぎる）、楽しくない」「学校に持っていく荷物が重い、多い」が小学生に比べ10ポイント以上高くなっている。

図表 26 学校生活の中で、不安や不満に感じていること〔複数回答〕

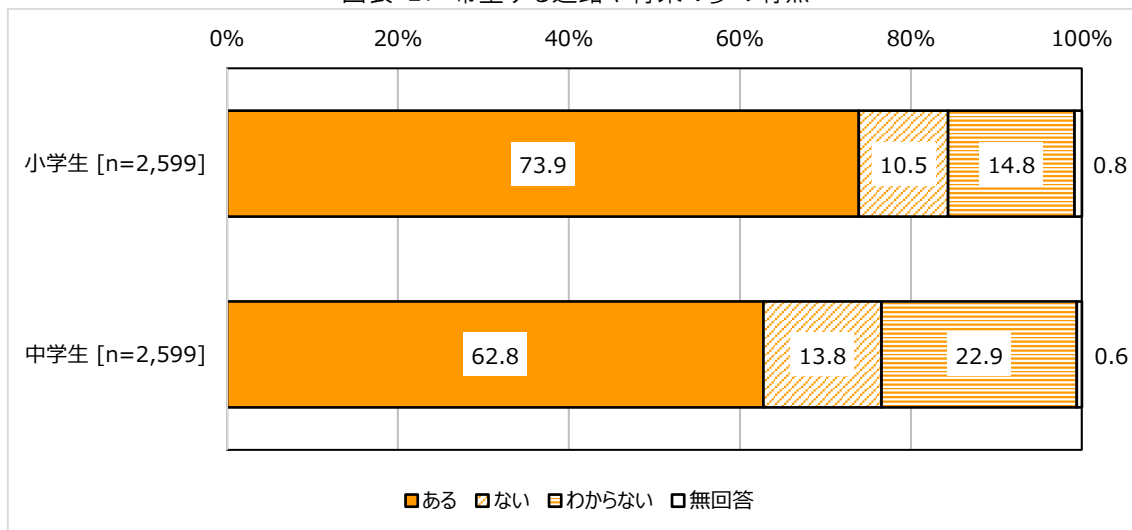


## ⑥希望する進路や将来の夢の有無

希望する進路や将来の夢については、小学生では、「ある」が73.9%、「わからない」が14.8%、「ない」が10.5%となっている。

中学生では、「ある」が62.8%、「わからない」が22.9%、「ない」が13.8%となっており、中学生では、小学生に比べ「ある」が低くなっている。

図表 27 希望する進路や将来の夢の有無

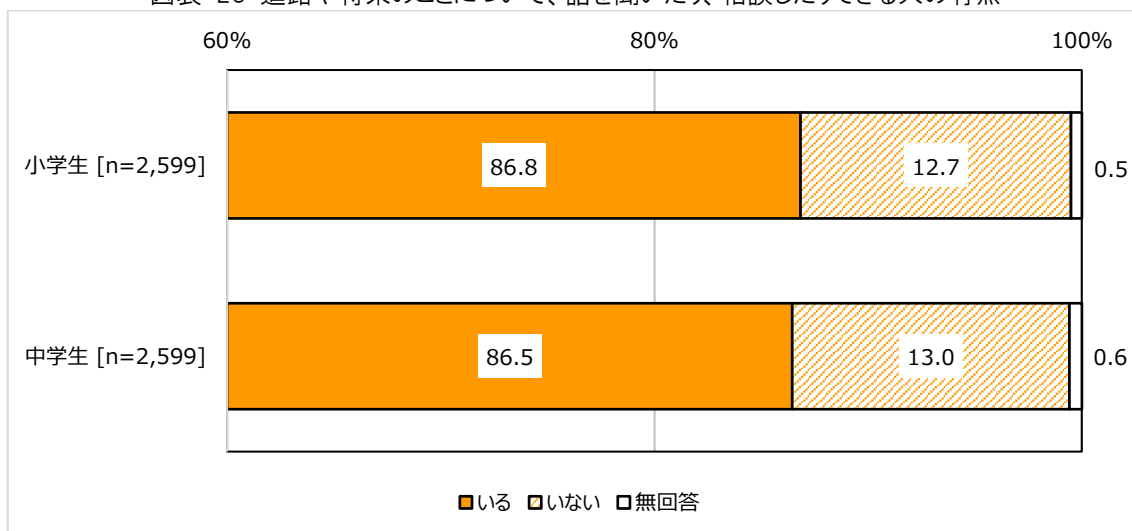


## ⑦進路や将来のことについて、話を聞いたり、相談したりできる人の有無

進路や将来のことについて、話を聞いたり、相談したりできる人については、小学生では、「いる」が86.8%、「いない」が12.7%となっている。

中学生では、「いる」が86.5%、「いない」が13.0%となっている。

図表 28 進路や将来のことについて、話を聞いたり、相談したりできる人の有無



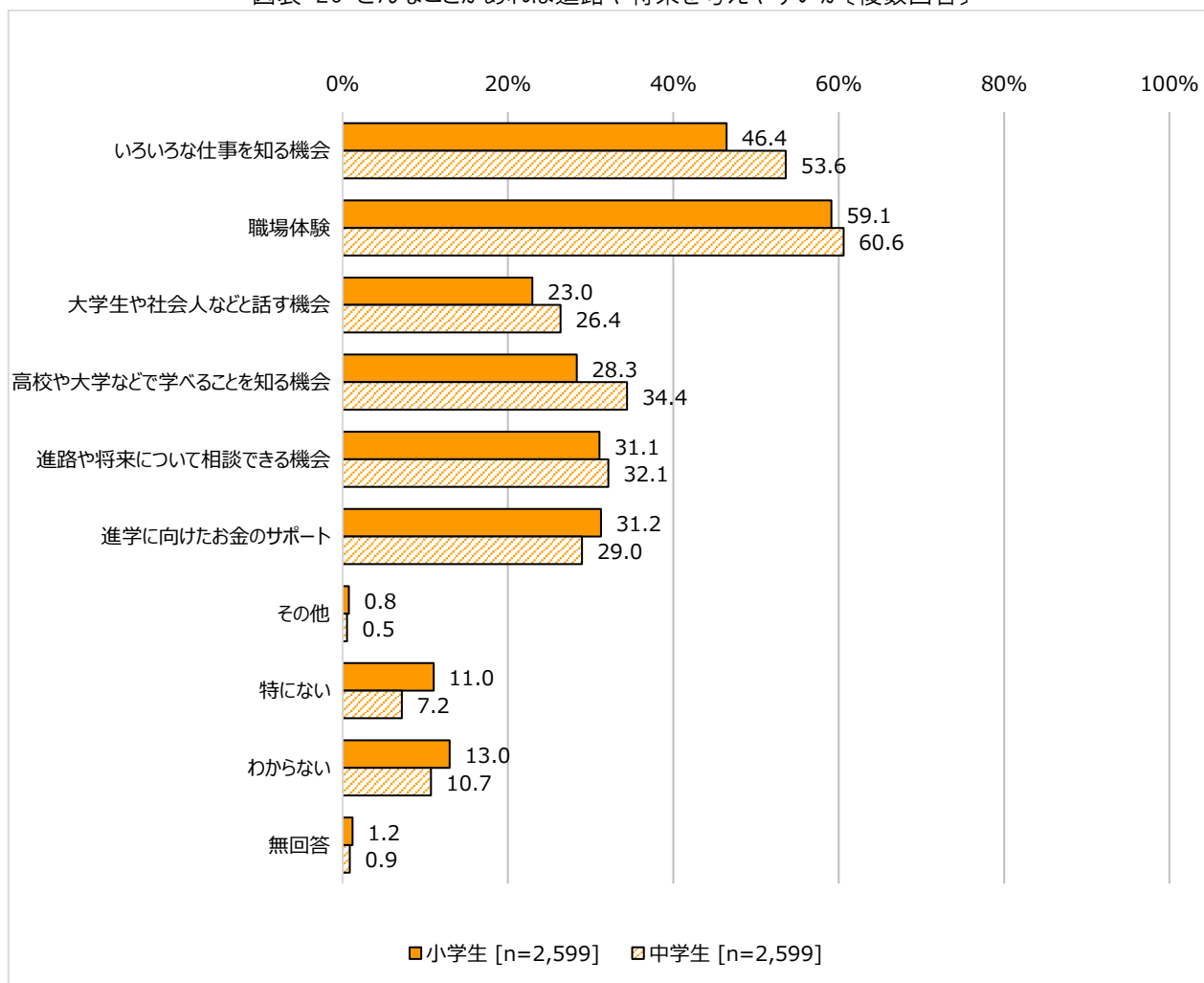
## ⑧どんなことがあれば進路や将来を考えやすいか

どんなことがあれば進路や将来を考えやすいかについては、小学生では、「職場体験」が59.1%、「いろいろな仕事を知る機会」が46.4%、「進学に向けたお金のサポート」が31.2%となっている。

中学生では、「職場体験」が60.6%、「いろいろな仕事を知る機会」が53.6%、「高校や大学などで学べることを知る機会」が34.4%となっている。

中学生では、「いろいろな仕事を知る機会」「高校や大学などで学べることを知る機会」が小学生に比べ高くなっている。

図表 29 どんなことがあれば進路や将来を考えやすいか〔複数回答〕



## (5) 居場所について

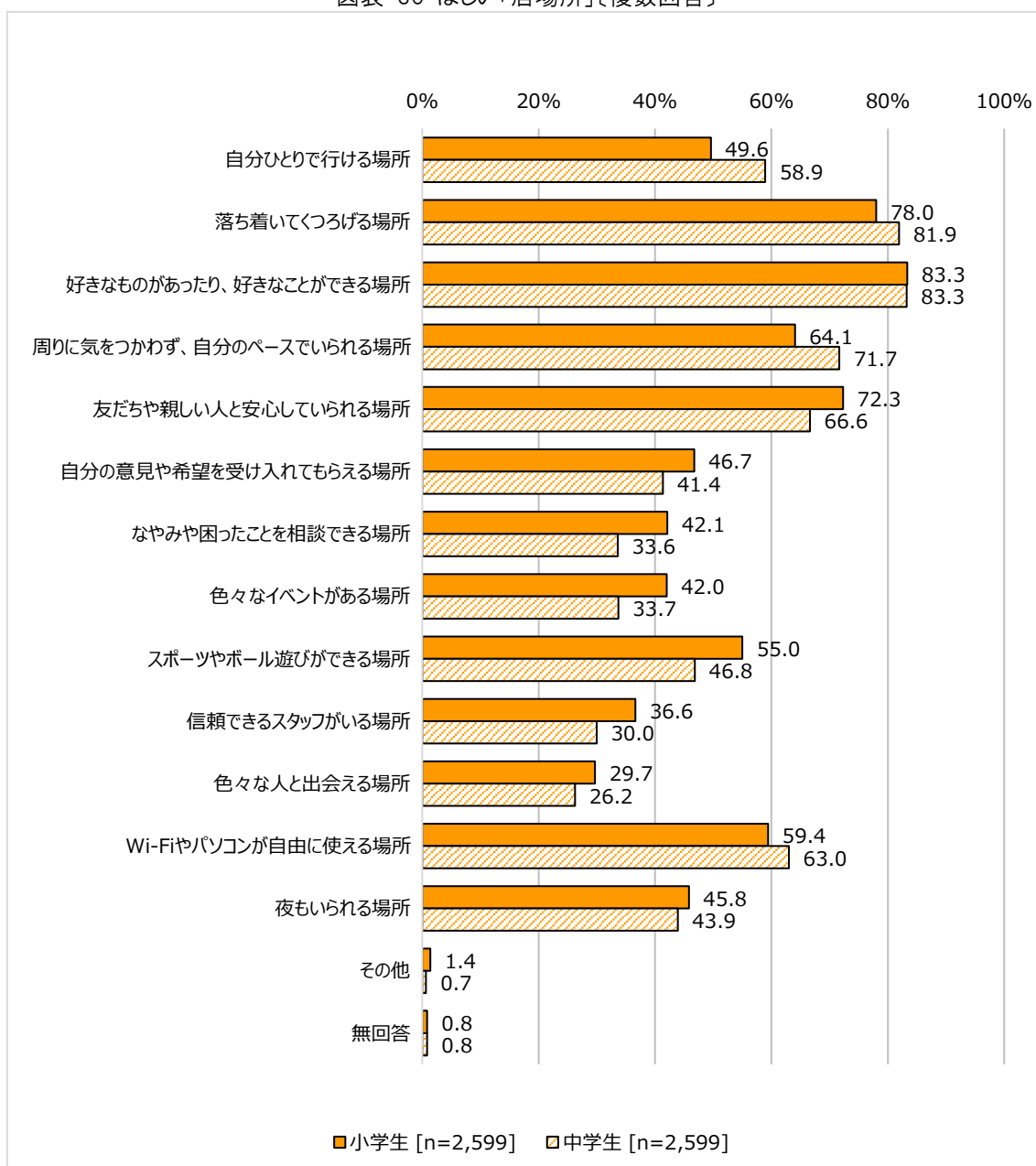
### ① ほしい「居場所」

ほしい「居場所」については、小学生では、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が83.3%、「落ち着いてくつろげる場所」が78.0%、「友だちや親しい人と安心していられる場所」が72.3%となっている。

中学生では、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が83.3%、「落ち着いてくつろげる場所」が81.9%、「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が71.7%となっている。

小学生では、「友だちや親しい人と安心していられる場所」「自分の意見や希望を受け入れてもらえる場所」「なやみや困ったことを相談できる場所」「スポーツやボール遊びができる場所」「信頼できるスタッフがいる場所」が中学生に比べ高くなっている。中学生では、「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が小学生に比べ高くなっている。

図表 30 ほしい「居場所」〔複数回答〕





## ②安心してすごせる「居場所」

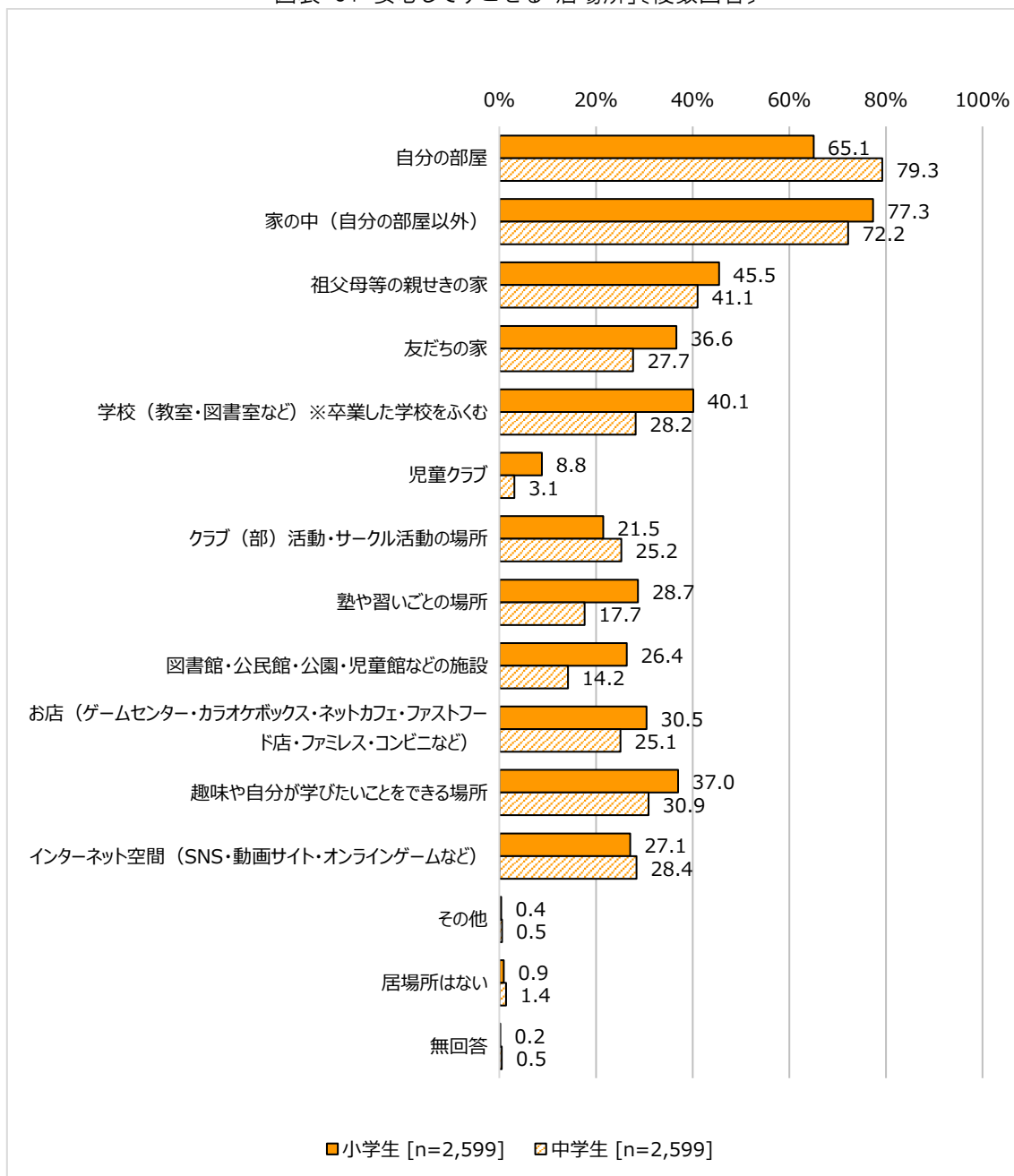
安心してすごせる「居場所」については、小学生では、「家の中（自分の部屋以外）」が77.3%、「自分の部屋」が65.1%、「祖父母等の親せきの家」が45.5%となっている。

中学生では、「自分の部屋」が79.3%、「家の中（自分の部屋以外）」が72.2%、「祖父母等の親せきの家」が41.1%となっている。

小学生では、「学校（教室・図書室など）」「塾や習いごとの場所」「図書館・公民館・公園・児童館などの施設」が中学生に比べ10ポイント以上高くなっている。

中学生では、「自分の部屋」が小学生に比べ高くなっている。

図表 31 安心してすごせる「居場所」〔複数回答〕



## (6) こどもの権利

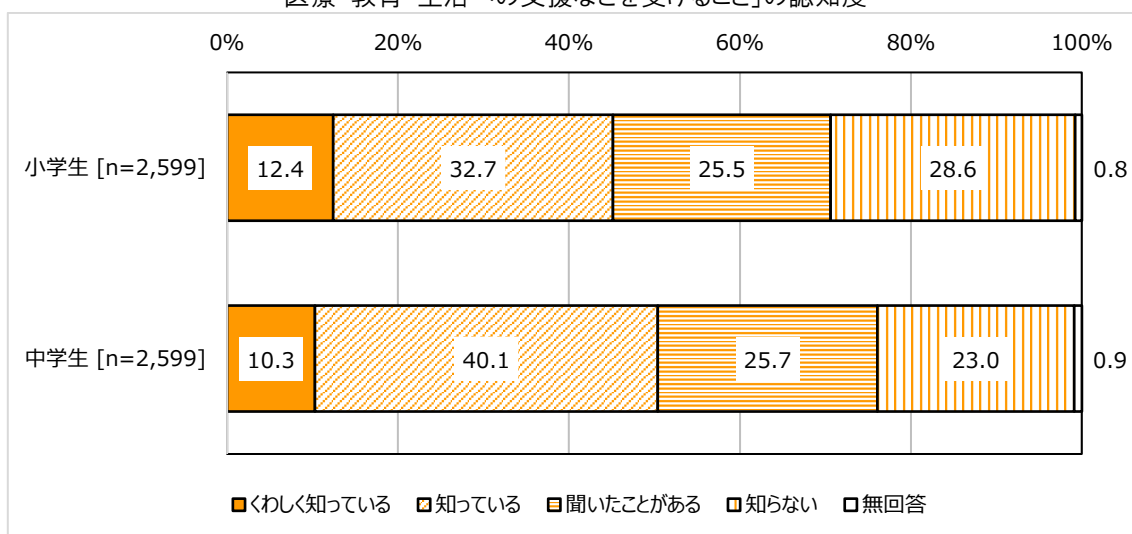
### ① こどもの権利の認知度

(ア)「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分にのばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」の認知度

「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分にのばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が45.1%、「聞いたことがある」が25.5%、「知らない」が28.6%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が50.4%、「聞いたことがある」が25.7%、「知らない」が23.0%となっている。

図表 32 「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分にのばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」の認知度

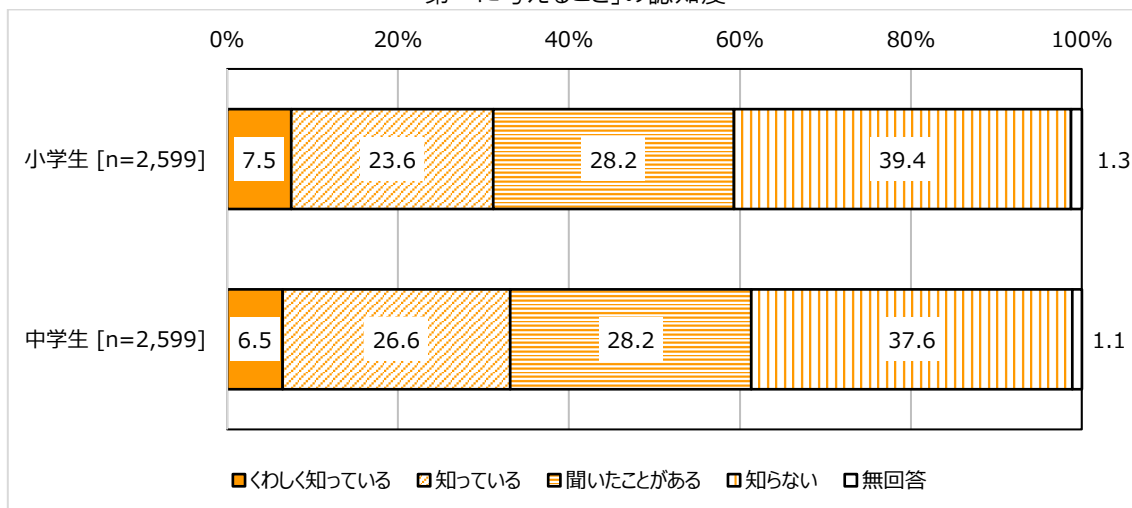


(イ)「子どもに関することが決められ、行われるときは『その子どもにとって最もよいことはなにか』を第一に考えること」の認知度

「子どもに関することが決められ、行われるときは『その子どもにとって最もよいことはなにか』を第一に考えること」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が31.1%、「聞いたことがある」が28.2%、「知らない」が39.4%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が33.1%、「聞いたことがある」が28.2%、「知らない」が37.6%となっている。

図表 33 「子どもに関することが決められ、行われるときは『その子どもにとって最もよいことはなにか』を第一に考えること」の認知度

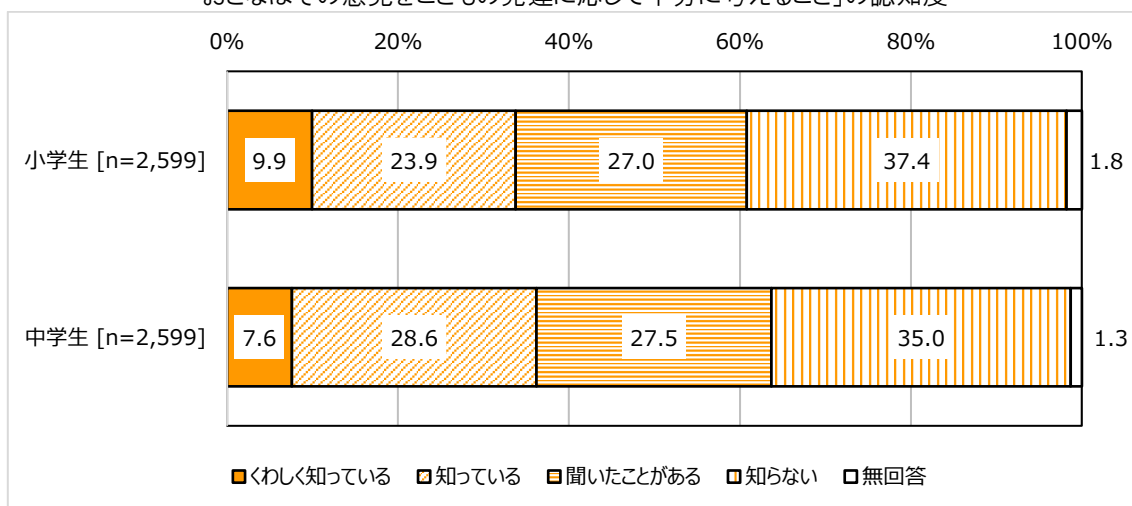


(ウ)「子どもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考えること」の認知度

「子どもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考えること」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が33.8%、「聞いたことがある」が27.0%、「知らない」が37.4%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が36.2%、「聞いたことがある」が27.5%、「知らない」が35.0%となっている。

図表 34 「子どもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考えること」の認知度

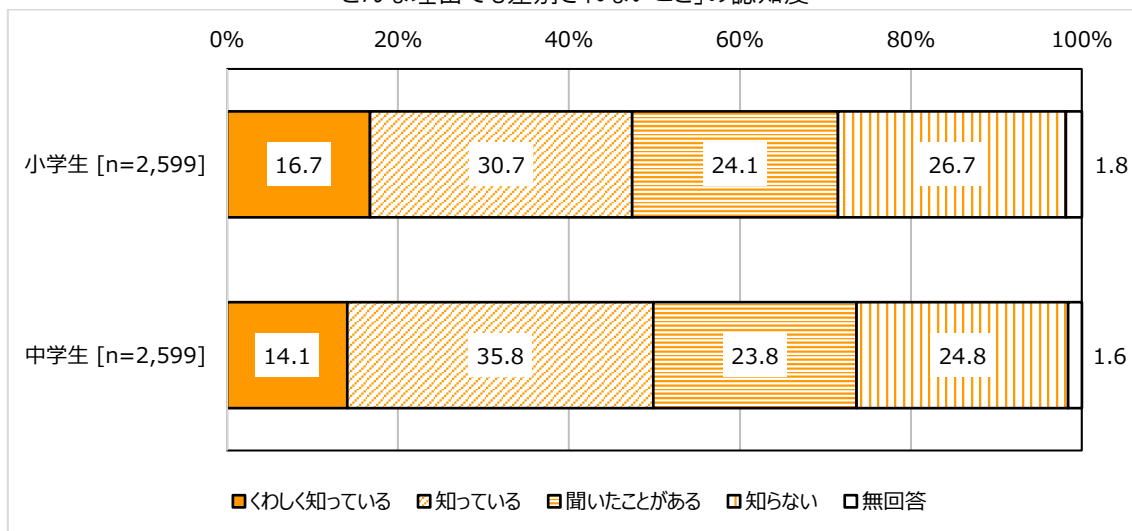


(エ)「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されないこと」の認知度

「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されないこと」については、小学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が47.4%、「聞いたことがある」が24.1%、「知らない」が26.7%となっている。

中学生では、「くわしく知っている」+「知っている」が49.9%、「聞いたことがある」が23.8%、「知らない」が24.8%となっている。

図表 35 「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されないこと」の認知度



## (7) 松山市への意見

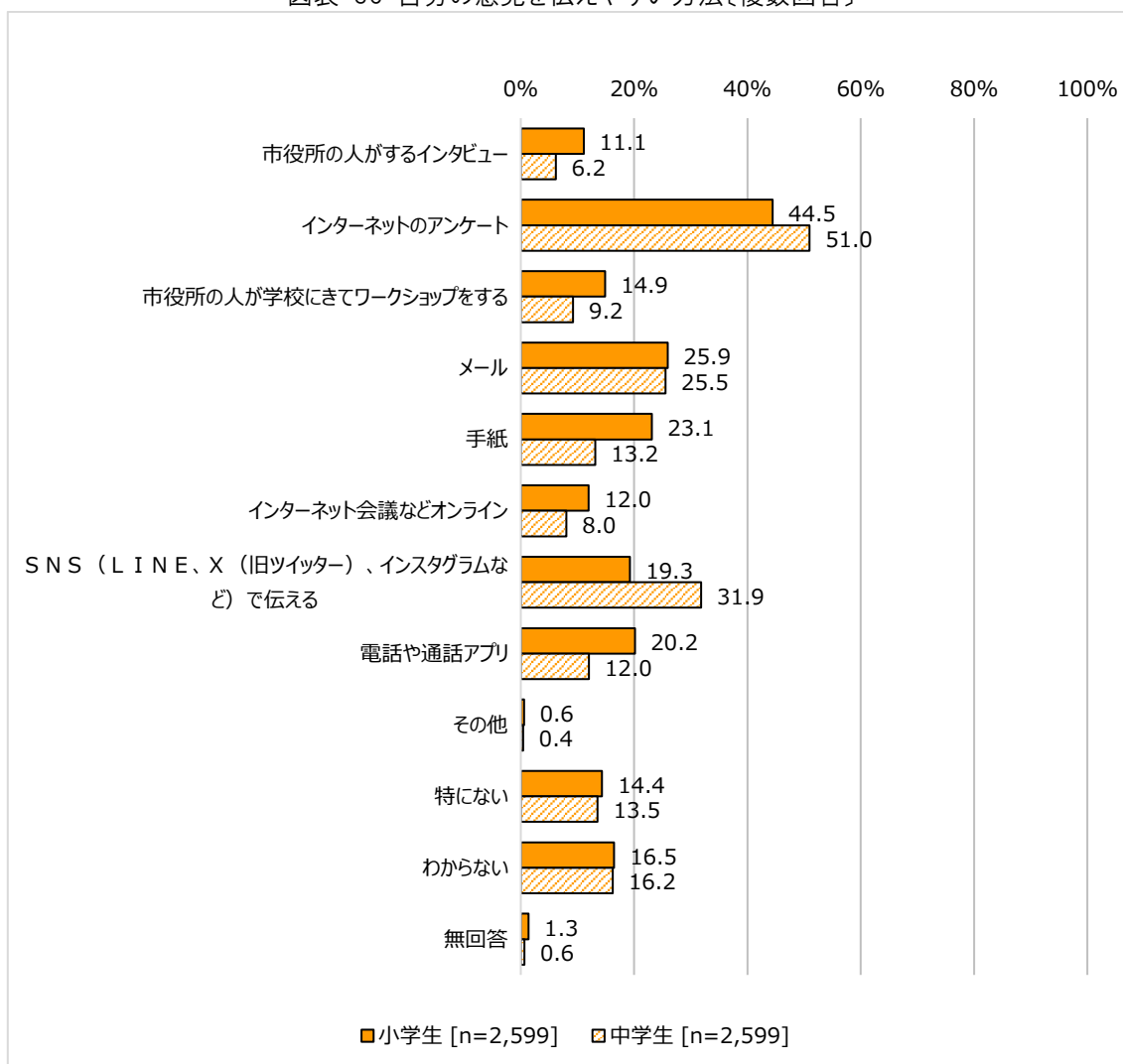
### ①自分の意見を伝えやすい方法

自分の意見を伝えやすい方法については、小学生では、「インターネットのアンケート」が44.5%、「メール」が25.9%、「手紙」が23.1%となっている。

中学生では、「インターネットのアンケート」が51.0%、「SNS（LINE、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）で伝える」が31.9%、「メール」が25.5%となっている。

小学生では、「市役所の人が学校にきてワークショップをする」「手紙」「電話や通話アプリ」が中学生に比べ高く、中学生では、「SNS（LINE、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）で伝える」が小学生に比べ高くなっている。

図表 36 自分の意見を伝えやすい方法〔複数回答〕



## ②周りの大人へ言いたいこと

周りの大人へ言いたいことについて、合計1,389件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「1.学校生活」が289件、「2.遊び場の充実」が133件、「3.悩みや不安」が97件、「4.地域活性化・まちづくり」が181件、「5.行政への意見・要望」が75件、「6.家族への要望」が179件、「7.居場所や自由な時間の充実」が94件、「8.こどもの意見尊重」が39件、「1～8以外の意見」が302件であり、一部意見を抜粋して掲載している。

	項目	件数
1.学校生活	先生への対応や先生への意見・要望	67
	授業について	51
	宿題や課題の負担	35
	学校の荷物が重い	28
	遊具や運動場の整備	23
	時間割や休み時間について	23
	校則について	16
	給食について	13
	施設環境について	12
	その他	21
2.遊び場の充実	公園やボール遊び、スポーツができる場所の充実	98
	児童館等屋内で遊べる施設の充実	12
	楽しく遊べる場所等遊び場全般	23
3.悩みや不安	人間関係について	54
	勉強について	19
	性に関すること	7
	自分自身に関すること	6
	その他	11
4.地域活性化・まちづくり	安全安心なまちづくり	60
	遊園地、娯楽施設の充実	39
	商業施設の充実	29
	イベントや祭りの充実	24
	公共施設の整備、充実	23
	その他	6
	5.行政への意見・要望	施設等の整備
金銭的サポート	17	
平等、いじめのないまちづくり	13	
その他	26	
6.家族への要望	こどもへの対応（優しくしてほしい、怒らないでほしい等）	69

項目		件数
	家族と一緒に過ごす時間の充実	35
	お小遣い、物品の要望	32
	その他	43
7.居場所や自由な時間の充実	居場所の充実	67
	自由な時間、遊び時間の充実	27
8.こどもの意見尊重		39
9.上記 1～8 以外の意見	家族や先生、周囲の大人への感謝	82
	将来について	29
	支援が必要なこども、人へのサポートについて	16
	休みたい	13
	習い事、塾について	13
	部活について	5
	その他周囲の大人への意見、要望	53
	その他	91
合計		1,389

## 主な意見

### 1. 学校生活

1	悩みを聞いて解決してくれる先生がほしい。
2	もうちょっと授業を楽しく、わかりやすくしてください。
3	宿題を減らしてほしい。
4	学校の遊具を増やしてほしい。
5	学校に持っていき、持って帰る荷物が重い（タブレットも重い）。
6	学校に、生き物と触れ合える施設（ビオトープやウサギ小屋など）が欲しいです。
7	体育館に冷房をつけてほしい。
8	学校が汚れている場所（故障中のもの）が多すぎると思うのでもっと学校を綺麗にしてほしい。
9	学校にエレベーターをつけてほしい。
10	好きな先生・友達と話す機会が欲しい。学年が変わってしまってあまり話せない先生とも周りの目を気にせず話せる場が欲しい。

### 2. 遊び場の充実

1	<ul style="list-style-type: none"><li>・新しい公園を作してほしい！</li><li>・公園に遊具を増やしてほしい。</li><li>・室内で遊べる施設を増やしてほしい。</li></ul>
2	サッカー、野球などのボール遊びができる場所が少ないので、遊具ゾーンとボール遊びゾーンを分ける、フェンスを高くするなどしてボール遊びができる公園を増やしてほしい。
3	ボールを使った遊び(野球、サッカー)などができる公園や公共施設屋内運動場がいろんな所にあってほしいです。
4	休みの日に学校の運動場を開放してほしい。
5	ボールが使える公園を多く作ったり、こどもたちがゆったりくつろげて遊べるところを作してほしい。
6	遊具を増やしてほしい。大きいプールが欲しい。松山市にめっちゃ大きい遊園地が欲しい。公園の遊具を大きくしたり多くしてほしい。新幹線が欲しい。ジェットコースターがほしい。全校児童で学校鬼ごっこや学校かくれんぼがしたい。
7	雨の日でも外で元気よく沢山遊べる場所と、勉強や読書が落ち着いてできる場所が欲しい。
8	校区内に児童館がないので、外で遊べない時に困る。校区内に一つは屋内ですごせる場所がほしい。学校のトイレが古くてきたないところがあるので、新しくしてほしい。自分のちょっとした悩みなどをもっと気軽に相談するところがあれば良いと思う。校区内でいろんなイベントをしてほしい。



### 3.悩みや不安

1	自分のことがうまく言えない時もあるけれど、ちゃんと自分のことを話して分かってもらいたい
2	いじめが起こらない環境を作してほしい。 また、いじめが起きた時に真剣にその子と向き合って話をしてあげてほしい。
3	もっと人間性に関することの教育をしてほしい。いじめだけでなく人に対する思いやりや礼儀のことについて。みんなが過ごしやすい学校にしてほしい。 タブレットだけで授業するのではなく、ちゃんとノートを使うような授業にしてほしい。
4	苦手な勉強を努力したい。
5	〇〇らしくしなさいと言われるとすごく悲しい気持ちになる。
6	自分が不安に思ったことを安心して相談できるようにしてほしい。 逃げたくなった時逃げられる場所が欲しい。

### 4.地域活性化・まちづくり

1	誰もが安心して意見を言える街にしてほしい。
2	ポイ捨てをなくしてほしいです。
3	安全で快適に過ごすためにポイ捨てなどやめてほしいです。
4	地球の環境がきれいになるような活動をしてほしい。
5	世界中のみんなが笑顔いっぱいになるようにみんなで工夫してそんな世界を協力して作りたい。
6	松山市に大きなドームやアリーナ、遊園地を作してほしい。
7	地域の人とイベントや遊ぶ機会をたくさん作してほしい。
8	もっと中高生が楽しく遊べるイベントが欲しい。 中高生が無料でくつろげる場所がもっと欲しい。
9	愛媛県をもっと有名にしたい。愛媛県のよさを世界に知ってもらいたい。
10	外国人の観光客や違う県の観光客もとてもいますが、もっと観光客を増やすようにしたり呼びかけるとみんなに愛媛の良さが伝わると思います。（例ポスターを作るなど）

### 5.行政への意見・要望

1	校区内に図書館が出来てほしい。
2	図書館の中などに静かに勉強できる（ブースでわかれていて他人が見えない）スペースをもっと増やしてほしい。
3	こども議会を作してほしい。
4	忙しいと思いますが、松山市役所の人に来てワークショップをしてほしいです。
5	自分の住んでいる地域がほんとうに発展していつているのかが目に見えないのではっきりわからない。このようなアンケートで出た意見などは、本当に使われて、ちゃんと現状が変わっているのか気になる。正直、意味の分からない校則などもあるので、なんのために存在しているのかなどを教えてください。

## 6. 家族への要望

1	優しく話を聞いてほしい。
2	理不尽に怒らないでほしい。 ちゃんと話を聞いてから怒ってほしい。 自分の意見を押し付けないでほしい。
3	もっと家族と話す時間が欲しい。
4	家族と一緒に出かけに行きたい。
5	仕事をする時間を減らして家族との時間を作ってほしい。 仕事などで忙しい大人に、何かの新しい連休を作って、休む日を作ってほしい。
6	お小遣いを増やしてほしい。

## 7. 居場所や自由な時間の充実

1	安心できて子どもだけで行っていい施設が欲しい。
2	子どもが気軽に行ける居場所を作ってほしい。 悩んでいることを子どもに聞いてサポートしてあげてほしい。 言いにくいことなどを相談できる場所を作ってほしい。
3	子どもの関係が深まる場所があってほしいです。
4	親と喧嘩をしたときに心を落ち着ける場所が欲しい。
5	誰にも気を遣わずにゆっくりできる場所を作ってほしい。
6	もう少し全校のみんなで集まる時間やもっと友達と集まって遊べる時間が欲しい。
7	自分が一人でいれる時間が、少し少なく感じるから、そういう時間を作ってほしい。

## 8. こどもの意見尊重

1	大人の意見で社会が動いていることが多いのもっとこどもの意見を聞いて実践してほしいです。
2	もう少しこどもの意見を尊重してほしい。
3	今の暮らしは幸せだけど、もっとこどもに目を向けて、寄り添って、こどもの意見を最優先してほしい。 我慢する人が出てこないようにしてほしい。
4	自分の意見を聞いてくれる場所。

## 9. 上記1～8以外の意見

1	いつも、僕たちを支えてくれてありがとうございます。
2	学校の先生、家族、習い事の先生、（その他お世話になっている大人の方々）、いつもありがとうございます。

3	今回のアンケートで、今幸せに生きられていることを周りの人達に改めて感謝できたので、このような機会を与えてくださりありがとうございました。
4	もっと気軽に相談したり話したりする場所（機会）を作ってほしい。
5	もうちょっと職場体験や将来に関係する授業がいい！！
6	高校進学に利用できる支援金のような制度があれば、将来のことを考えても安心できる。 幼稚園・保育所・小学校に耐震化の設備をしっかりと整備して、小さい子どもをしっかりと守ってあげてほしい。
7	将来のこと、受験のことを相談したい。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもに、やさしく対応できる場所を作って欲しいです。</li> <li>・子どもたちが、安心できる場所が欲しいです。</li> <li>・みんなが、悩み事や嫌な思いが話せる場所が欲しいです。</li> </ul>
9	ADHDや自閉スペクトラム症の児童に対するケア体制をもっと充実させてほしいです。また学校の先生には厳しすぎたり威圧的な態度での指導は絶対やめてほしいです。
10	障がい者の人でも楽しくあそべるイベント。
11	様々な事情を抱え、学問に支障をきたしている人が、安心して学業に励める制度を作ってほしい。
12	子どもによりそってほしい。
13	子どもの将来の夢を否定しないでほしいです。
14	人に人生を作られるより、自分の好きなように生きたい。

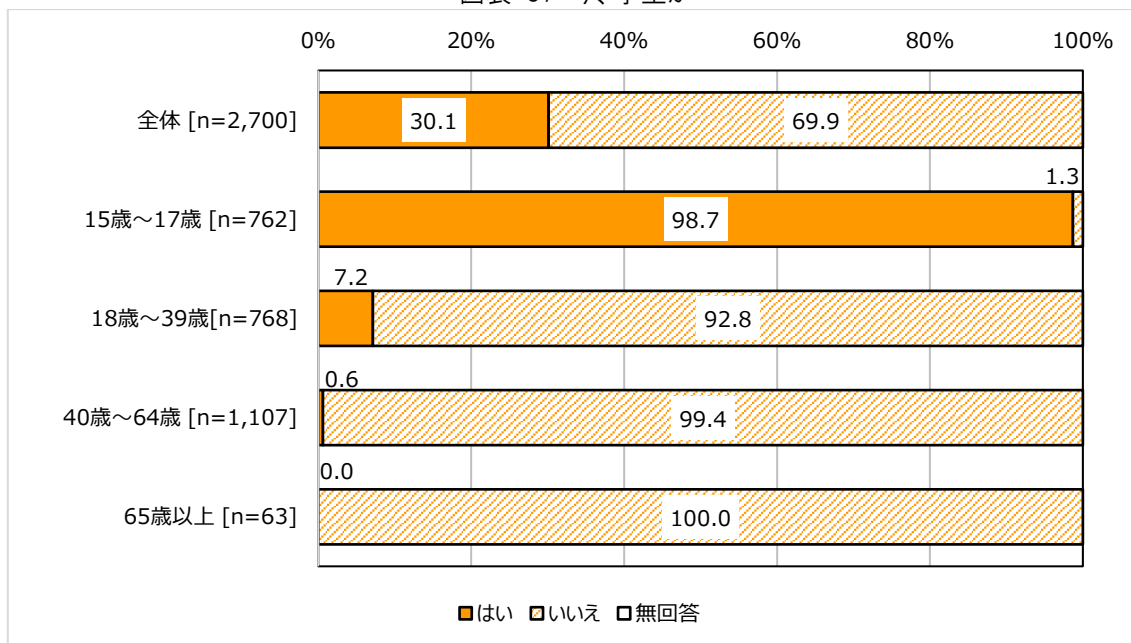
### 3 高校生以上調査

#### (1) 基本情報

##### ①今、学生か

今、学生かについては、全体では、「いいえ」が69.9%、「はい」が30.1%となっている。

図表 37 今、学生か



##### ②在学学校種別

学生であると回答した人に在学学校種別を聞いたところ、15歳~17歳で「高等学校」が97.3%、18歳~39歳で「大学」が81.8%と最も高くなっている。

図表 38 在学学校種別

(単位: %)

	(n=)	高等学校	学校 特別 支援	フリースク ール等	進学予備校	専門学校	大学	大学院	その他	無回答
全体	814	89.9	0.4	0.2	0.1	0.6	6.3	0.6	0.9	1.0
15歳~17歳	752	97.3	0.4	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.9	0.9
18歳~39歳	55	0.0	0.0	1.8	1.8	5.5	81.8	7.3	0.0	1.8
40歳~64歳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0
65歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### ③現在の仕事

現在の仕事については、全体では、「正規の社員・職員・従業員」が37.3%、「学生」が30.1%、「パート・アルバイト」が14.3%となっている。

図表 39 現在の仕事

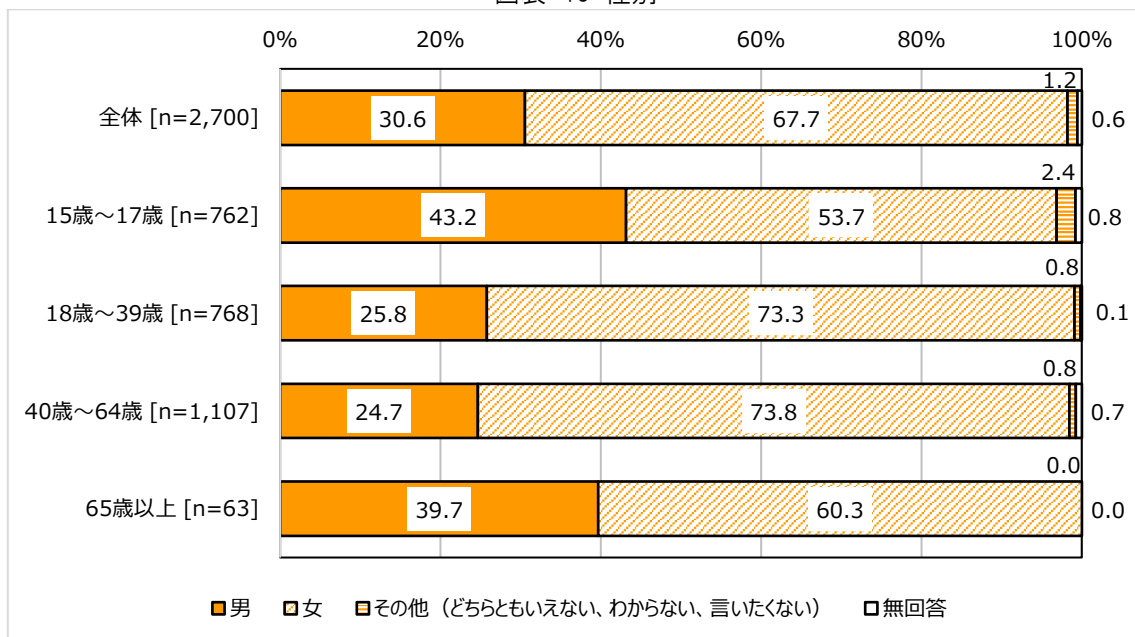
(単位: %)

	(n=)	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員	正規の社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業	家族従業者	専業主婦・主夫	働いていない(仕事を探している)	働いていない(仕事を探していない)	その他	学生	無回答
全体	2,700	14.3	3.9	37.3	1.3	2.0	0.3	7.6	1.1	1.1	0.4	30.1	0.4
15歳～17歳	762	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	98.7	0.0
18歳～39歳	768	12.1	4.7	60.2	0.9	3.0	0.3	9.4	1.2	0.3	0.4	7.2	0.5
40歳～64歳	1,107	24.9	5.8	48.6	2.3	2.7	0.6	10.8	1.5	0.7	0.5	0.6	0.7
65歳以上	63	23.8	7.9	6.3	3.2	3.2	0.0	20.6	4.8	28.6	1.6	0.0	0.0

### ④性別

性別については、全体では、「女」が67.7%、「男」が30.6%、「その他(どちらともいえない、わからない、言いたくない)」が1.2%となっている。

図表 40 性別



## ⑤現在の同居者

現在の同居者については、15歳～17歳で、「母」「父」「兄弟姉妹」が高くなっており、18歳以上では「配偶者（パートナー）」「あなたのこども」が高くなっている。

図表 41 現在の同居者〔複数回答〕

(単位:%)

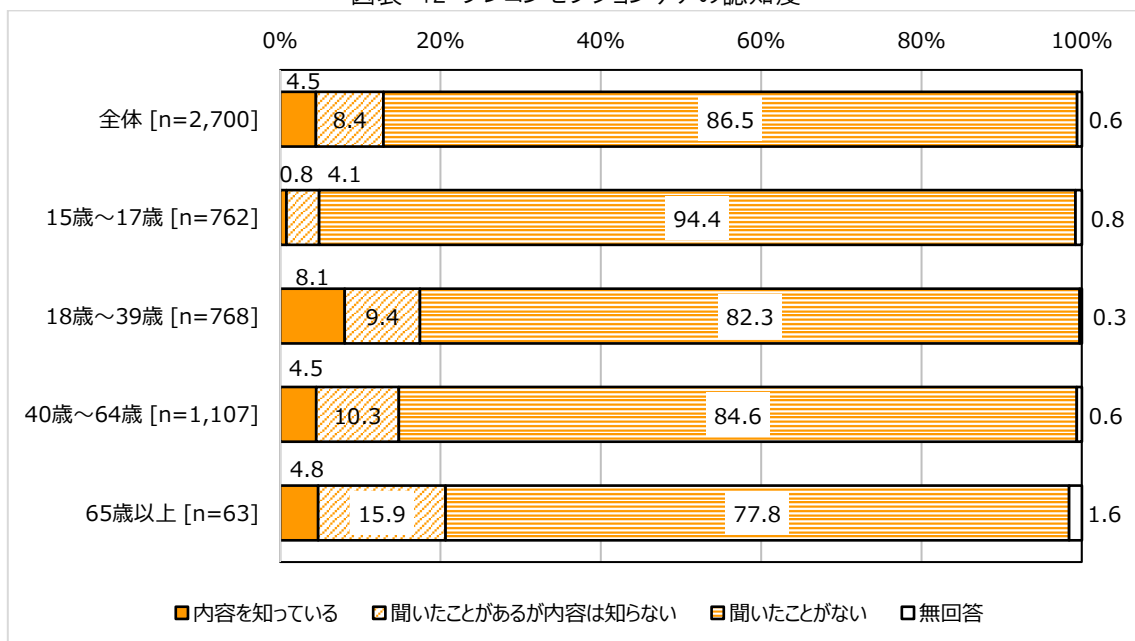
	(n=)	父	母	兄弟姉妹	祖父	祖母	親戚	里親	施設の職員	配偶者(パートナー)	あなたのこども	その他	同居している人はいない	無回答
全体	2,700	27.9	35.5	20.8	2.8	4.4	0.6	0.1	0.0	53.1	50.7	1.8	5.7	1.1
15歳～17歳	762	76.1	90.6	63.0	7.7	12.6	0.9	0.4	0.1	0.5	0.8	3.8	0.7	1.0
18歳～39歳	768	12.5	16.9	8.1	1.6	2.1	0.4	0.0	0.0	67.7	63.8	0.7	10.9	0.7
40歳～64歳	1,107	6.9	12.2	1.7	0.4	0.6	0.5	0.0	0.0	78.7	77.3	1.0	4.4	1.4
65歳以上	63	0.0	4.8	1.6	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	60.3	27.0	6.3	23.8	0.0

## (2) 健康について

### ①プレコンセプションケアの認知度

プレコンセプションケアについては、全体では、「聞いたことがない」が86.5%と大半を占めている。特に、15歳～17歳では「聞いたことがない」が94.4%と高くなっている。

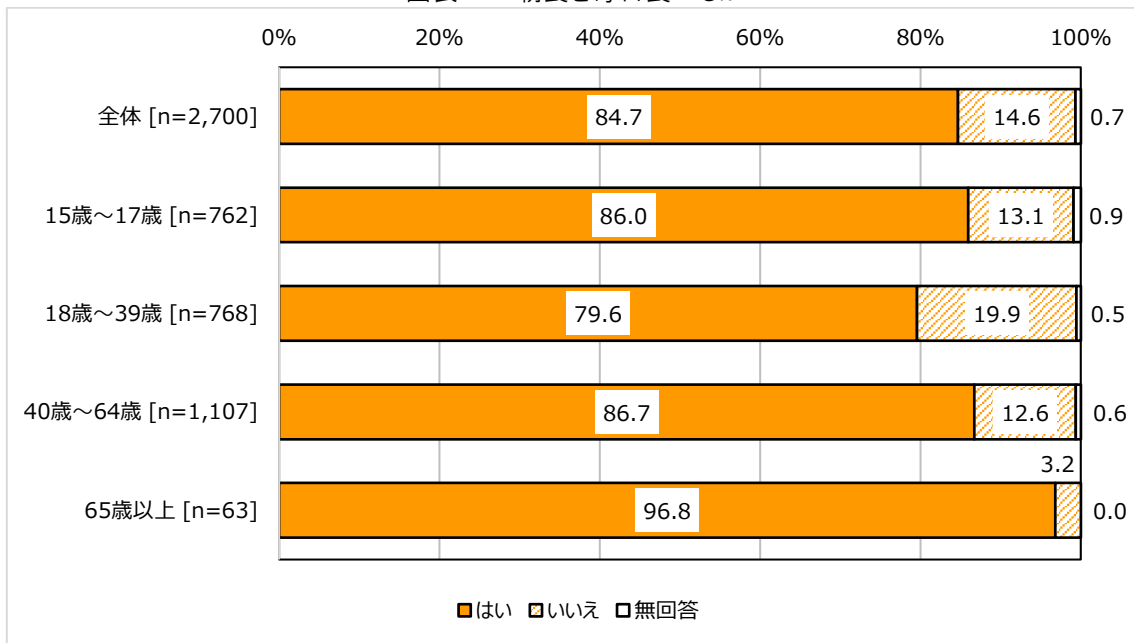
図表 42 プレコンセプションケアの認知度



## ②朝食を毎日食べるか

朝食を毎日食べるかについては、全体では、「はい」が84.7%、「いいえ」が14.6%となっている。特に、18歳～39歳では、他の年代に比べて「はい」の割合が低く、79.6%となっている。

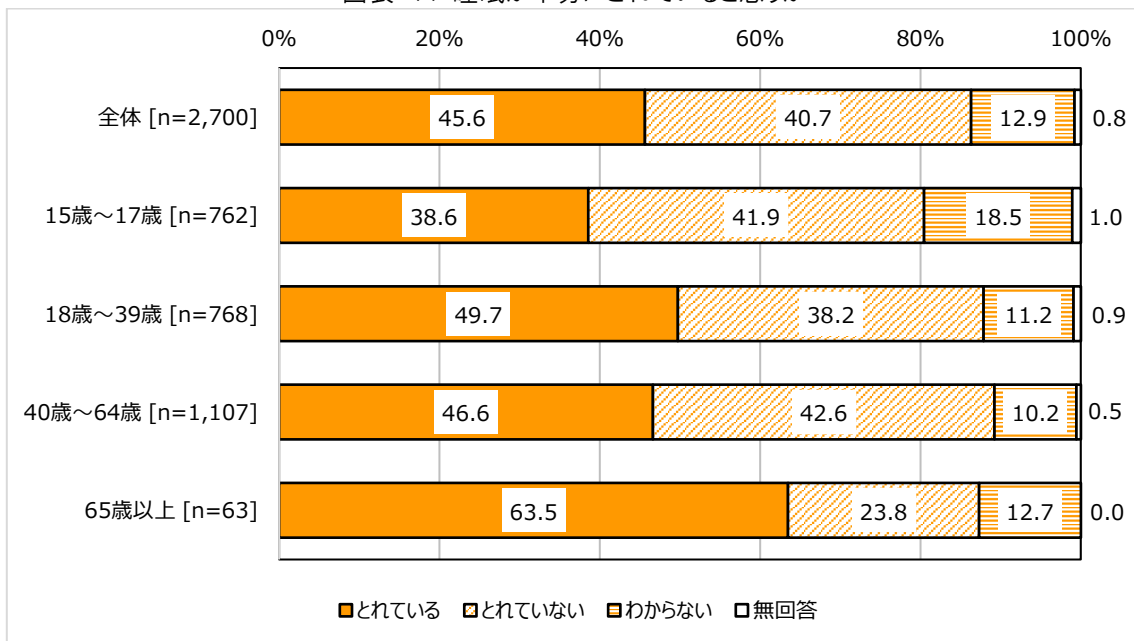
図表 43 朝食を毎日食べるか



## ③睡眠が十分にとれていると思うか

睡眠が十分にとれていると思うかについては、全体では、「とれている」が45.6%、「とれていない」が40.7%、「わからない」が12.9%となっている。特に、15歳～17歳では、他の年代に比べて「とれている」の割合が低く、38.6%となっている。

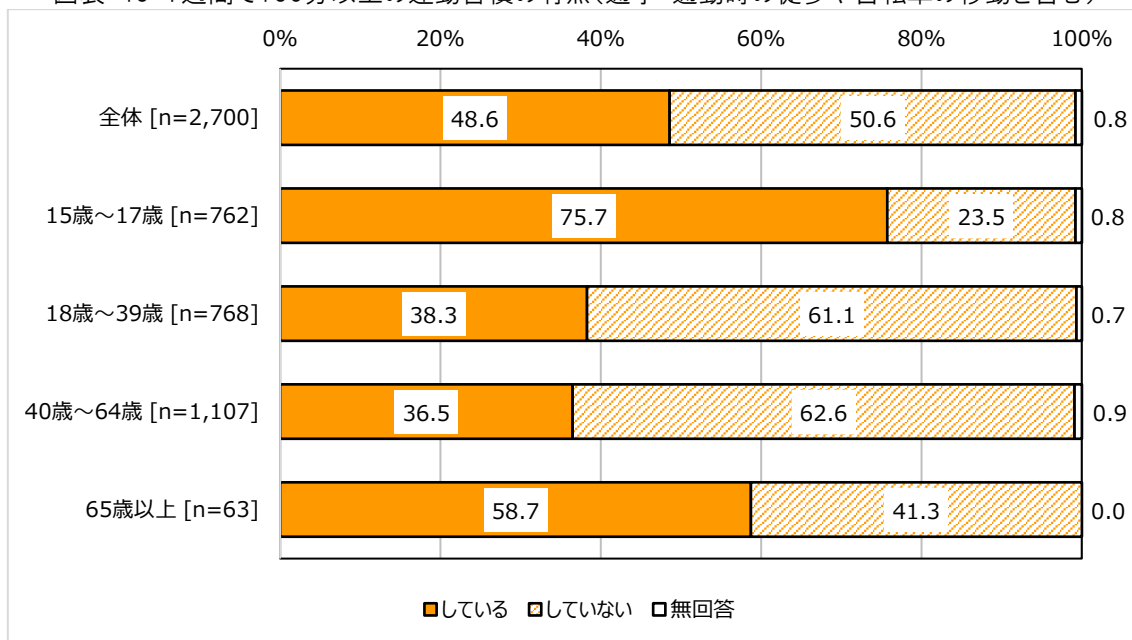
図表 44 睡眠が十分にとれていると思うか



#### ④ 1週間で150分以上の運動習慣の有無（通学・通勤時の徒歩や自転車の移動を含む）

1週間で150分以上の運動習慣の有無（通学・通勤時の徒歩や自転車の移動を含む）については、全体では、「していない」が50.6%、「している」が48.6%となっている。15歳～17歳では「している」が75.7%と高くなっているのに対し、18歳～64歳では「している」が4割程度となっている。

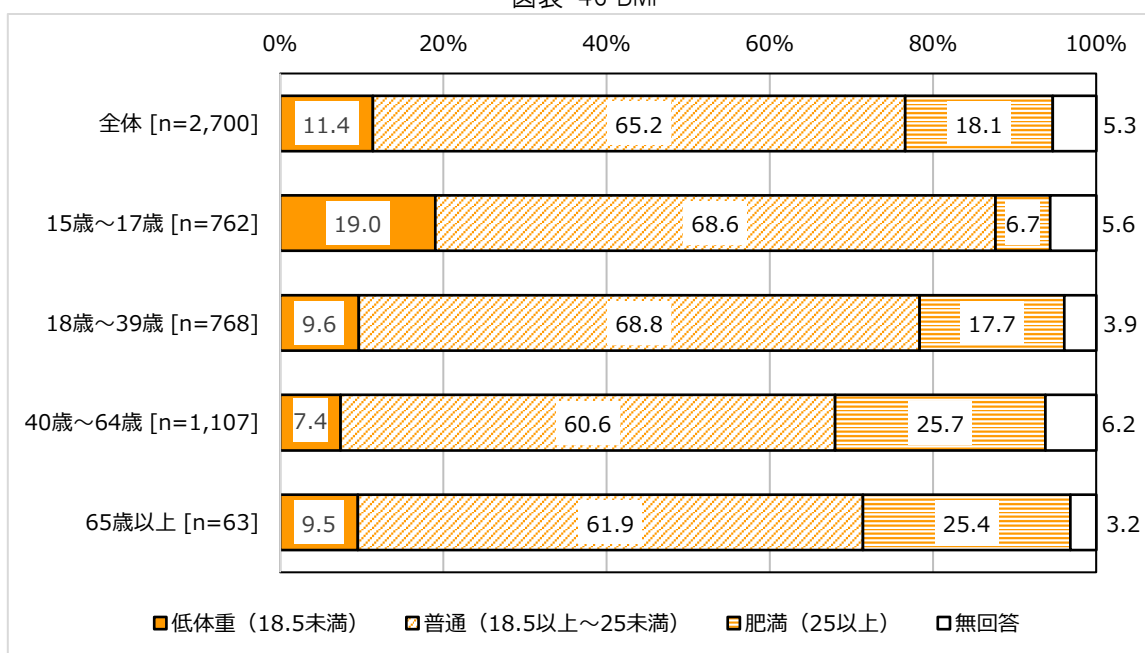
図表 45 1週間で150分以上の運動習慣の有無(通学・通勤時の徒歩や自転車の移動を含む)



#### ⑤ BMI

BMIについては、全体では、「普通（18.5以上～25未満）」が65.2%、「肥満（25以上）」が18.1%、「低体重（18.5未満）」が11.4%となっている。15歳～17歳では、他の年代に比べて、「低体重（18.5未満）」の割合が高く、19.0%となっている。

図表 46 BMI



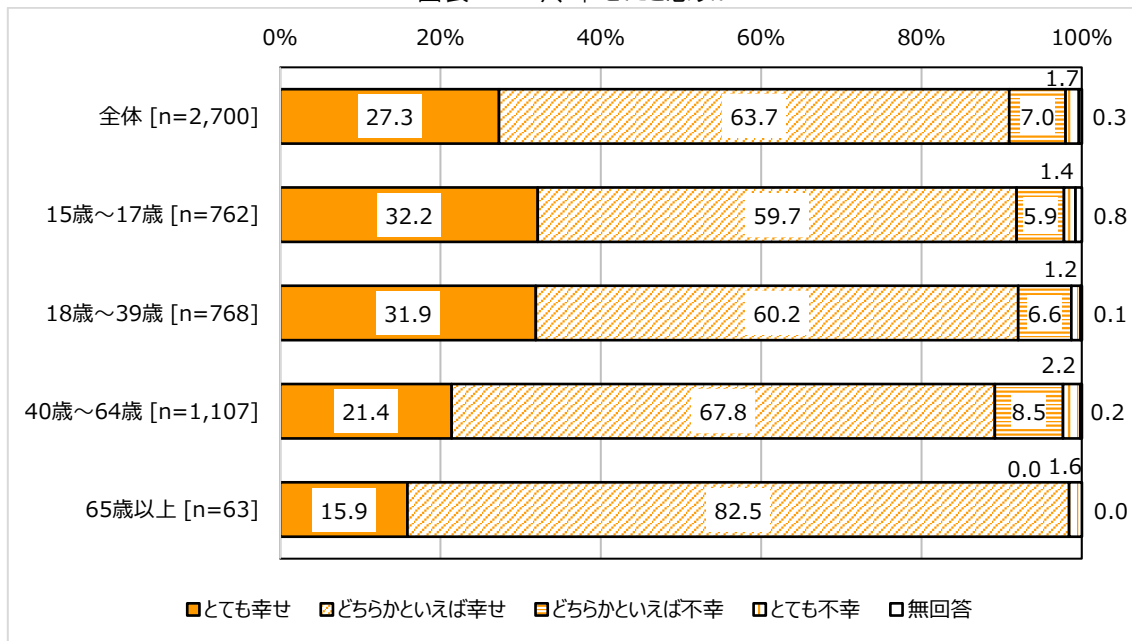


### (3) あなた自身について

#### ①今、幸せだと思うか

今、幸せだと思うかについては、いずれの年代も「幸せ」（「とても幸せ」＋「どちらかといえば幸せ」）が9割程度となっている。一方で、「不幸」（「とても不幸」＋「どちらかといえば不幸」）については、40歳～64歳で1割程度、15歳～39歳で7%程度いる状況である。

図表 47 今、幸せだと思うか

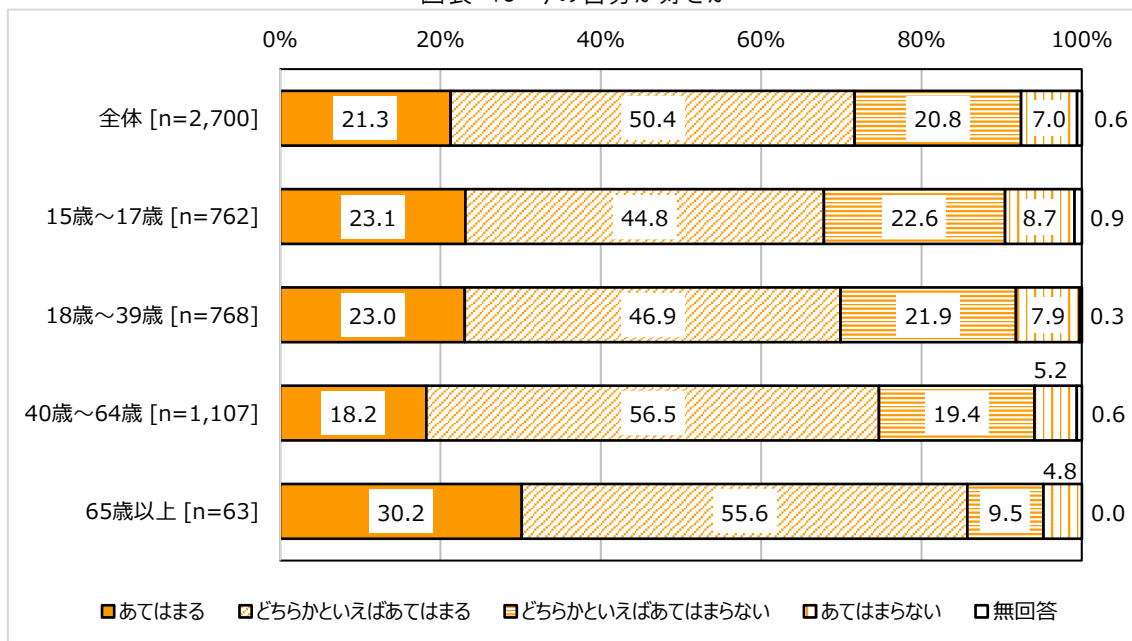


#### ②自分自身について

##### (ア)今の自分が好きか

今の自分が好きかについては、全体では、「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」が71.7%、「あてはまらない」＋「どちらかといえばあてはまらない」が27.8%となっている。

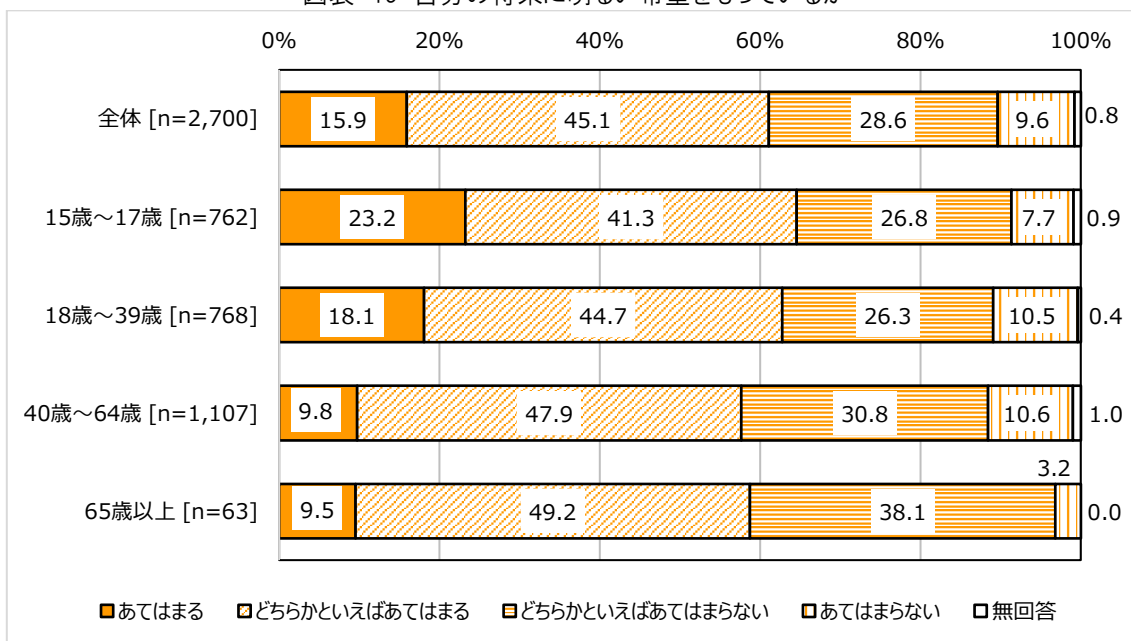
図表 48 今の自分が好きか



(イ)自分の将来に明るい希望をもっているか

自分の将来に明るい希望をもっているかについては、全体では、「あてはまる」 + 「どちらかといえばあてはまる」が61.0%、「あてはまらない」 + 「どちらかといえばあてはまらない」が38.2%となっている。年齢が低い方が「あてはまる」 + 「どちらかといえばあてはまる」の割合が高くなっている。

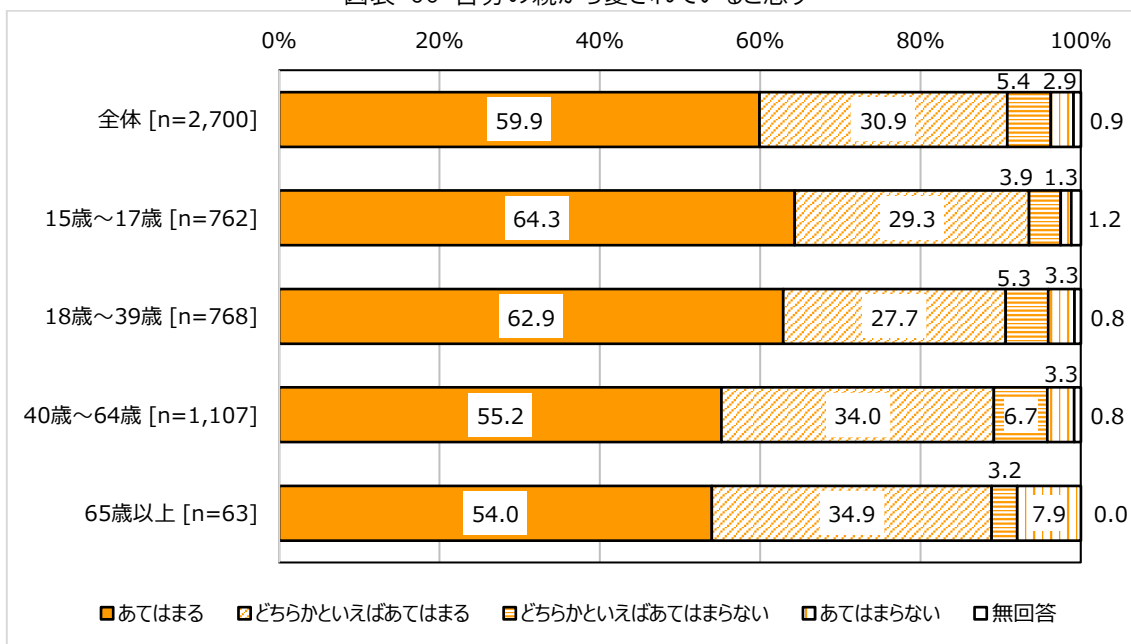
図表 49 自分の将来に明るい希望をもっているか



(ウ)自分の親から愛されていると思うか

自分の親から愛されていると思うかについては、全体では、「あてはまる」 + 「どちらかといえばあてはまる」が90.8%、「あてはまらない」 + 「どちらかといえばあてはまらない」が8.3%となっている。

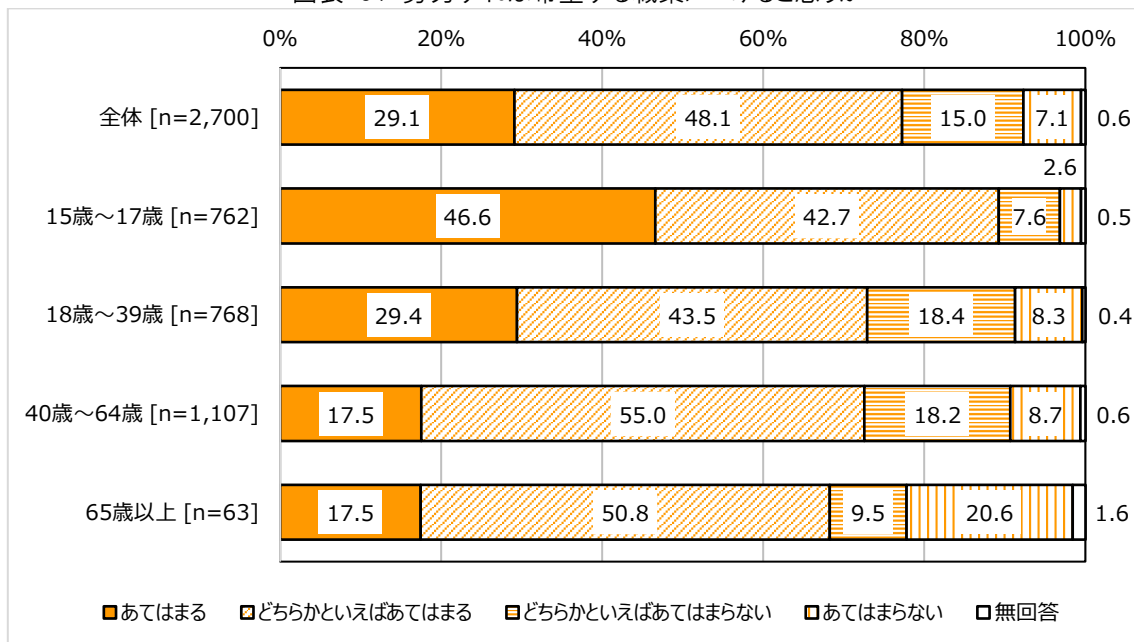
図表 50 自分の親から愛されていると思う



(エ)努力すれば希望する職業につけると思うか

努力すれば希望する職業につけると思うかについては、全体では、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が77.2%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が22.1%となっている。15歳～17歳では「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が89.3%と高くなっているが、年代があがるにつれて、その割合は低くなっている。

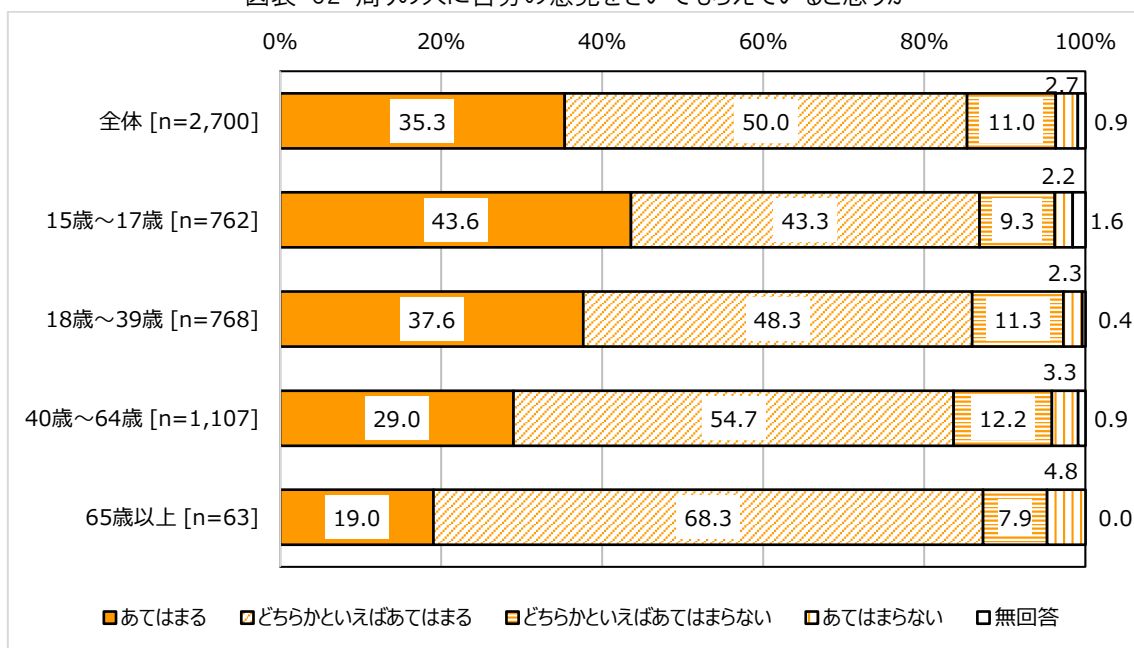
図表 51 努力すれば希望する職業につけると思うか



(オ)周りの人に自分の意見をきいてもらえていると思うか

周りの人に自分の意見をきいてもらえていると思うかについては、全体では、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が85.3%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が13.7%となっている。

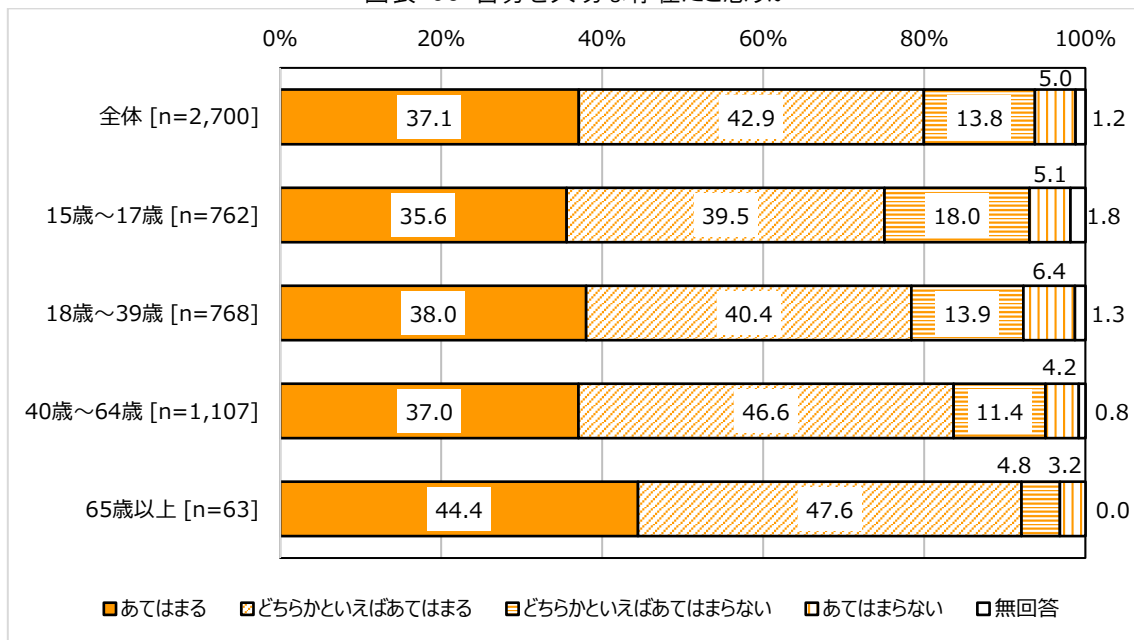
図表 52 周りの人に自分の意見をきいてもらえていると思うか



### (カ)自分を大切な存在だと思うか

自分を大切な存在だと思うかについては、全体では、「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」が80.0%、「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が18.8%となっている。15歳～17歳で「あてはまらない」+「どちらかといえばあてはまらない」が23.1%となっており、他の年代に比べてやや高くなっている。

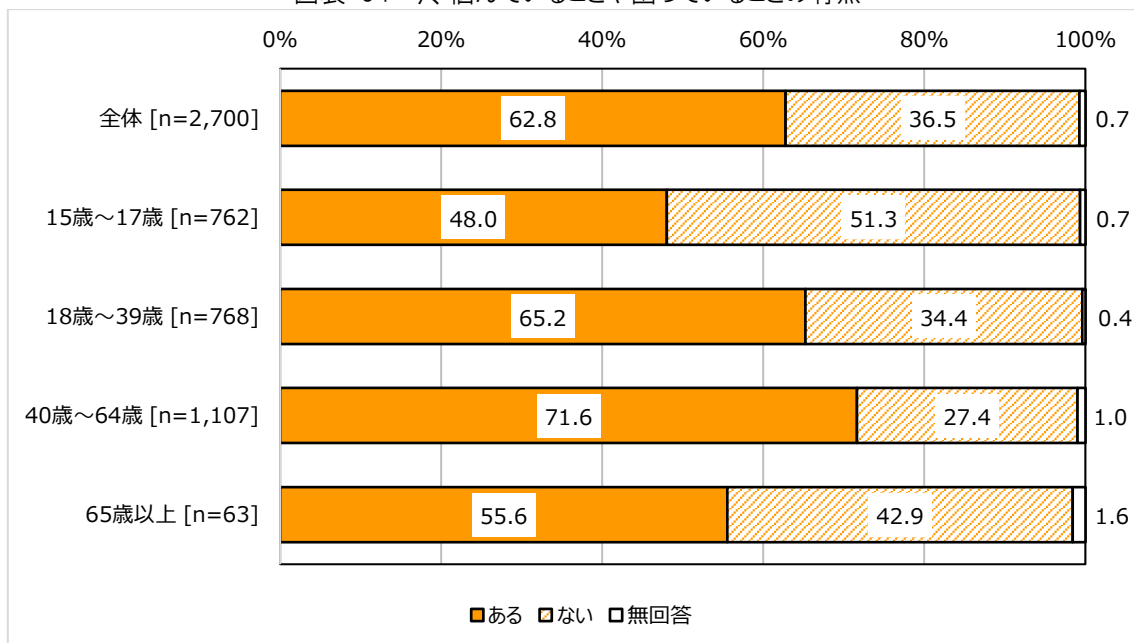
図表 53 自分を大切な存在だと思うか



### ③今、悩んでいることや困っていることの有無

今、悩んでいることや困っていることについては、全体では、「ある」が62.8%、「ない」が36.5%となっている。特に、40歳～64歳で「ある」の割合が他の年代に比べて高く、71.6%となっている。

図表 54 今、悩んでいることや困っていることの有無



#### ④今、悩んでいることや困っていることの内容

悩んでいることがあると回答した人に対して、今、悩んでいることや困っていることの内容を聞いたところ、15歳～17歳では「勉強や受験・進路のこと」「将来のこと」、18歳～64歳では「お金のこと」「将来のこと」、65歳以上では「こころやからだの健康のこと」「将来のこと」が高くなっている。

図表 55 今、悩んでいることや困っていることの内容〔複数回答〕

(単位:%)

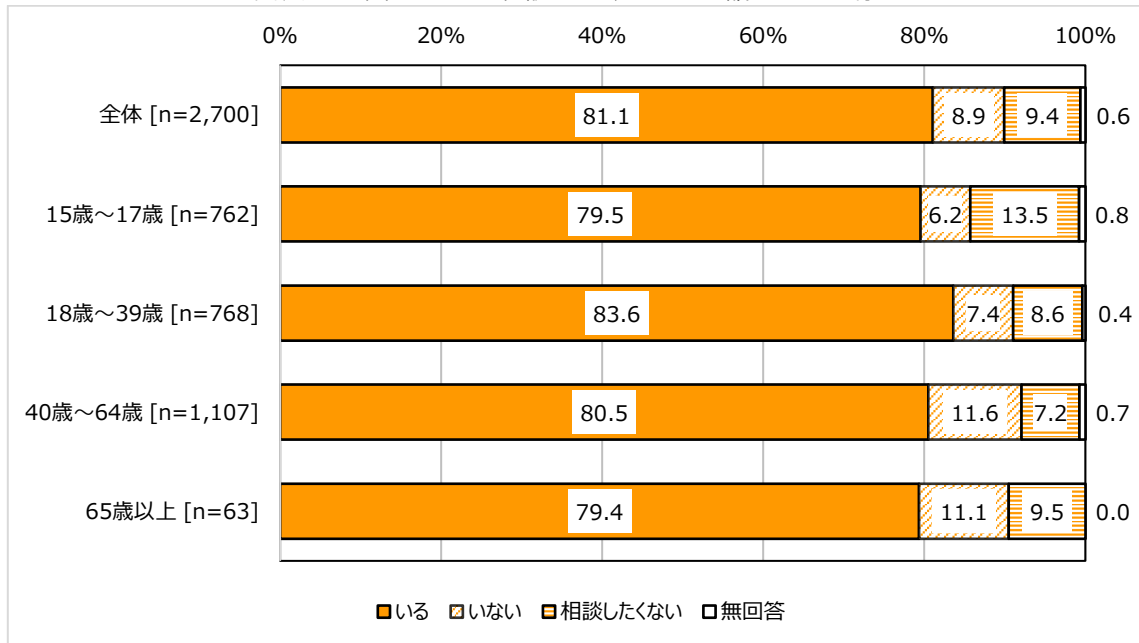
	(n=)	親(保護者)のこと	親(保護者)以外の家族のこと	お金のこと	友だちのこと	学校生活のこと	勉強や受験・進路のこと	将来のこと
全体	1,695	23.0	27.1	50.1	10.3	9.2	22.1	54.0
15歳～17歳	366	17.2	6.0	15.6	32.8	34.2	76.8	61.7
18歳～39歳	501	16.4	27.7	60.3	6.0	4.0	7.6	59.3
40歳～64歳	793	30.3	36.2	59.8	3.0	1.4	6.9	47.3
65歳以上	35	14.3	34.3	45.7	0.0	0.0	0.0	48.6

	(n=)	健康のこと	こころやからだの健康のこと	障がいのこと	性別に関すること	性に関すること	SNSのこと	その他	無回答
全体	1,695	28.3	4.8	1.1	2.1	1.6	10.6	0.5	
15歳～17歳	366	16.7	1.6	3.0	1.9	3.3	4.9	0.8	
18歳～39歳	501	25.7	5.4	0.8	3.8	1.4	11.8	0.4	
40歳～64歳	793	34.2	5.8	0.4	1.3	1.0	12.5	0.4	
65歳以上	35	54.3	8.6	0.0	0.0	0.0	8.6	0.0	

### ⑤ 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無

困ったときに相談したり、なやみを話せる人については、全体では、「いる」が81.1%、「相談したくない」が9.4%、「いない」が8.9%となっている。

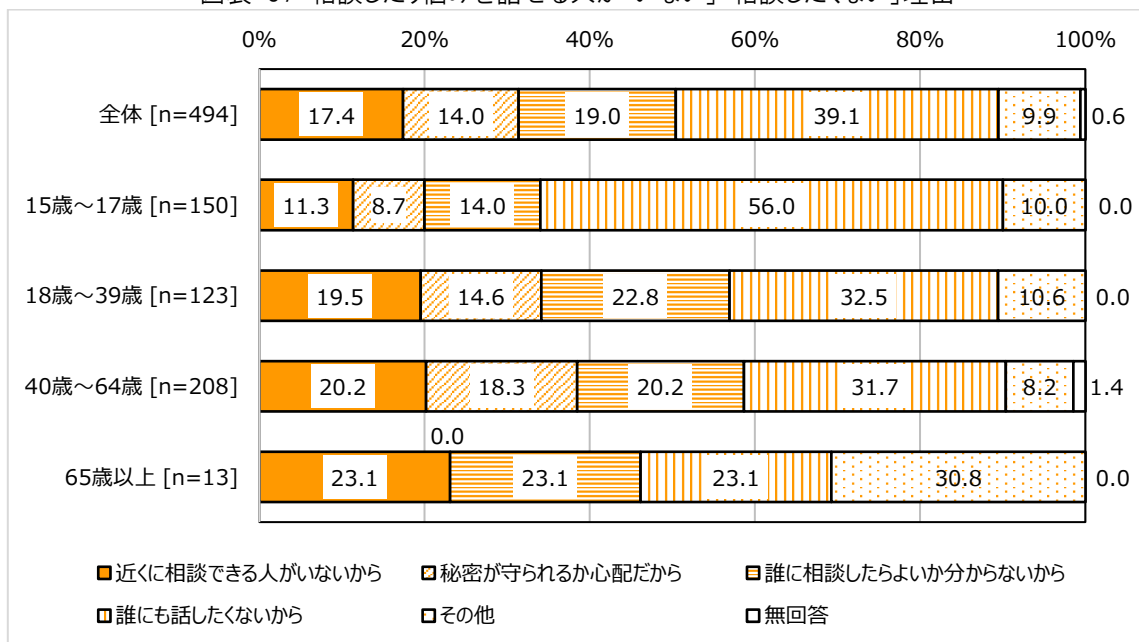
図表 56 困ったときに相談したり、なやみを話せる人の有無



### ⑥ 相談したり悩みを話せる人が「いない」「相談したくない」理由

相談したり悩みを話せる人が「いない」「相談したくない」と回答した人に対して、その理由を聞いたところ、全体では、「誰にも話したくないから」が39.1%、「誰に相談したらよいか分からないから」が19.0%、「近くに相談できる人がいないから」が17.4%となっている。特に、15歳～17歳では、「誰にも話したくないから」の割合が他の年代に比べて高く、56.0%となっている。

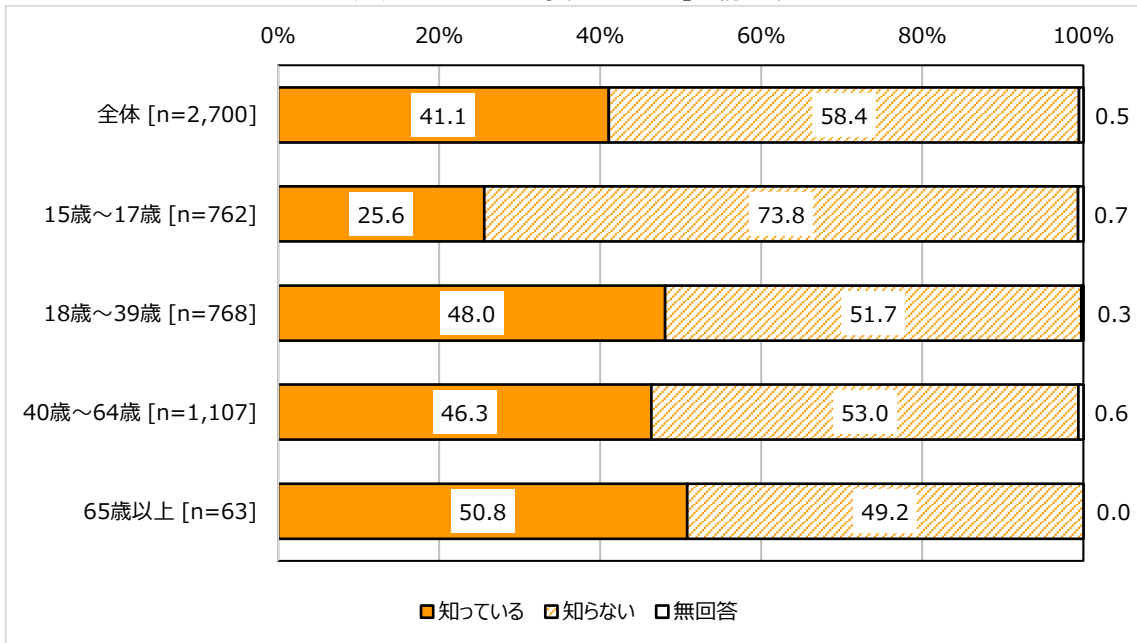
図表 57 相談したり悩みを話せる人が「いない」「相談したくない」理由



## ⑦ 「こども家庭センター」の認知度

「こども家庭センター」については、全体では、「知っている」が41.1%、「知らない」が58.4%となっている。特に、15歳～17歳では、「知っている」の割合が25.6%と他の年代に比べて低くなっている。

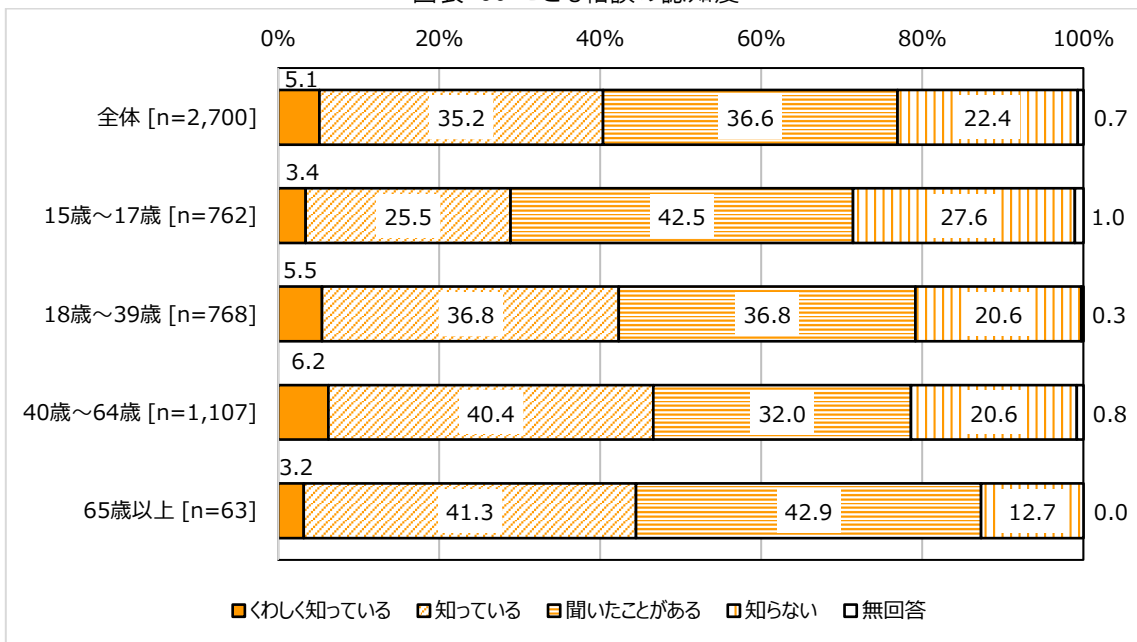
図表 58 「こども家庭センター」の認知度



## ⑧ 「こども相談」の認知度

「こども相談」については、全体では、「くわしく知っている」+「知っている」が40.3%となっている。特に、15歳～17歳では、「くわしく知っている」+「知っている」の割合が28.9%と他の年代に比べて低くなっている。

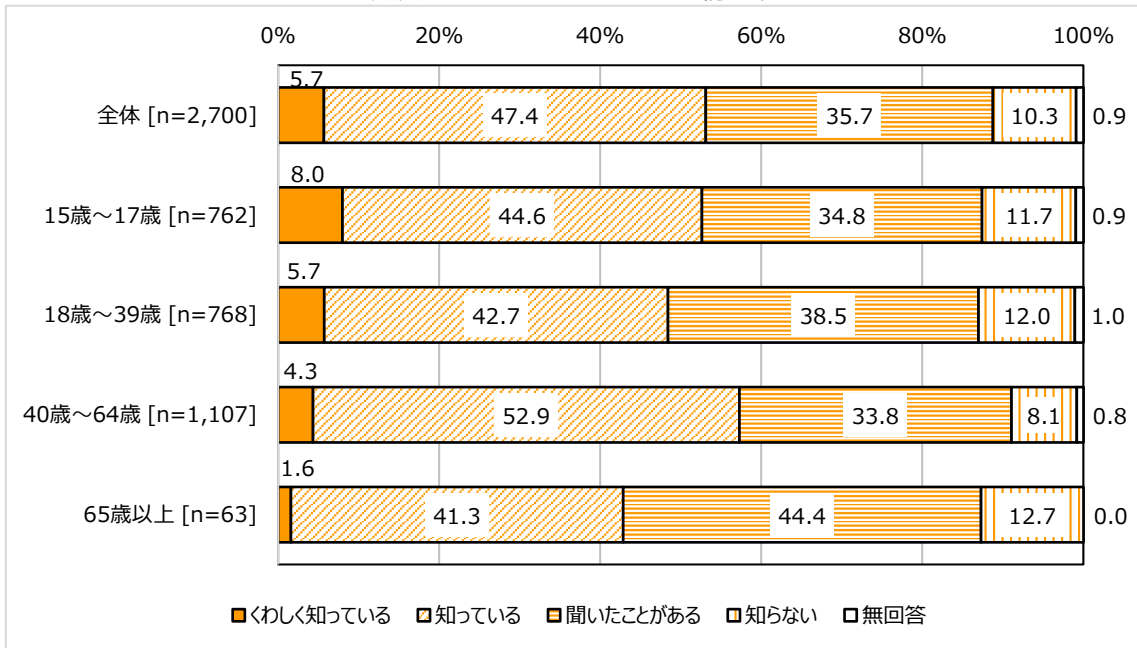
図表 59 こども相談の認知度



### ⑨ 「いじめほっとらいん」の認知度

「いじめほっとらいん」については、全体では「くわしく知っている」+「知っている」が53.1%となっている。

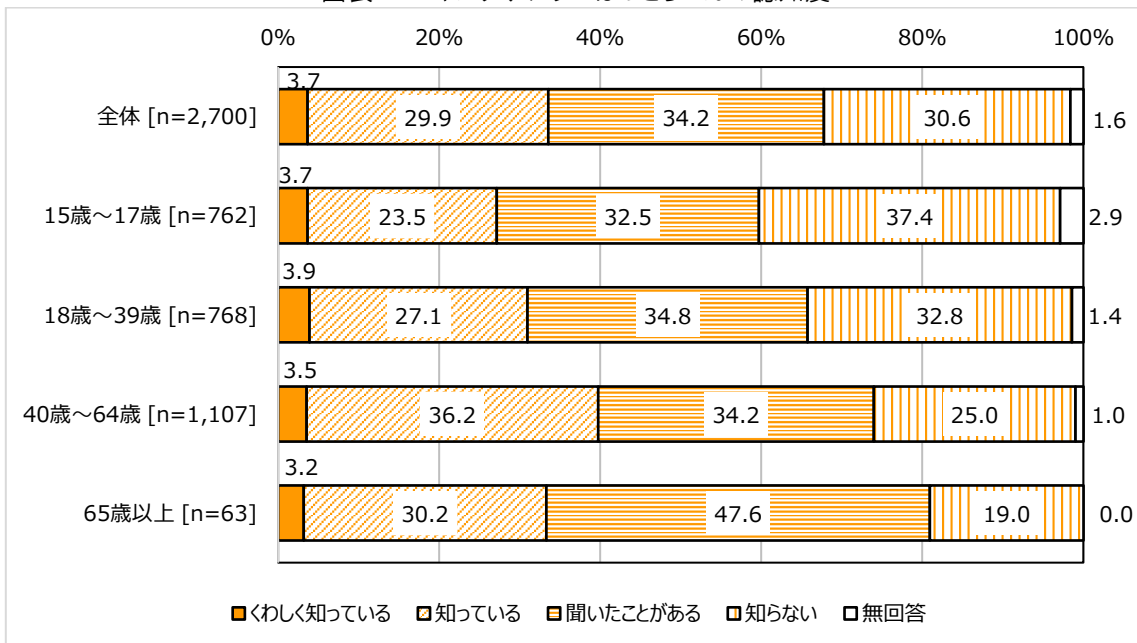
図表 60 いじめほっとらいんの認知度



### ⑩ 「ヤングケアラーほっとらいん」の認知度

「ヤングケアラーほっとらいん」については、全体では「くわしく知っている」+「知っている」が33.6%となっている。

図表 61 ヤングケアラーほっとらいんの認知度

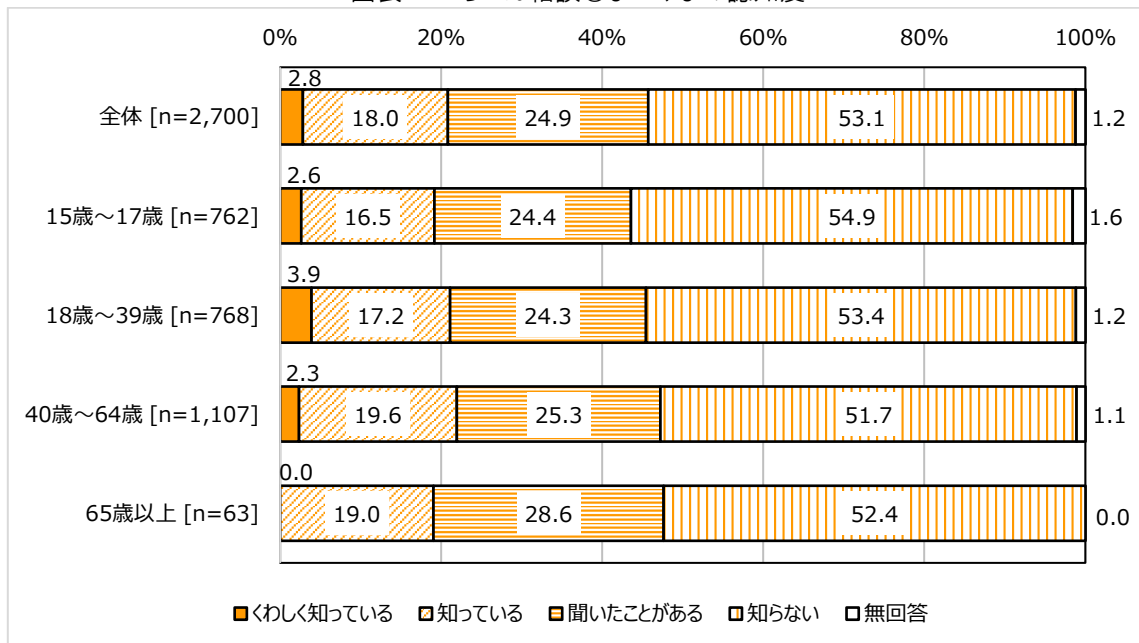




### ⑪ 「らいん相談@まつやま」の認知度

「らいん相談@まつやま」については、全体では「くわしく知っている」+「知っている」が20.8%となっている。

図表 62 らいん相談@まつやまの認知度



## ⑫相談しやすい窓口

相談しやすい窓口については、いずれの年代でも「秘密が守られる」、「無料で相談できる」、「自分が誰か知られずに相談できる」が上位に挙げられている。

図表 63 相談しやすい窓口〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	自分が誰か知られずに相談できる	秘密が守られる	自分と近い年齢の人に相談できる	自分と同じ性別の人に相談できる	専門家に相談できる	電話で相談できる	SNSやメールで相談できる
全体	2,700	63.1	73.2	22.7	23.9	50.6	20.1	42.6
15歳～17歳	762	63.1	71.8	28.0	28.5	33.5	13.1	43.4
18歳～39歳	768	63.2	71.2	22.3	24.7	53.0	18.4	48.0
40歳～64歳	1,107	64.0	75.6	19.0	20.5	60.4	25.3	39.7
65歳以上	63	46.0	71.4	28.6	17.5	54.0	36.5	17.5

	(n=)	曜日や時間を気にせずに相談できる	相談できる場所が家から近い	相談する相手が家に来てくれる	無料で相談できる	その他	特にない	無回答
全体	2,700	50.4	16.4	3.3	66.9	1.2	5.8	0.4
15歳～17歳	762	44.5	12.3	3.5	63.0	1.0	12.1	0.5
18歳～39歳	768	53.4	19.1	4.3	68.0	1.4	3.5	0.3
40歳～64歳	1,107	53.1	16.6	2.4	69.4	1.3	3.2	0.5
65歳以上	63	38.1	28.6	1.6	57.1	0.0	3.2	0.0

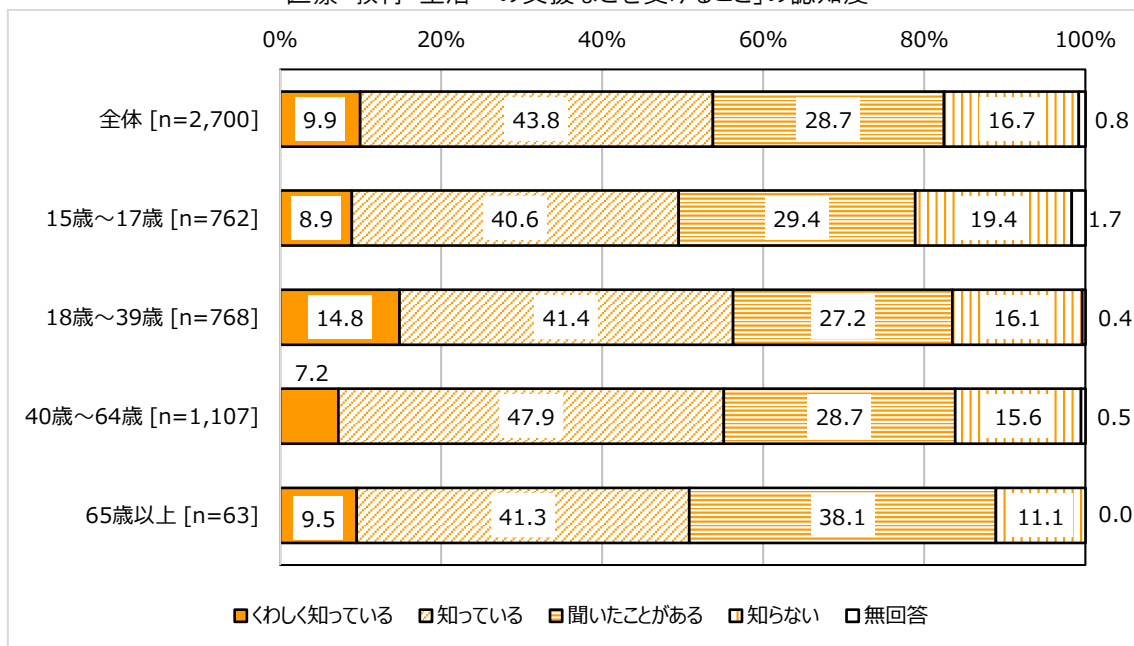
## (4) こどもの権利

### ① こどもの権利の認知度

(ア)「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」の認知度

「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」については、全体では、「くわしく知っている」+「知っている」が53.7%となっている。

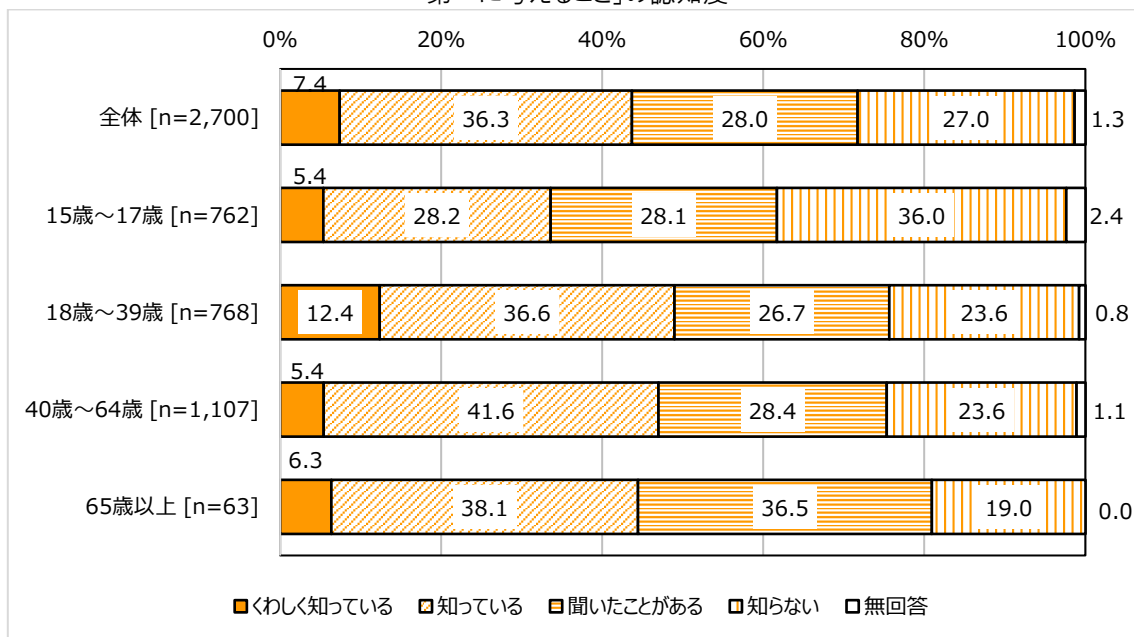
図表 64 「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること」の認知度



(イ)「子どもに関することが決められ、行われるときは『その子どもにとって最もよいことはなにか』を第一に考えること」の認知度

「子どもに関することが決められ、行われるときは『その子どもにとって最もよいことはなにか』を第一に考えること」については、全体では、「くわしく知っている」+「知っている」が43.7%となっている。特に、15歳～17歳では、「くわしく知っている」+「知っている」の割合が33.6%と他の年代に比べて低くなっている。

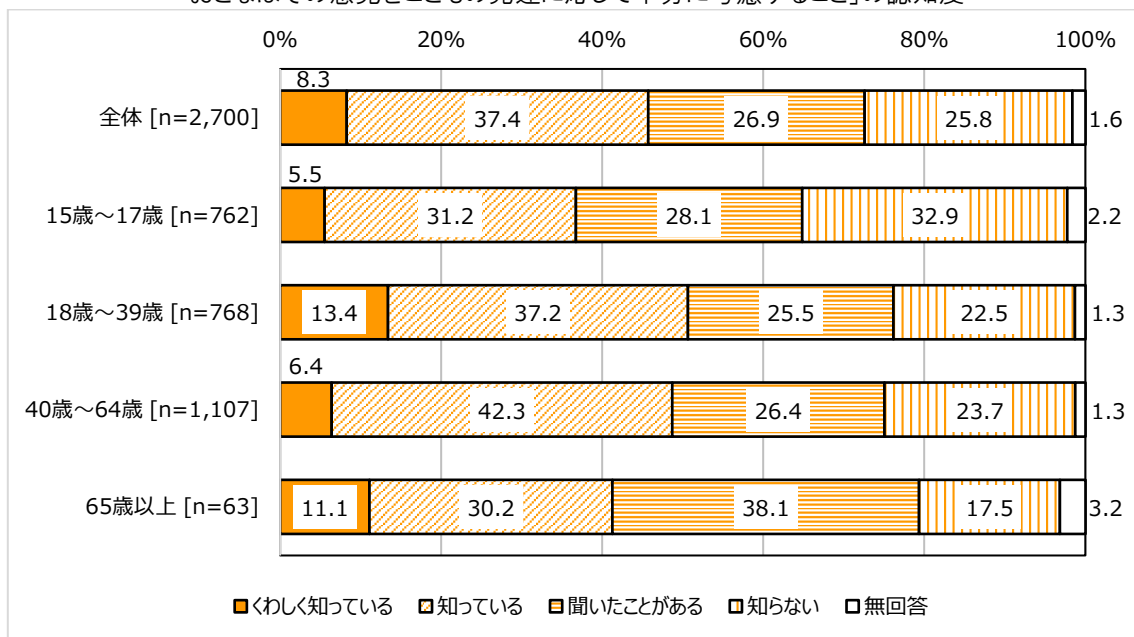
図表 65 「子どもに関することが決められ、行われるときは『その子どもにとって最もよいことはなにか』を第一に考えること」の認知度



(ウ)「子どもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮すること」の認知度

「子どもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮すること」については、全体では、「くわしく知っている」+「知っている」が45.7%となっている。特に、15歳～17歳では、「くわしく知っている」+「知っている」の割合が36.7%と他の年代に比べて低くなっている。

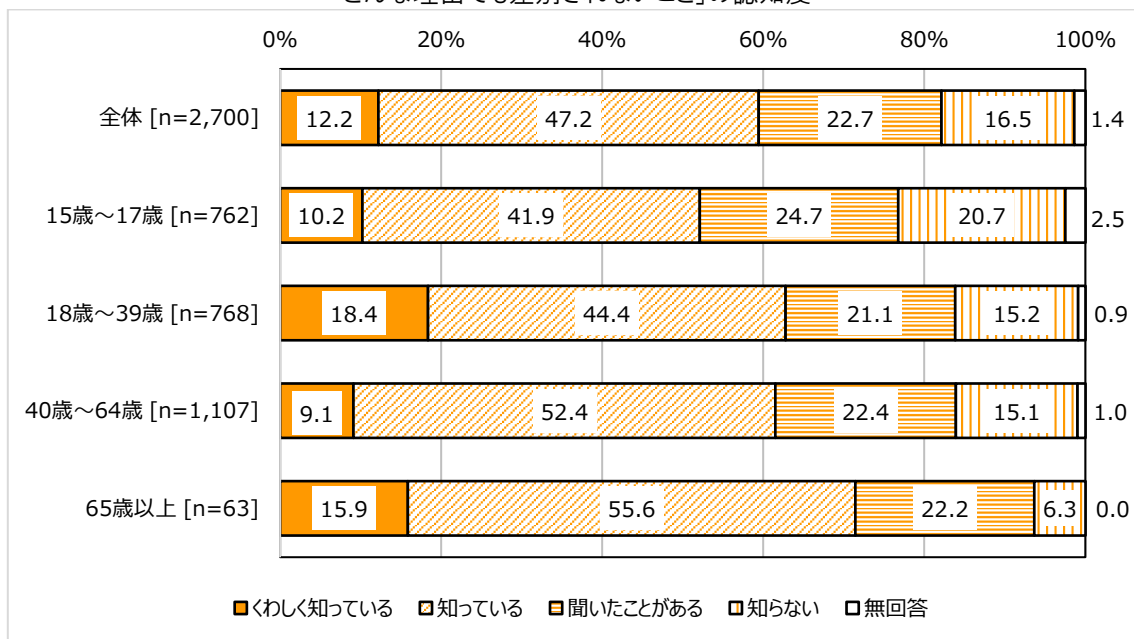
図表 66 「子どもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮すること」の認知度



(エ)「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されないこと」の認知度

「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されないこと」については、全体では、「くわしく知っている」+「知っている」が59.4%となっている。特に、15歳～17歳では、「くわしく知っている」+「知っている」の割合が52.1%と他の年代に比べて低くなっている。

図表 67 「すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されないこと」の認知度



## (5) 松山市への意見

### ①自分の意見を伝えやすい方法

自分の意見を伝えやすい方法については、いずれの年代も「インターネットのアンケート」が最も高くなっている。その他、15歳～64歳では「SNS（LINE、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）で伝える」も高くなっている。

図表 68 自分の意見を伝えやすい方法〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	市役所の人がするインタビュー	インターネットのアンケート	市役所の人が学校にきてワークショップをする	メール	手紙	インターネット会議などオンライン	SNS（LINE、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）で伝える
全体	2,700	6.3	61.5	16.7	18.8	6.3	7.8	44.1
15歳～17歳	762	6.0	54.1	8.5	19.0	8.8	3.8	39.8
18歳～39歳	768	8.2	65.5	18.5	16.8	5.5	7.4	54.0
40歳～64歳	1,107	5.3	64.2	20.7	20.1	5.1	10.1	41.6
65歳以上	63	4.8	54.0	23.8	17.5	6.3	19.0	19.0

	(n=)	電話や通話アプリ	その他	特にない	わからない	無回答
全体	2,700	8.9	1.2	4.3	9.0	1.0
15歳～17歳	762	7.5	0.3	7.7	12.6	1.6
18歳～39歳	768	6.9	1.6	2.3	6.4	1.0
40歳～64歳	1,107	10.7	1.7	3.3	8.0	0.5
65歳以上	63	15.9	0.0	6.3	12.7	1.6

## ②社会や周囲の人に対する意見

社会や周囲の人に対する意見について、合計1,073件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「1.経済的負担」が307件、「2.結婚、妊娠、出産」が25件、「3.保育」が38件、「4.子育て支援」が58件、「5.教育」が54件、「6.特別な支援を必要とするこども」が37件、「7.子育て当事者の支援」が63件、「8.居場所の充実」が61件、「9.相談の機会」が36件、「10.悩み」が56件、「11.まちづくり」が193件、「12.市役所について」が20件、「13. こども・若者の意見の反映」が13件、「1～13以外の意見」が112件であり、一部意見を抜粋して掲載している。

項目		件数
1.経済的負担	教育費について	100
	物価高騰について	25
	オムツ券について	5
	金銭的支援の充実	82
	減税について	7
	制度の不公平感	76
	その他	12
2.結婚、妊娠、出産	結婚・出産支援	13
	不妊治療の支援	9
	産後ケアの充実	3
3.保育	保育料について	11
	保育所の入所について	6
	保育士について	6
	保育サービスの充実	15
4.子育て支援	サービスの充実	41
	児童クラブについて	17
5.教育	教育環境の改善	50
	PTAの負担軽減	4
6.特別な支援を必要とするこども	不登校への支援	15
	障がい児支援	18
	支援が必要なこどもへの支援	4
7.子育て当事者の支援	家庭と仕事の両立支援	42
	ひとり親の支援	21
8.居場所の充実	こども向け	13
	若者向け	15
	地域の遊び場の充実	33
9.相談の機会	相談窓口、相談機会の充実	34
	身近な相談の場	2
10.悩み	家庭・子育ての悩み	30
	学校生活の悩み・不満	23



項目		件数
	性別についての悩み	3
11.まちづくり	地域コミュニティ	28
	安心して暮らせるまちづくり	40
	安全な環境づくり	28
	将来の希望が持てるまちづくり	29
	企業の誘致、働く場所づくり	3
	松山の魅力向上に向けたアイデア	16
	公共施設等の改善・充実	35
	交通インフラ整備	14
12.市役所について	市役所の利便性の向上	13
	手続きの簡素化・DX化の推進	7
13.こども・若者の意見の反映		13
14.上記1～13以外の意見	情報の周知	39
	大人への教育	1
	男女平等の推進	13
	その他	59
合計		1,073

## 主な意見

### 1.経済的負担

1	とにかくお金がない。2人目の子が欲しいのに経済的に難しい。 子が欲しいけど経済的に諦めなければならない家庭を支援することが少子化対策で一番効果があると思う。
2	こどもたちが安心して過ごせる社会を望みます。その基盤は家庭、家族です。生活のゆとりがなければ子育てはうまくいきません。また、こどもがほしくてもできない方への支援も大切だと思います。子育ては長いです。金銭面で負担になることもあります。短期的ではなく長期的な支援の必要を感じます。必要な人に必要な支援をすることを強く希望します。ばら撒きではなく。
3	少子高齢化が進んでいるのでこどもが産みやすい環境、補助金などを増やして欲しいです。 「こどもを預けたくても保育所に入れない」「産みたくても資金が足りない」ではこれからどんどんこどもは減ってってしまうと思います。国は難しくとも、市が寄り添ってくだされば少しでも変わると思いますのでご協力くだされば助かります。
4	非課税世帯から少し上の収入の世帯への支援拡大。(課税世帯の収入の低い世帯に対して)
5	こども3人欲しいが、将来的の金銭面に不安があり踏み出せない。
6	産休、育休制度をどのような職業にも利用しやすく整えて欲しい。高等教育の学費を無料化、もしくは学費負担を軽減して欲しい。
7	高等教育の完全無償化。 大学やその他の専門学校等の費用負担軽減。
8	松山市のように、高校まで医療費が無料になったのはとてもありがたい。 公立小、中、高校の入学時に支援金などがあると、とても助かると思う。
9	私はもうこどもをこれ以上産むことはありませんが、子育てには本当にお金がかかります。経済的余裕がないと次のこどもを産むかどうか本当に悩むのです。大きくなれば習い事や進学で更にお金がかかります。お金に余裕があれば精神的にも安定します。悩まずこどもを生みたいと思ったはずです。こどもにはお金が理由で何かを諦めてほしくないのです。難しいかもしれませんが、すべての家庭が本当の意味でこどもを育てやすい取り組みを松山市には期待します。ずっと住みたい街なので。
10	子育て支援は年々充実していると感じる。しかし、こどもが小さいうちがメインとなっているため、高校生や大学生になった時に、経済的な負担が多い。経済格差による学力格差を最小限にできるよう支援して欲しい。
11	とにかく子育てにかかる費用負担が大きく、経験させたいことや、体験してほしいこと、旅行などを十分かなえてやれない。
12	全てのこどもが平等に支援を受けれる社会になってほしい。所得制限や、こどもの人数で、支援を受けれる子、受けれない子がいるのはおかしい。
13	一般の若い世代は使えるお金がないので、結婚できませんしこどもも持ってません。

### 2.結婚、妊娠、出産

1	不妊治療の助成を充実させてほしいです。
2	不妊治療に対する補助を増やして欲しい。

3	妊娠中、マタニティマークをつけていても、通勤の電車で座れないことがほとんどだったため、もっとマタニティマークが浸透したらいいなと思いました。 小さい子どもと出かけられる、子どもがさわりだり動き回っても大丈夫なイベントがもっとあれば、子育て世代の息抜きになるのではと思います。
4	産後ケアの助成回数が少なく、使うタイミングに迷う。月1回は使えるよう、12回くらいに増やしてほしい。

### 3.保育

1	もっと子どもが幼稚園、保育所に入りやすい環境を作してほしい。 病気の時にお願ひできるところを増やして欲しい。
2	保育所になかなか入園できないので、入所可能数を増やして欲しい。 児童手当の所得制限をなくしてほしい。
3	①保育所入園の制度が難しい。もう少し簡素化してほしい。 ②子どもの遊ぶ場をもっと増やして欲しい。
4	保育士の給料を上げてほしい。

### 4.子育て支援

1	近くに祖父母等がない為、仕事をしていると、子どもを預けないといけないが、児童クラブの受け入れが昼間15時以降まで就労が必要との制限があり、同じ職場でパートを続ける事が出来なかった。 時間に関係なく預ける事が出来れば、もっと働きやすかったと思う。
2	全ての人に平等に勉強や習い事の機会を与えてほしい。親がフルタイム勤務の場合、子どもを習い事に連れて行くことができず、困っているため、児童クラブで習い事（別料金で可）ができればとても助かる。

### 5.教育

1	地元の大学の学部を増やして欲しい（高度な分野の学部）。企業の誘致をして欲しい（工場系だけでなくデスクワークの企業も）。
2	教育にお金がかからないようにして欲しい。学校が安心できる場所になっていない。教員が圧倒的に不足している。
3	自己肯定感が高くなるような授業や講演会等を開いて欲しいと思います。今の学校教育では特に勉強が出来ない子どもの劣等感が増加しており、自己肯定感がどんどん下がっていると思います。自分は役に立っていると思えるような活動の機会等を与えるのもいいかと思います。
4	若い世代が失敗しながら、様々なことに挑戦、やり直しができる場が少ない。 何度でもやり直せる環境が醸成して欲しい。 答えのある問いばかりを考える教育だけでなく、答えのない問いを考え続けられる力を育てるように、教育のあり方も変わっていく必要がある。 若い世代のために、上の世代が今の時代の現状を学び、同じ目線にたつことが大事だと思う。
5	子どもの権利について、きちんと自分で考えられる教育を行って欲しい。 親の意向を子どもの意思と混同しない事。

## 6.特別な支援を必要とするこども

1	様々な事情で学校の教室に入るのをためらう方のために、学校内に、気軽に登校（別室登校）ができる教室を、できるだけ多くの学校に、速やかにつくってほしいです。とにかく急いで、居場所をつくっていただきたいです。
2	こどもと同じ目線で、障がいのある子もない子にも話をして聞いてほしい。まだまだ差があると思います。
3	障がいがあると健常児のように当たり前前に幼稚園や小学校に行けず全部自分で調べて療育施設やサービスを調べないといけないのもっと障がいの子をもっとどのような進路や選択があるのか分かりやすくみんなが当たり前前に知れる世の中になってほしい。 未だに先の就労については分からないことばかりです。
4	発達障がいを持つが、手帳が持てないこどもの将来、進学、就職、生活全般についての情報やサポートがもっと欲しい。
5	障がいをもつこどもがもっと伸び伸びと遊べる施設があるととても助かる。

## 7.子育て当事者の支援

1	子育て世帯に対する理解を深めてほしい。 仕事の際、フォローしてくれた人への還元があれば、と思う。
2	子育てしやすい環境や子育てに理解のある職場が増えて欲しい。
3	働きながらも、2人目以上のこどもを考えられる社会になっていけば良いと思う。

## 8.居場所の充実

1	学生が長い時間いても大丈夫な場所を増やしてほしい(話しても大丈夫な場所) 自習できる場所を増やしてほしい。
2	こどもが自由に遊べる公園や施設が少ないと感じるので増やしてほしい。
3	こどもが外で遊びやすい環境を作ってほしい。 ボールが使える公園。 スケートボード等が使えるところを増やしてほしい。 放課後、学童以外の第3の居場所を増やしてほしい。
4	ボール遊び禁止の公園が多くて不便なので、ボール遊びができる場所を作って欲しいです。

## 9.相談の機会

1	行政に求めることは、小学生以上になると途端にこどもの事を相談する窓口が学校しかなくなる感覚があるので、学校活動以外で、親だけでこどもの話が出来る場所や、情報交換できる場所や機会を増やして欲しい。自分でまわりに情報収集しなくちゃいけないし、問題が起きないと相談出来ない。 また学校が関与してくれない問題もあり、どこに相談したらいいかを調べてくれるような窓口が欲しい。自分で調べて当たるのは大変だし、敷居が高い。 共働きだと長期休みの預け先や過ごし方が本当に大変。児童クラブ以外の選択肢が欲しい。特に高学年。
2	相談場所が、支所や出張所しかなく、ネット上の仮想空間にバーチャル市役所みたいなものがあれば、

	そこで相談や情報のやりとりをしたい。わざわざ、来所したくない。
3	近所、学校との関わりが希薄な中、気がつくことや意見したい事を伝える機会がなさすぎる。役所や機関が市民に頻繁に聞いて欲しい。伝えるきっかけがないまま時が経つ。アンケートや意見箱、自由入力のをたくさん作って欲しい。

## 10.悩み

1	<p>母親ばかりが子育てして当たり前と思われることが嫌だと感じる。</p> <p>子育てしている母親に対してもっと労いがほしい。仕事をするよりも子育ての方が大変だと感じる事が多々あるのにも関わらず、仕事をしていない母親は尊重されていないと感じる。</p> <p>社会全体で子育てをしている父親、母親をもっと尊重してほしい。わたしはこどもを産んでから初めて子育てがこんなにも大変なのかと感じたが、みんなやっているのだから、やるのは当たり前という風潮があることに腹が立つ。</p> <p>昔と比べて今の子育て政策は十分だという声もあるが、もっと社会全体で子育てを支えてほしい。</p>
2	<p>性別で悩んでいるのですが、否定されたくない。</p> <p>自分が思う「自分」で生きたいです。</p>

## 11.まちづくり

1	子育て世帯に対する温かい目を感じる時もあるが、そうでない時もある。子育ては社会全体ですという意識を自分も含めて持っていたい。
2	自宅の近くが夜になると真っ暗になってしまいます。通学がとても怖いものになっているので、電灯をもっとつけてほしいです。
3	こどもは社会の宝だと思うので、松山市はこどもファーストの市であってほしいです。
4	もう少し、将来の職業についてたくさんの職種を知る機会を増やしていただけたら有難いです。
5	大人やこどもの手を離れた人達が集まれるイベントや活動を増やしてもらえたら嬉しい。
6	近くに買い物する場所がなく将来的に車に乗れなくなった時の交通手段がタクシーしかないので、交通手段の改善をして欲しい。もしくは移動スーパーを拡充して欲しい。
7	こどもが利用する公共の施設などのトイレを、全てきれいにしてほしい。
8	長期休み中、学校の図書館、体育館など、利用時間を長く解放して欲しい
9	近くに体育館やグラウンドなどの色々なスポーツのできる場所を作ってほしい。
10	安心して遊べる無料の施設を作ってほしいです。

## 12.市役所について

1	市役所やサービス内容への問い合わせをするのに、問い合わせたい内容に沿ってコンシェルジュ的に案内や窓口を紹介して取り次いでくれる部門を設定してほしい。
2	市役所などで手続きをするときにこどもの一時預かりやキッズスペースがあると助かります。
3	行政サービスが土日祝日に受けられたら有り難い。
4	こども園に提出する書類などが煩雑で前時代的、DX化を進めてほしい。毎年同じ内容を繰り返し手書きで提出しなければならず苦痛。
5	もっと、教育関係のIT化や必要な範囲で簡素化して欲しい(PTAやこどもの予防接種)。

### 13.子ども・若者の意見の反映

1	大人目線で考えるのではなく子ども側の意見を聞くのが大事かと思う。
2	子どもに対して地域で見守ることができるような社会にするために、子どもの意見を取り入れる社会作りが必要。

### 14.上記1～13以外の意見

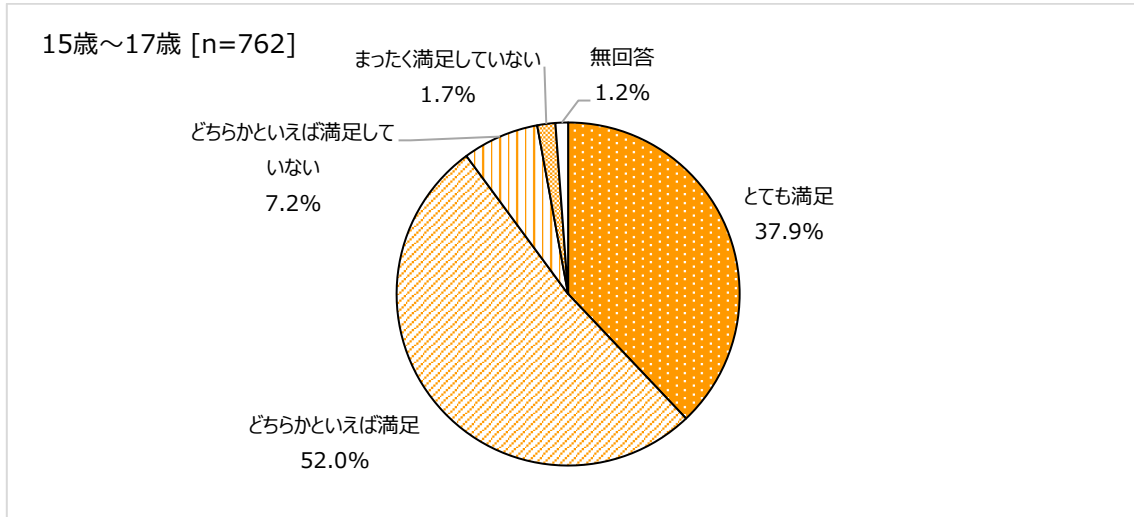
1	男女平等の考えがもっと進み男女ともに社会においても家庭においても選択肢が増えるといいなと思う。早くイクメンという言葉がなくなり、男性が育児をすること、女性が働くことが当たり前になればいいなと思う。
2	若者との会話の機会を増やしてほしい。
3	子どものためと言いつつ、議論の場に当事者である子どもがいないのでは、真に子どもが求めていることを聞いてそれを実現することはできないと思う。もっと子どもが大人との議論に関われる機会を作ってほしいのと、そういう機会があることをSNSや広告等で広く大衆に知らせてほしい。

## (6) 生活状況【17歳以下が回答】

### ①今の暮らしの満足度

今の暮らしの満足度については、「とても満足」+「どちらかといえば満足」が89.9%となっている。

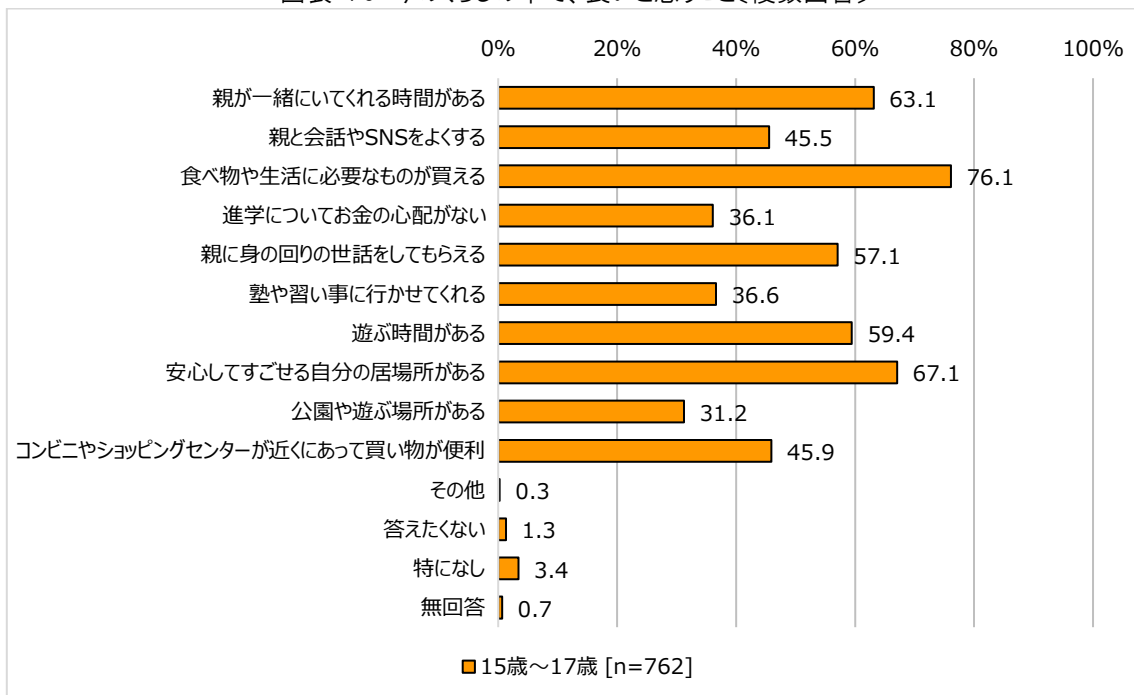
図表 69 今の暮らしの満足度



### ②今の暮らしの中で、良いと思うこと

今の暮らしの中で、良いと思うことについては、「食べ物や生活に必要なものが買える」が76.1%、「安心してすごせる自分の居場所がある」が67.1%、「親と一緒にいてくれる時間がある」が63.1%となっている。

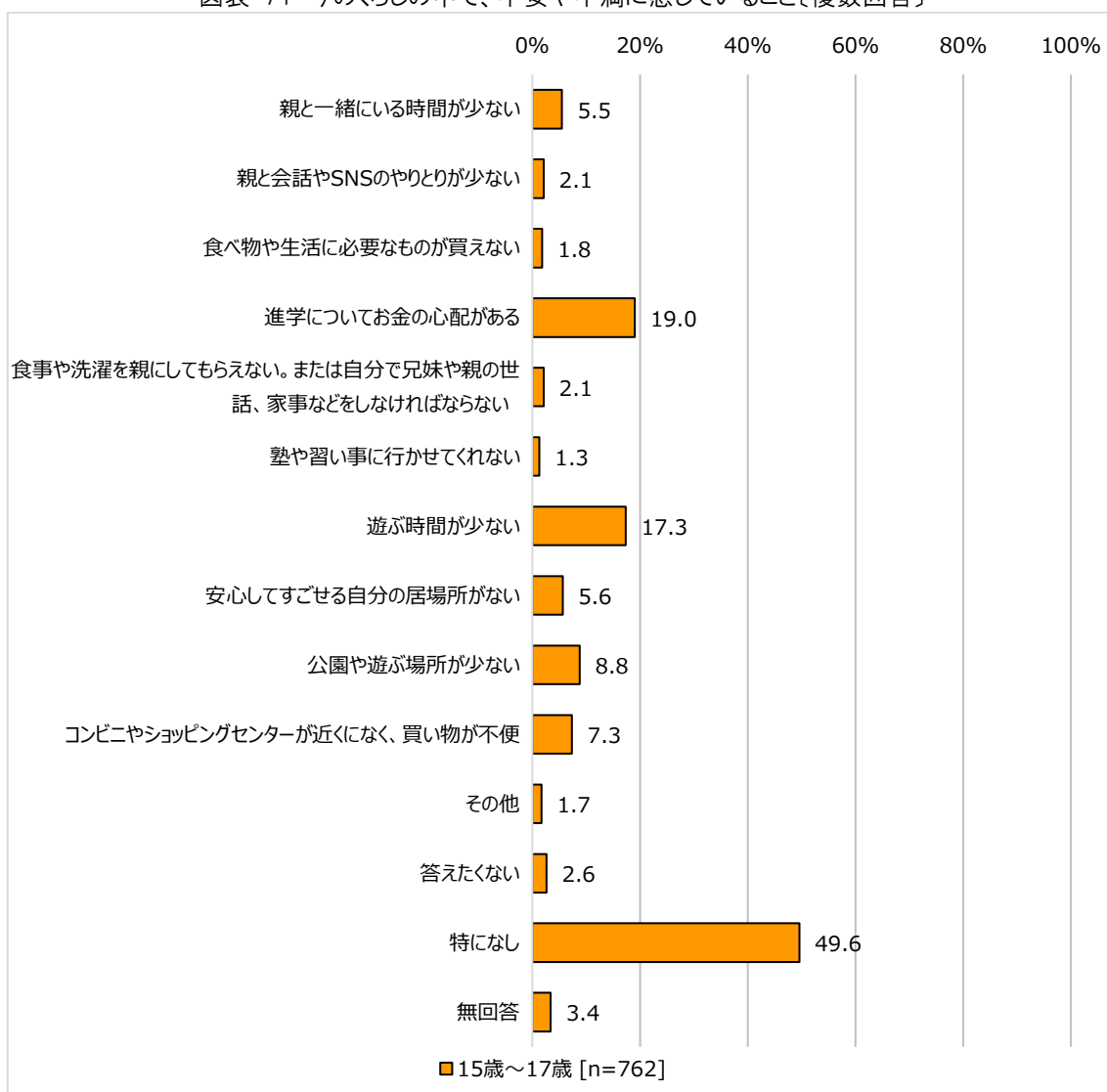
図表 70 今の暮らしの中で、良いと思うこと〔複数回答〕



### ③今の暮らしの中で、不安や不満に感じていること

今の暮らしの中で、不安や不満に感じていることについては、「特になし」が49.6%、「進学についてお金の心配がある」が19.0%、「遊ぶ時間が少ない」が17.3%となっている。

図表 71 今の暮らしの中で、不安や不満に感じていること〔複数回答〕



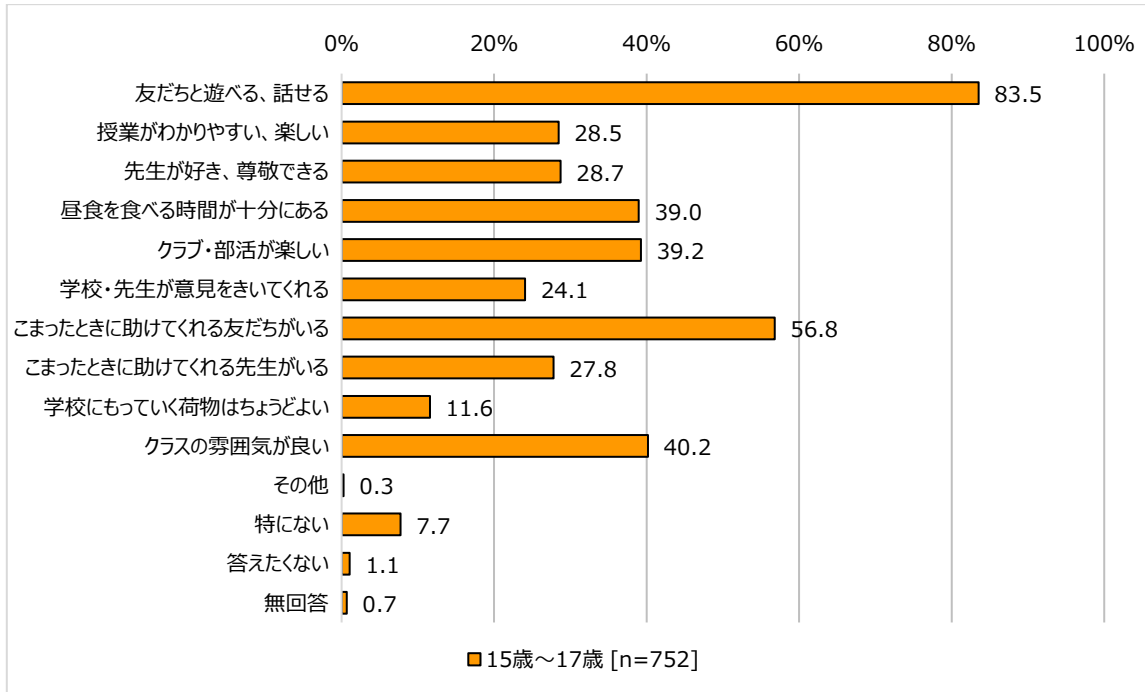


【以下は 17 歳以下の学生が回答】

④学校生活で、良いと思うこと

学校生活で、良いと思うことについては、「友だちと遊べる、話せる」が83.5%、「こまったときに助けてくれる友だちがいる」が56.8%、「クラスの雰囲気が良い」が40.2%となっている。

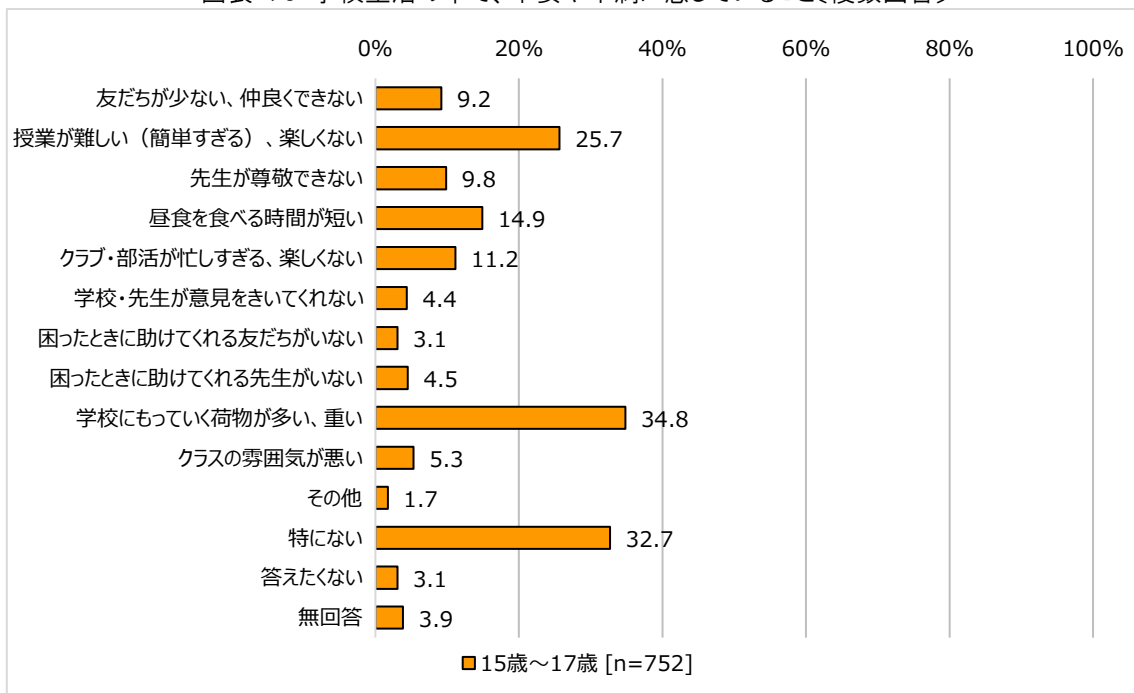
図表 72 学校生活で、良いと思うこと〔複数回答〕



⑤学校生活の中で、不安や不満に感じていること

学校生活の中で、不安や不満に感じていることについては、「学校にもっていく荷物が重い、多い」が34.8%、「特になし」が32.7%、「授業が難しい（簡単すぎる）、楽しくない」が25.7%となっている。

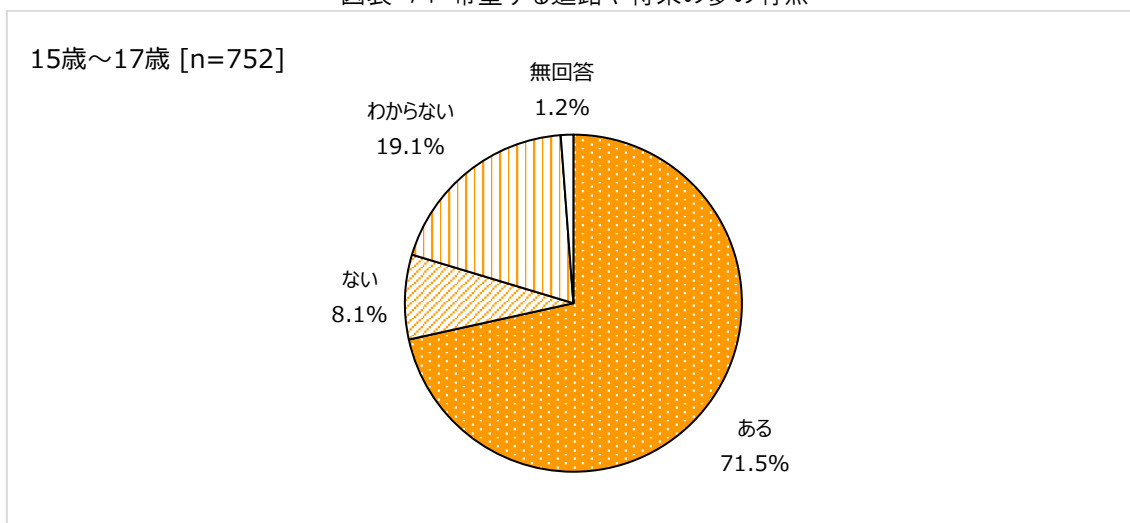
図表 73 学校生活の中で、不安や不満に感じていること〔複数回答〕



## ⑥希望する進路や将来の夢の有無

希望する進路や将来の夢については、「ある」が71.5%、「わからない」が19.1%、「ない」が8.1%となっている。

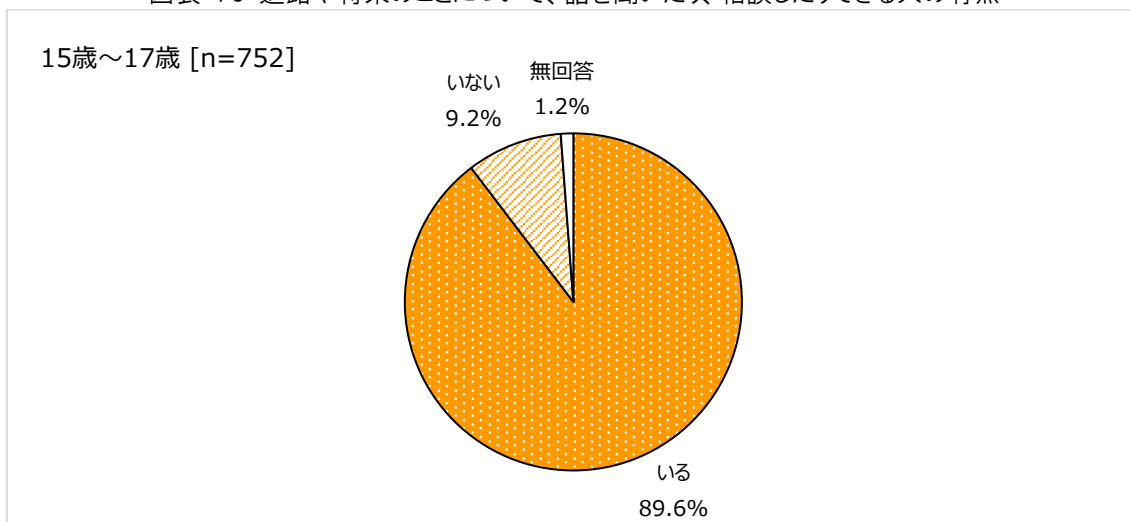
図表 74 希望する進路や将来の夢の有無



## ⑦進路や将来のことについて、話を聞いたり、相談したりできる人の有無

進路や将来のことについて、話を聞いたり、相談したりできる人については、「いる」が89.6%、「いない」が9.2%となっている。

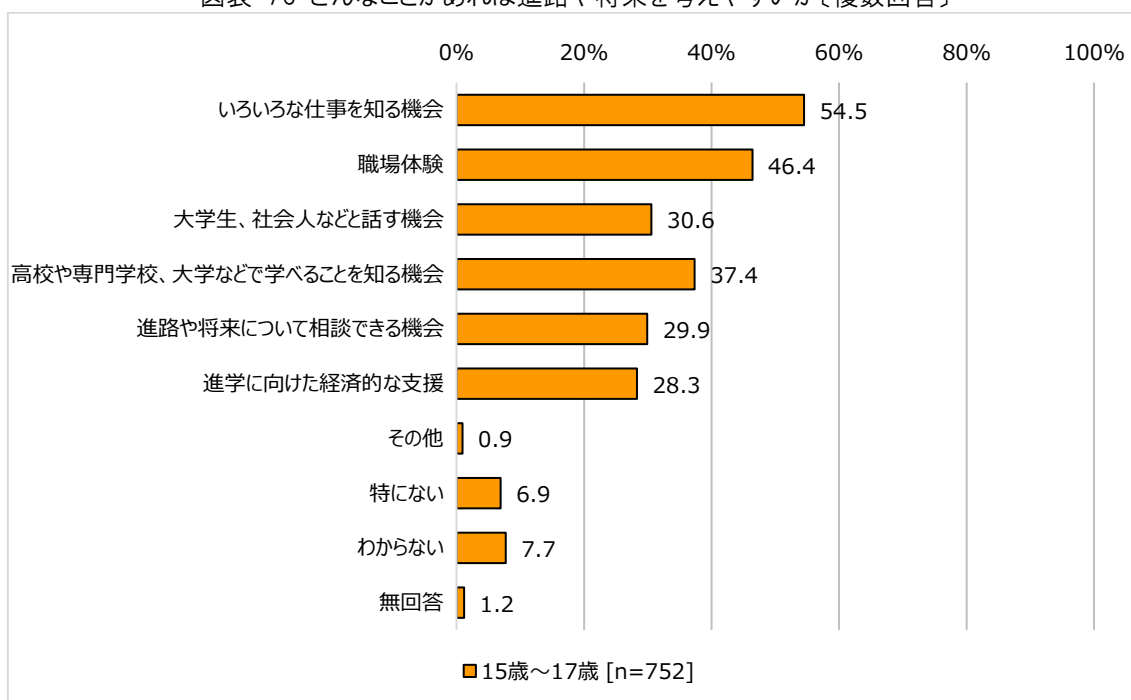
図表 75 進路や将来のことについて、話を聞いたり、相談したりできる人の有無



## ⑧どんなことがあれば進路や将来を考えやすいか

どんなことがあれば進路や将来を考えやすいかについては、「いろいろな仕事を知る機会」が54.5%、「職場体験」が46.4%、「高校や専門学校、大学などで学べることを知る機会」が37.4%となっている。

図表 76 どんなことがあれば進路や将来を考えやすいか〔複数回答〕

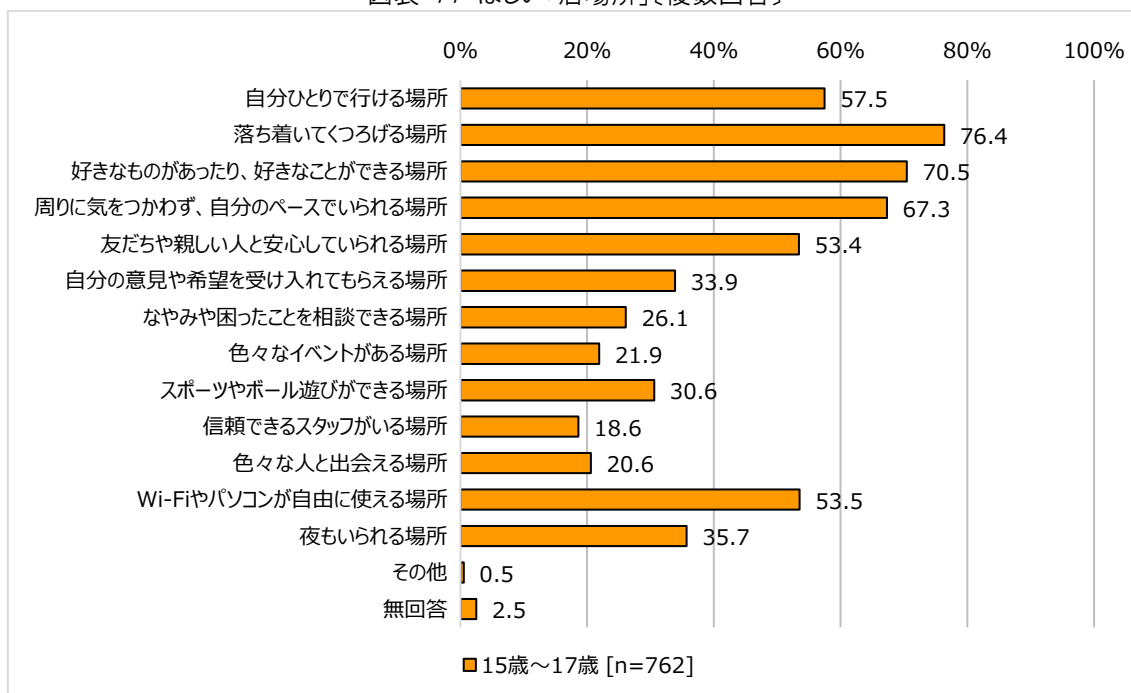


## (7) 居場所について【17歳以下が回答】

### ①ほしい「居場所」

ほしい「居場所」については、「落ち着いてくつろげる場所」が76.4%、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が70.5%、「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が67.3%となっている。

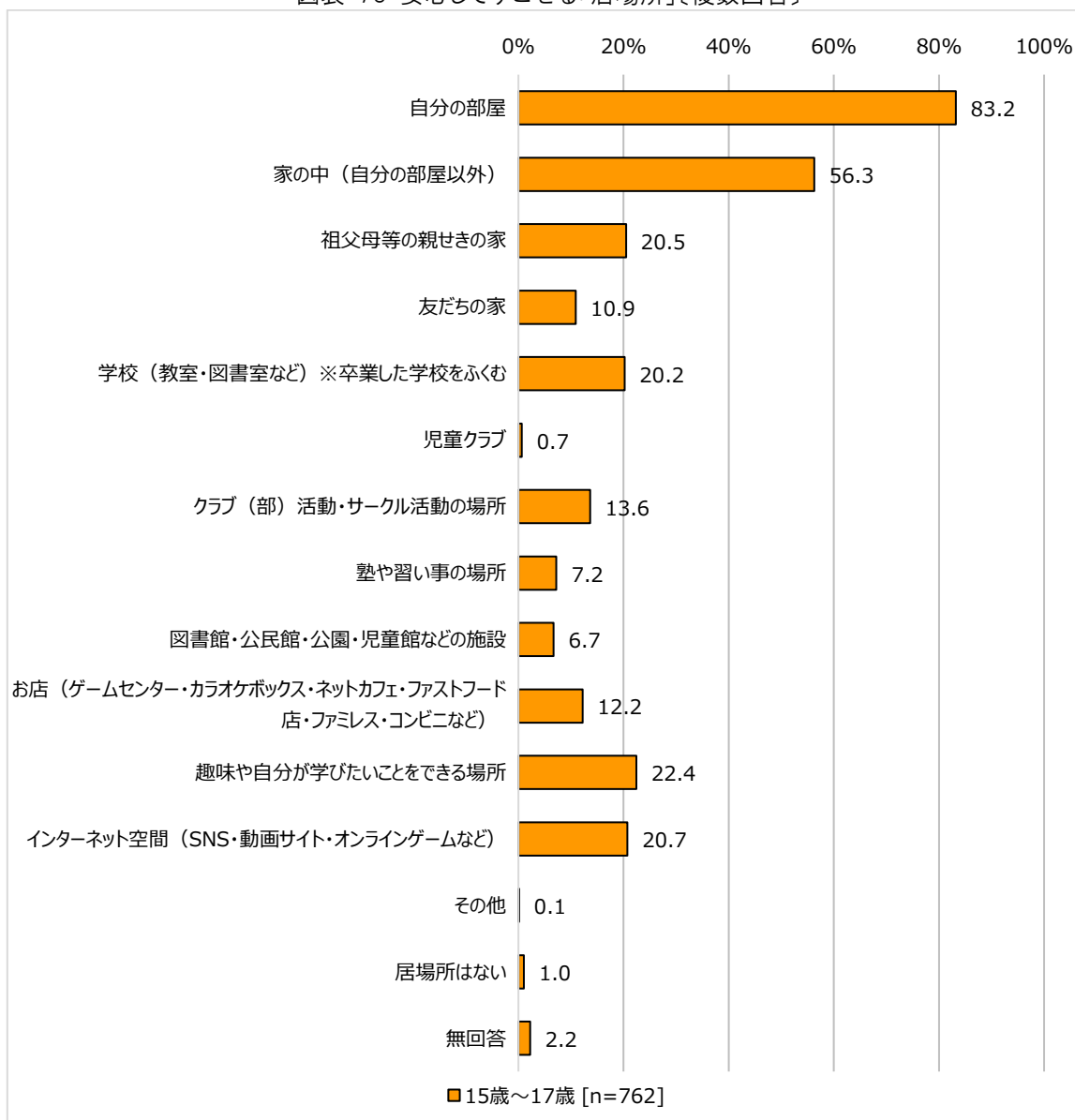
図表 77 ほしい「居場所」〔複数回答〕



## ②安心してすごせる「居場所」

安心してすごせる「居場所」については、「自分の部屋」が83.2%、「家の中（自分の部屋以外）」が56.3%、「趣味や自分が学びたいことをできる場所」が22.4%となっている。

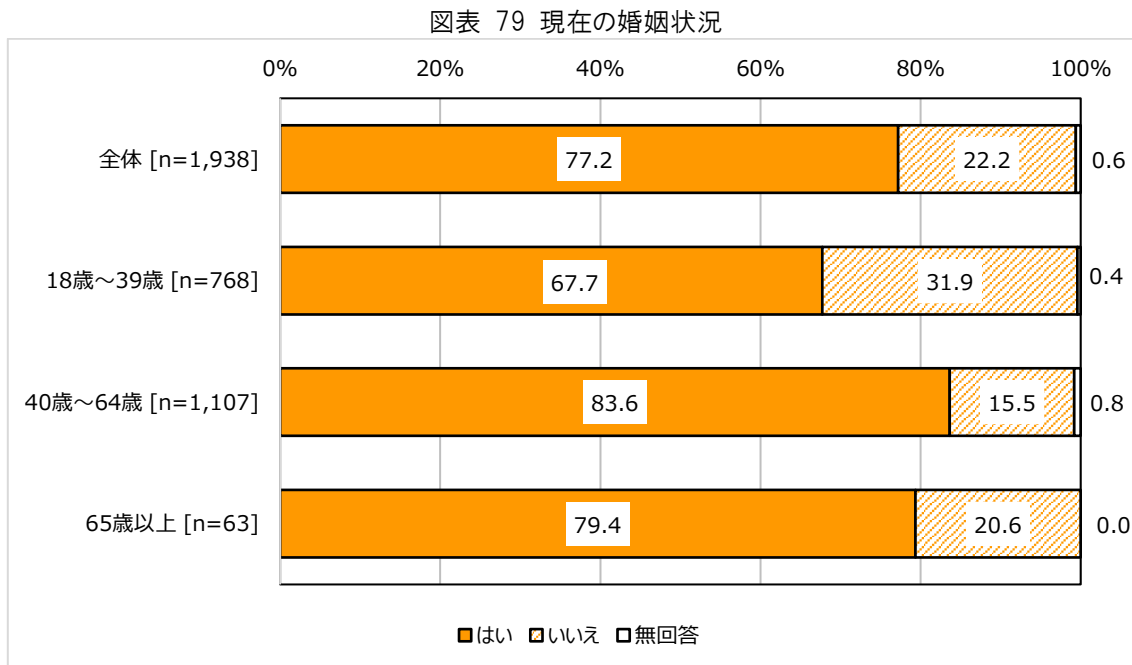
図表 78 安心してすごせる「居場所」〔複数回答〕



## (8) 結婚・出産について【18歳以上が回答】

### ①現在の婚姻状況

現在の婚姻状況については、全体では、「はい（婚姻中）」が77.2%、「いいえ（婚姻中でない）」が22.2%となっている。



## ②知り合ったきっかけ

現在結婚していると回答した人に対して、知り合ったきっかけを聞いたところ、いずれの年代も「職場や仕事の関係」が最も高くなっている。その他、18歳～64歳では「友人や兄弟姉妹の紹介」、65歳以上では「お見合い（親戚・上役などの紹介も含む）」が高くなっている。

図表 80 知り合ったきっかけ

(単位:%)

	(n=)	学校	職場や仕事の関係	アルバイト	イベント	街中や旅先	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと	幼なじみ・隣人関係
全体	1,496	15.4	30.0	3.5	4.4	2.3	4.4	1.1
18歳～39歳	520	18.3	26.3	6.0	3.1	2.3	3.7	1.3
40歳～64歳	926	14.1	31.7	2.3	5.3	2.3	5.0	1.1
65歳以上	50	8.0	36.0	0.0	2.0	4.0	2.0	0.0

	(n=)	友人や兄弟姉妹の紹介	お見合い（親せき・上役などの紹介も含む）	結婚相談所（オンラインを含む）	SNSやマッチングアプリ	その他	無回答
全体	1,496	23.6	5.4	1.5	5.4	2.6	0.3
18歳～39歳	520	21.9	2.7	1.2	10.4	2.5	0.4
40歳～64歳	926	25.1	5.6	1.7	2.9	2.6	0.3
65歳以上	50	14.0	30.0	0.0	0.0	4.0	0.0

### ③結婚して良いと思うこと

現在結婚していると回答した人に対して、結婚して良いと思うことを聞いたところ、いずれの年代も「自分の子どもや家族をもてる」、「精神的な安らぎの場が得られる」が高くなっている。

図表 81 結婚して良いと思うこと〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	経済的に余裕がもてる	社会的信用を得られる	精神的な安らぎの場が得られる	現在愛情を感じている人と暮らせる	自分の子どもや家族をもてる	性的な充足が得られる	生活上便利になる	親から独立できる	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	特にない	その他	無回答
全体	1,496	34.6	24.9	56.1	38.5	79.0	8.5	14.7	14.6	27.7	3.1	0.3	0.3
18歳～39歳	520	32.5	19.8	57.3	48.5	81.9	7.3	12.5	14.2	25.8	1.9	0.0	0.4
40歳～64歳	926	35.5	26.9	55.1	33.0	78.0	9.0	15.7	14.7	28.5	3.7	0.5	0.2
65歳以上	50	38.0	42.0	62.0	36.0	68.0	12.0	20.0	16.0	32.0	4.0	0.0	0.0



#### ④独身生活の良いと感じるところ

現在結婚していないと回答した人に対して、独身生活の良いと感じるところを聞いたところ、いずれの年代も「行動や生き方が自由」が最も高くなっている。

図表 82 独身生活の良いと感じるところ〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	行動や生き方が自由	交際(恋愛)が自由	金銭的に裕福	住宅や環境の選択の幅が広い	家族を養う責任がなく、気楽	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	職業をもち、社会とのつながりが保てる
全体	430	72.8	30.7	28.4	17.0	30.0	24.0	18.6
18歳～39歳	245	75.1	38.0	34.3	23.3	36.7	33.5	17.1
40歳～64歳	172	69.2	21.5	20.3	8.7	16.9	9.3	21.5
65歳以上	13	76.9	15.4	23.1	7.7	76.9	38.5	7.7

	(n=)	現在の家族とのつながりが保てる	特にない	その他	無回答
全体	430	23.0	14.4	1.4	0.5
18歳～39歳	245	23.7	9.8	1.6	0.4
40歳～64歳	172	22.1	21.5	1.2	0.6
65歳以上	13	23.1	7.7	0.0	0.0

## ⑤独身でいる理由

現在結婚していないと回答した人に対して、独身でいる理由を聞いたところ、いずれの年代も「適当な相手にめぐり合わないから」が最も高くなっている。

図表 83 独身でいる理由〔複数回答〕

(単位:%)

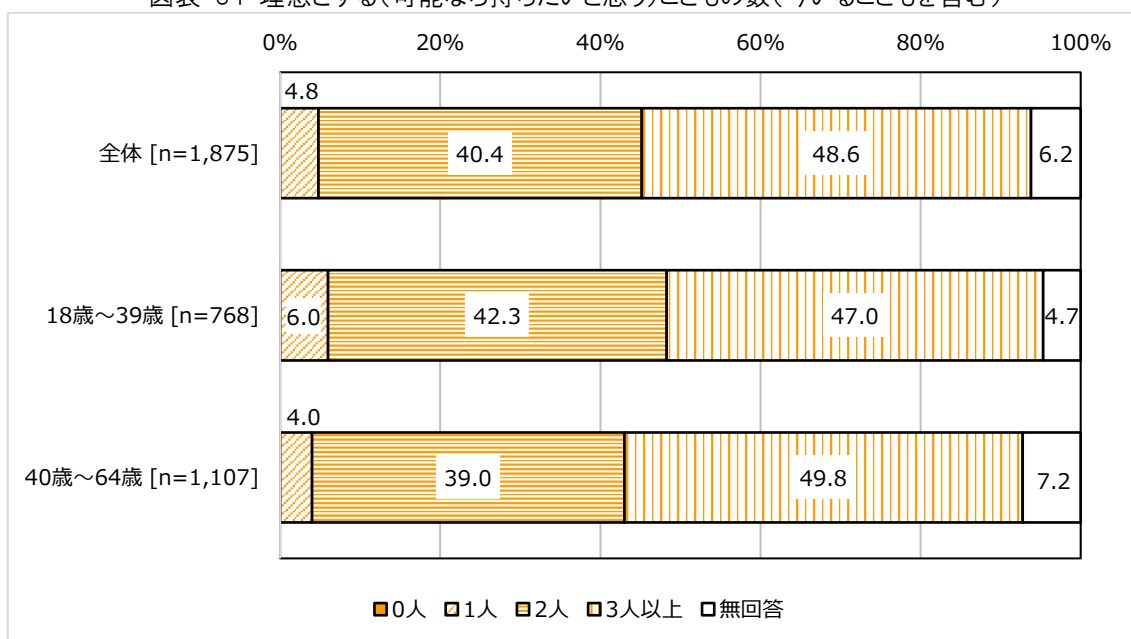
	(n=)	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は仕事(または学業)に打ちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にめぐり合わないから	異性とうまく付き合えないから
全体	430	16.7	19.8	10.5	14.2	19.5	39.1	12.8
18歳～39歳	245	29.4	21.6	17.1	21.6	16.7	38.4	15.9
40歳～64歳	172	0.0	17.4	1.2	4.7	24.4	40.1	9.3
65歳以上	13	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	38.5	0.0

	(n=)	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	もともと結婚するつもりがないから	その他	すでに結婚が決まっている	無回答
全体	430	10.2	4.7	4.2	12.1	15.1	4.0	1.2
18歳～39歳	245	14.7	6.9	4.5	10.6	8.6	6.1	0.4
40歳～64歳	172	4.1	1.2	4.1	14.5	23.3	1.2	2.3
65歳以上	13	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0

## ⑥理想とする（可能なら持ちたいと思う）こどもの数（今いる子どもを含む）

18歳～64歳までに、理想とする（可能なら持ちたいと思う）こどもの数（今いる子どもを含む）を聞いたところ、全体で「3人以上」が48.6%、「2人」が40.4%となっている。

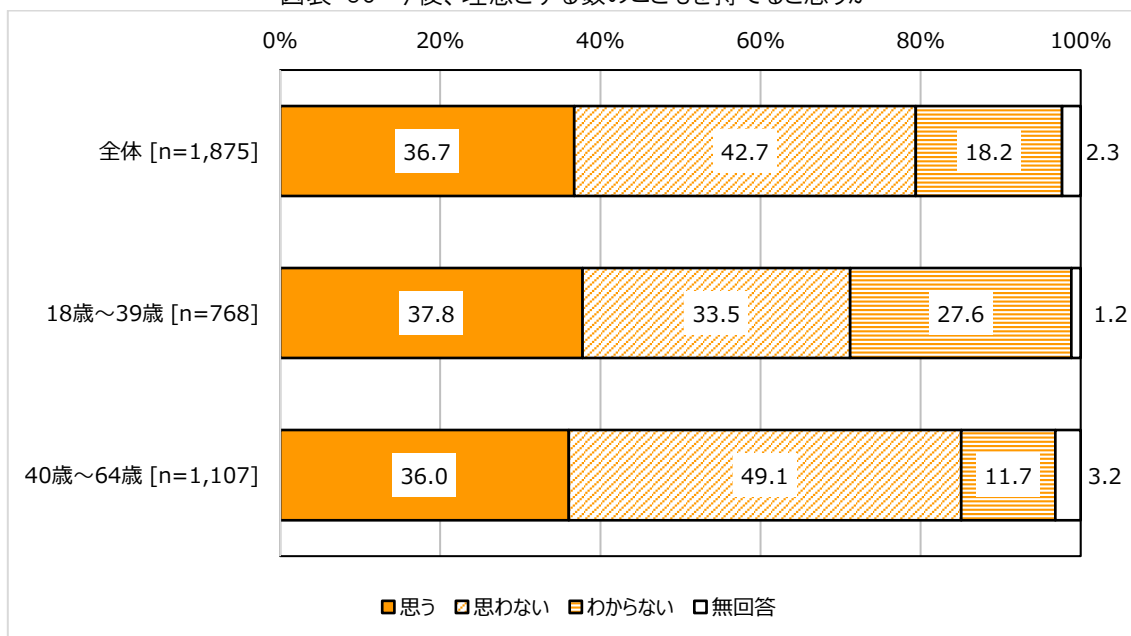
図表 84 理想とする(可能なら持ちたいと思う)こどもの数(今いる子どもを含む)



## ⑦今後、理想とする数の子どもを持てると思うか

18歳～64歳までに、今後、理想とする数の子どもを持てると思うかを聞いたところ、全体で「思わない」が42.7%、「思う」が36.7%、「わからない」が18.2%となっている。

図表 85 今後、理想とする数の子どもを持てると思うか



## ⑧理想とする数のこどもを持つてそうにないと思う理由

理想とする数のこどもを持つてると思わない、わからないと回答した人に対して、そのように思う理由を聞いたところ、18歳～39歳では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が44.6%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」が32.8%となっている。40歳～64歳では「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が64.0%と最も高く、次いで「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が38.9%となっている。

図表 86 理想とする数のこどもを持つてそうにないと思う理由〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	家が狭いから	仕事と子育ての両立が難しいから	こどもがのびのび育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	年齢的に妊娠・出産が難しいから	育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から
全体	1,142	41.2	9.7	26.1	7.7	5.1	44.7	14.9	8.6
18歳～39歳	469	44.6	11.5	32.8	9.6	6.0	16.8	17.9	6.2
40歳～64歳	673	38.9	8.5	21.4	6.4	4.5	64.0	12.8	10.3

	(n=)	夫婦で協力して家事・育児を行うことが難しいから	配偶者がこどもを望まないから	夫婦仲が良くないから	ほしいけれどもできないから	こども園や幼稚園、保育所や子育て支援サービスが十分でないから	不妊治療等に対する助成が十分でないから	その他	無回答
全体	1,142	10.3	3.6	3.3	5.8	8.1	4.5	3.6	30.5
18歳～39歳	469	10.2	4.3	2.3	4.5	12.8	5.1	3.0	45.2
40歳～64歳	673	10.4	3.1	4.0	6.7	4.9	4.0	4.0	20.2

### ⑨子育てにかかる費用の中で、負担を感じている（または負担になるだろうと思う）費用

子育てにかかる費用の中で、負担を感じている（または負担になるだろうと思う）費用は、全体で「大学にかかる費用（入学料、授業料、仕送りなど）」が74.8%、「学校以外の教育費（塾、通信教材など）」が59.6%、「小・中・高校にかかる費用（授業料、学用品費など）」が55.5%となっている。

図表 87 子育てにかかる費用の中で、負担を感じている（または負担になるだろうと思う）費用〔複数回答〕

（単位：％）

	(n=)	食費や衣料費などの生活費	医療費	保育所・こども園、幼稚園にかかる費用	小・中・高校にかかる費用（授業料、学用品費など）	大学にかかる費用（入学料、授業料、仕送りなど）	学校以外の教育費（塾、通信教材など）	娯楽費（趣味、レジャー、習い事などにかかる費用）
全体	1,938	50.6	16.2	31.6	55.5	74.8	59.6	35.5
18歳～39歳	768	65.6	16.9	51.8	62.1	72.8	60.3	45.1
40歳～64歳	1,107	41.1	15.5	17.9	51.9	76.7	60.1	30.2
65歳以上	63	33.3	17.5	25.4	38.1	66.7	44.4	12.7

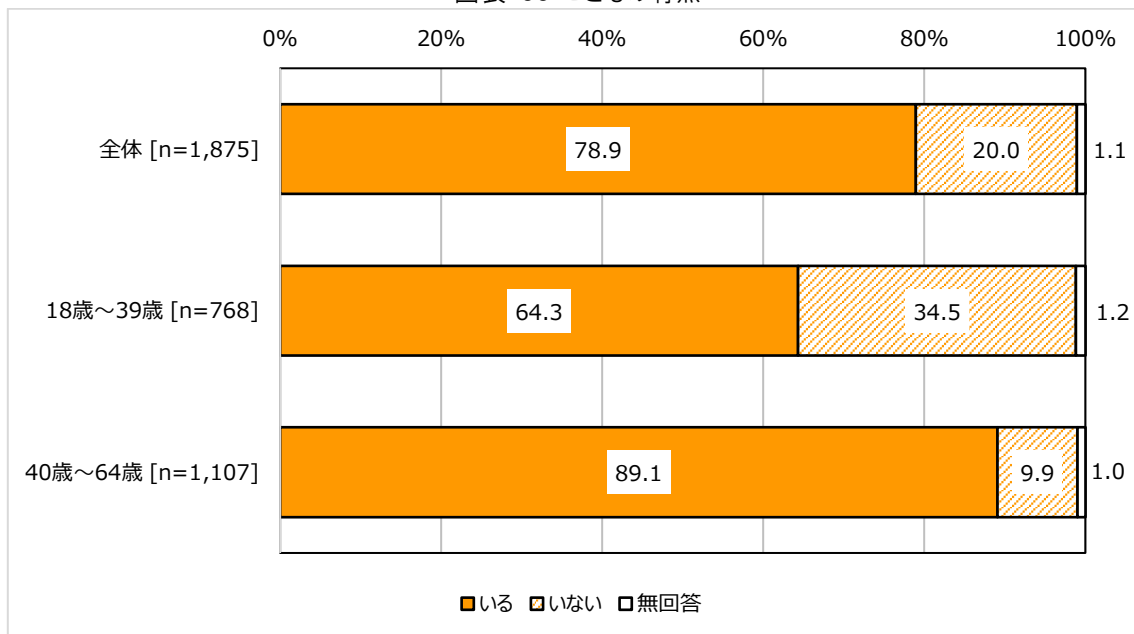
	(n=)	交通費（定期代などの通学費、移動にかかる費用）	通信費（携帯電話料金など）	その他	負担を感じる（負担になるだろうと思う）費用は特にない	無回答
全体	1,938	21.1	30.1	1.4	2.8	1.6
18歳～39歳	768	24.6	31.0	1.2	2.1	0.8
40歳～64歳	1,107	19.4	30.5	1.4	3.2	1.7
65歳以上	63	7.9	12.7	4.8	4.8	9.5

## (9) 子育てについて【18歳～64歳以下が回答】

### ① こどもの有無

子どもについては、全体では、「いる」が78.9%、「いない」が20.0%となっている。

図表 88 こどもの有無

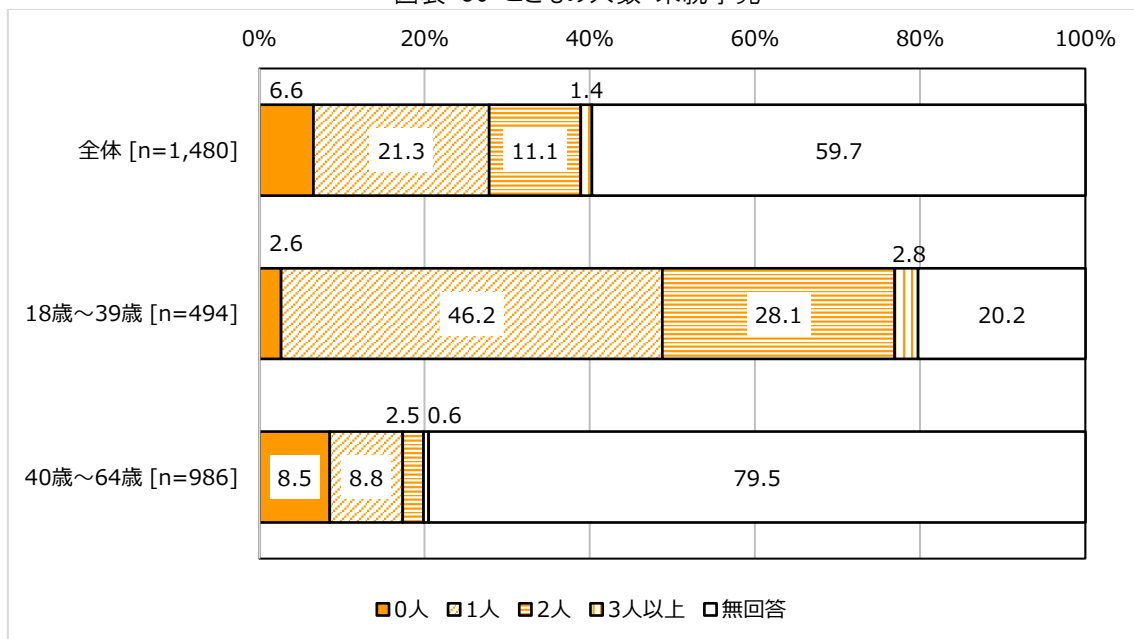


【以下はこどもがいると回答した人のみが回答】

### ② こどもの人数：未就学児

こどもがいると回答した人に対して、未就学児の人数を聞いたところ、全体で「1人」が21.3%、「2人」が11.1%となっている。

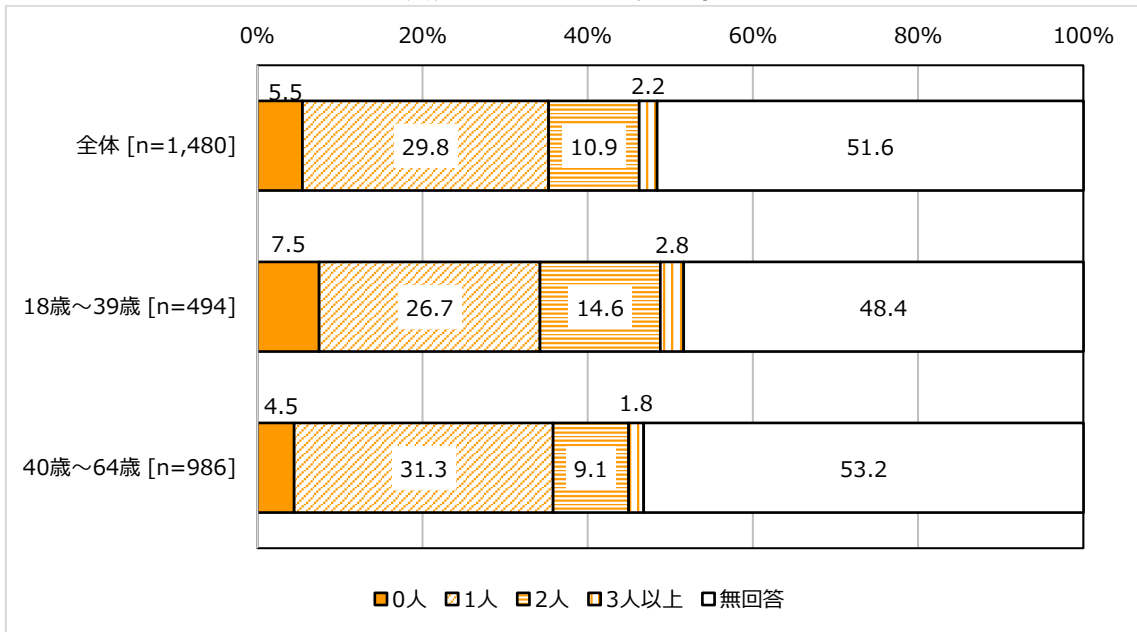
図表 89 こどもの人数：未就学児



### ③こどもの人数：小学生

こどもがいると回答した人に対して、小学生の人数を聞いたところ、全体で「1人」が29.8%、「2人」が10.9%となっている。

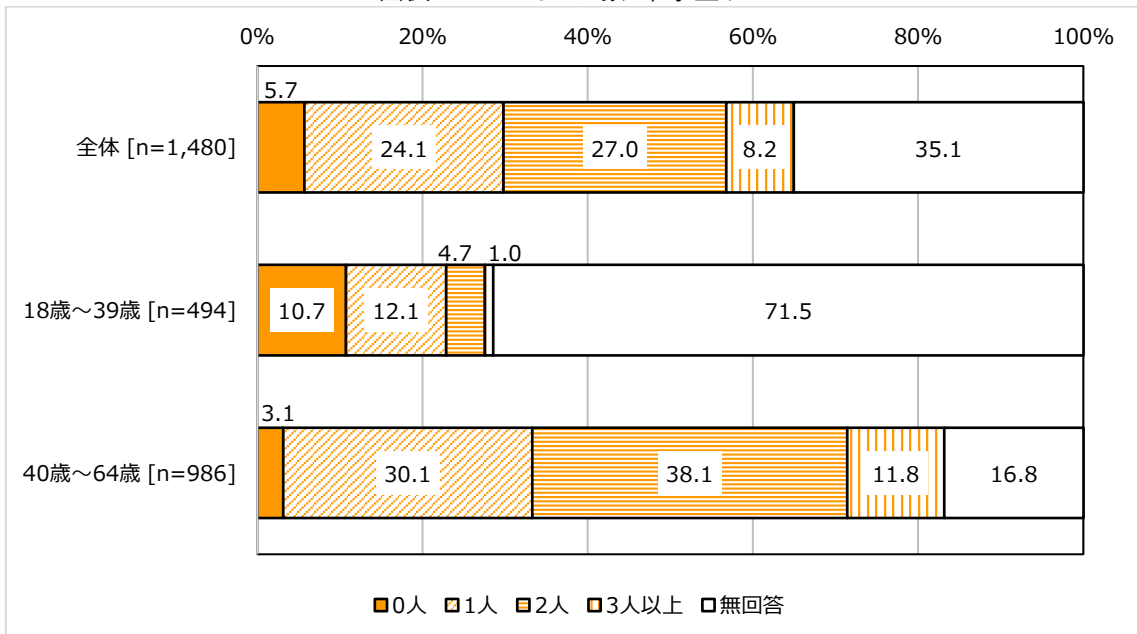
図表 90 こどもの人数：小学生



### ④こどもの人数：中学生以上

こどもがいると回答した人に対して、中学生以上の人数を聞いたところ、全体で「2人」が27.0%、「1人」が24.1%となっている。

図表 91 こどもの人数：中学生以上



## ⑤子育ての情報源

子育ての情報源については、全体で「インターネット」が63.8%、「友だち」が49.5%、「市のHPや広報誌」が43.2%となっている。いずれの年代でも「インターネット」が高くなっている。また、18歳～39歳では「SNS」が高くなっている。

図表 92 子育ての情報源〔複数回答〕

(単位：%)

	(n=)	市のHPや広報誌	インターネット	SNS	子育て関係の雑誌	友だち	子どもの友だちの保護者	親
全体	1,480	43.2	63.8	42.2	19.0	49.5	36.1	25.6
18歳～39歳	494	37.2	66.2	65.6	16.8	54.0	27.3	29.1
40歳～64歳	986	46.1	62.6	30.4	20.1	47.3	40.6	23.8

	(n=)	きょうだい	保健師	小児科・産婦人科	その他	無回答
全体	1,480	17.9	4.7	16.1	3.4	0.8
18歳～39歳	494	17.4	6.3	22.1	3.6	0.4
40歳～64歳	986	18.2	3.9	13.2	3.3	1.0



## ⑥子育てに関してほしい情報

子育てに関してほしい情報については、全体では、「進学・進路情報」が56.7%、「発達・健康のこと」が41.6%、「勉強の教え方」が36.3%となっている。

図表 93 子育てに関してほしい情報〔複数回答〕

(単位:%)

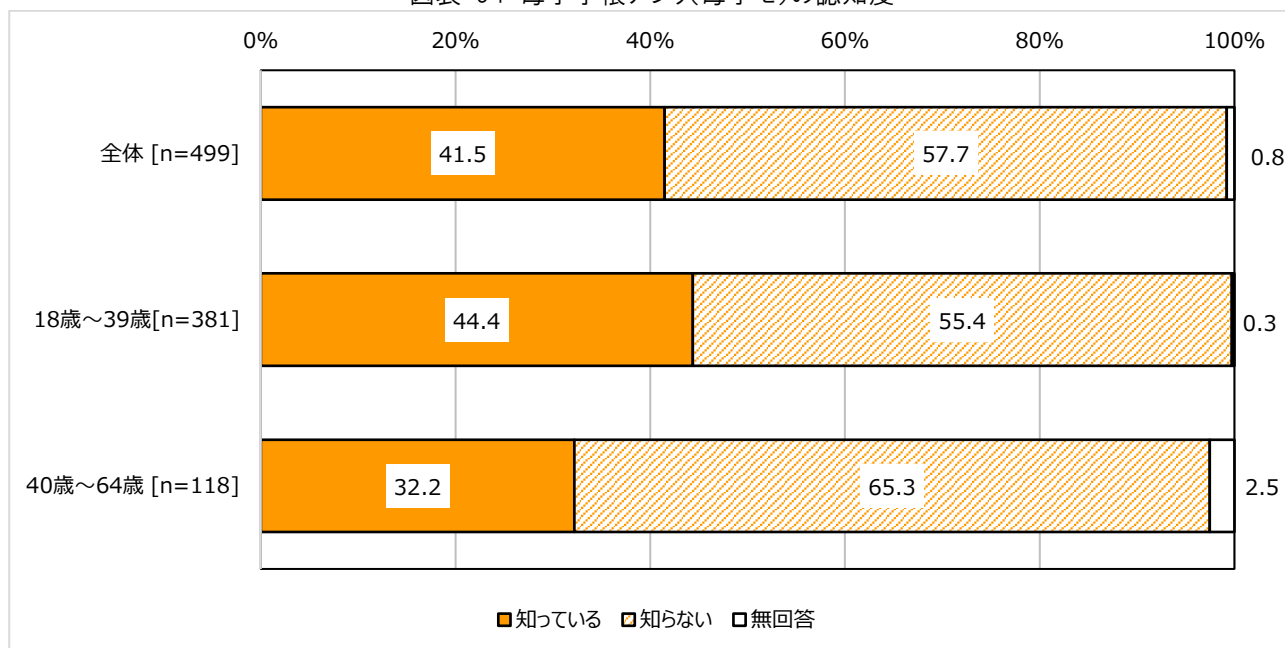
	(n=)	離乳食・子どもの食事	発達・健康のこと	寝かしつけ	声かけの方法	遊び方	遊び場	子育てサークル
全体	1,480	16.3	41.6	9.8	24.3	17.2	33.6	12.1
18歳～39歳	494	23.7	53.2	13.8	30.8	29.1	52.0	16.0
40歳～64歳	986	12.6	35.8	7.8	21.1	11.2	24.3	10.1

	(n=)	勉強の教え方	子ども園や幼稚園、保育所や子育て支援サービスの情報	相談先	イベント	進学・進路情報	習いごと	その他	無回答
全体	1,480	36.3	23.0	16.0	34.3	56.7	34.7	3.0	2.2
18歳～39歳	494	41.3	33.4	11.7	42.3	44.5	38.9	1.8	1.8
40歳～64歳	986	33.8	17.8	18.2	30.2	62.8	32.6	3.7	2.3

## ⑦母子手帳アプリ（母子モ）の認知度

未就学児がいると回答した人に対して、母子手帳アプリ（母子モ）について聞いたところ、全体では「知らない」が57.7%、「知っている」が41.5%となっている。

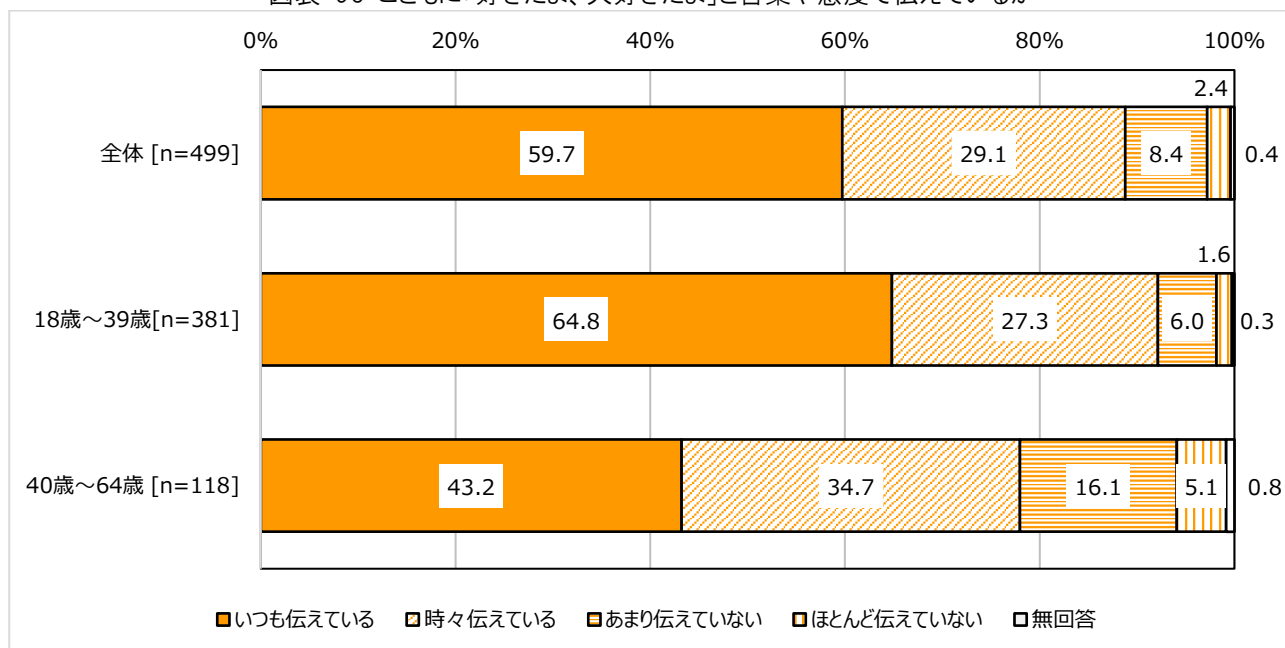
図表 94 母子手帳アプリ(母子モ)の認知度



## ⑧こどもに「好きだよ、大好きだよ」と言葉や態度で伝えているか

未就学児がいると回答した人に対して、こどもに「好きだよ、大好きだよ」と言葉や態度で伝えているかを聞いたところ、全体では「いつも伝えている」が59.7%、「時々伝えている」が29.1%、「あまり伝えていない」が8.4%となっている。

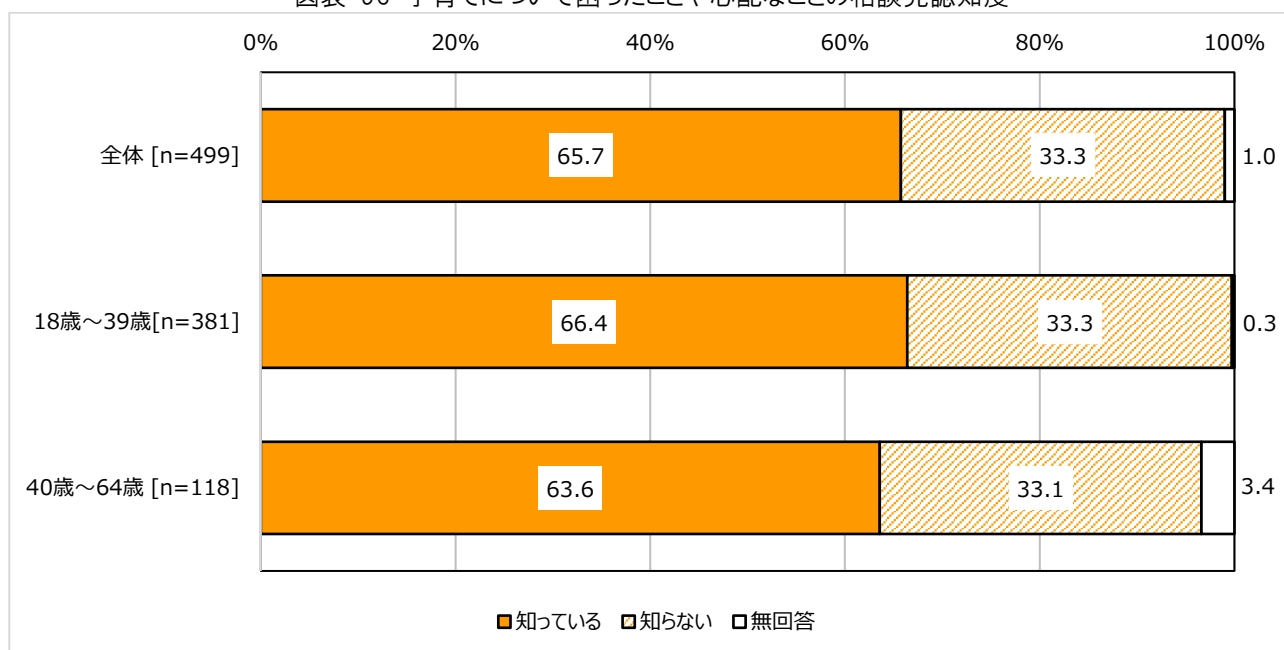
図表 95 こどもに「好きだよ、大好きだよ」と言葉や態度で伝えているか



## ⑨子育てについて困ったことや心配なことの相談先認知度

未就学児がいると回答した人に対して、子育てについて困ったことや心配なことの相談先について聞いたところ、全体では「知っている」が65.7%、「知らない」が33.3%となっている。

図表 96 子育てについて困ったことや心配なことの相談先認知度



## (10) こどもの生活状況について【小学生以下のこどもがいる方のみが回答】

### ①最も家計を圧迫している費用

最も家計を圧迫している費用については、全体では、「食費」が30.0%、「教育費」が22.4%、「住宅費」が18.2%となっている。

図表 97 最も家計を圧迫している費用

(単位:%)

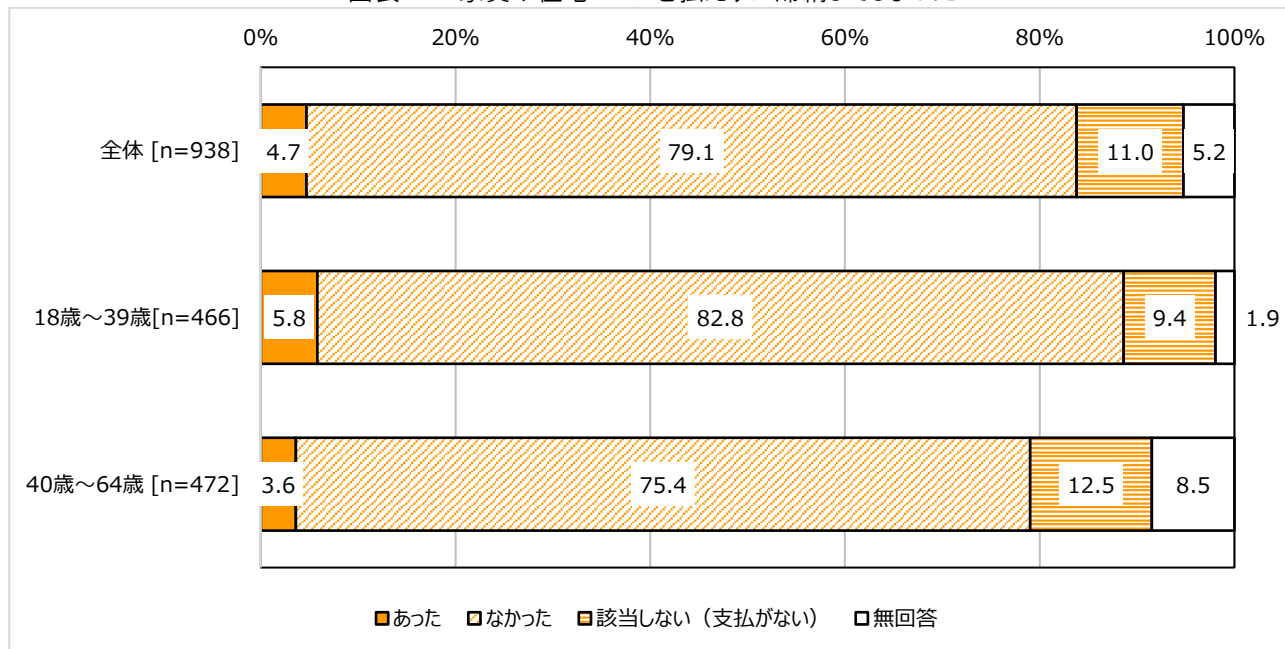
	(n=)	食費	住宅費	光熱水費	被服費	教育費	医療費	その他	特にない	無回答
全体	938	30.0	18.2	11.1	2.1	22.4	0.4	2.7	8.0	5.1
18歳~39歳	466	34.8	23.6	12.7	2.4	14.8	0.2	3.0	6.9	1.7
40歳~64歳	472	25.2	12.9	9.5	1.9	29.9	0.6	2.3	9.1	8.5

## ②過去1年間の経験について

### (ア)家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった

過去1年間の経験として、「家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった」経験のある人は全体で4.7%となっている。

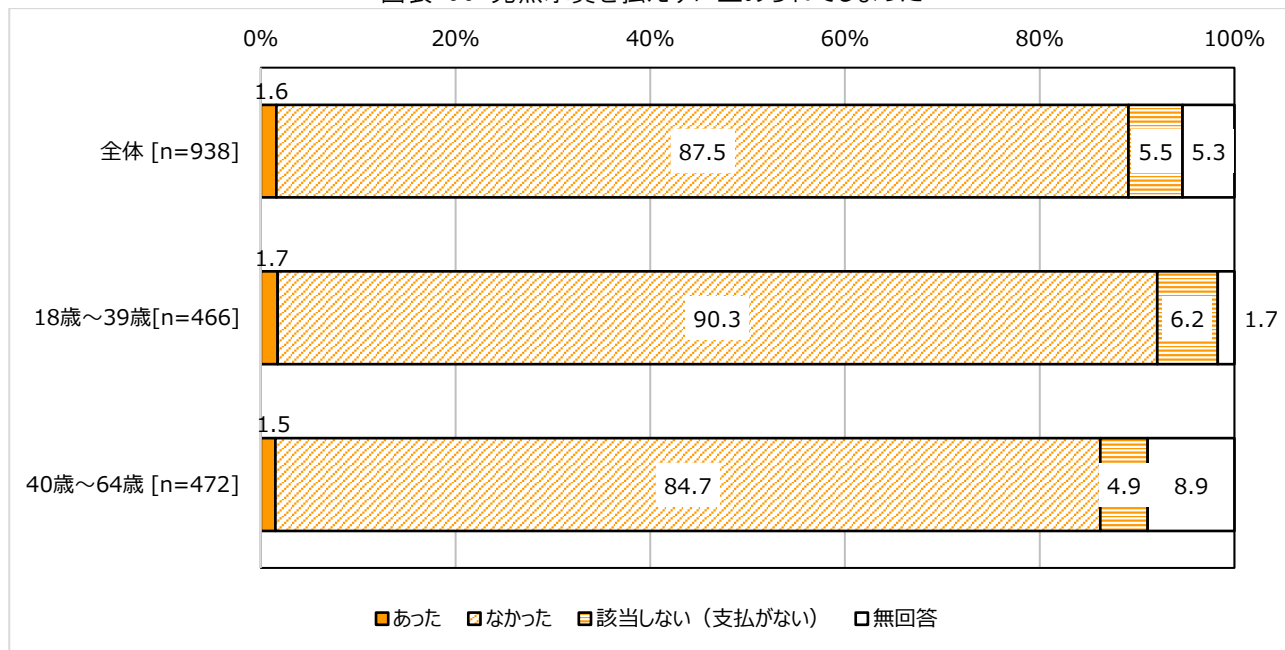
図表 98 家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった



### (イ)光熱水費を払えずに止められてしまった

過去1年間の経験として、「光熱水費を払えずに止められてしまった」経験のある人は全体で1.6%となっている。

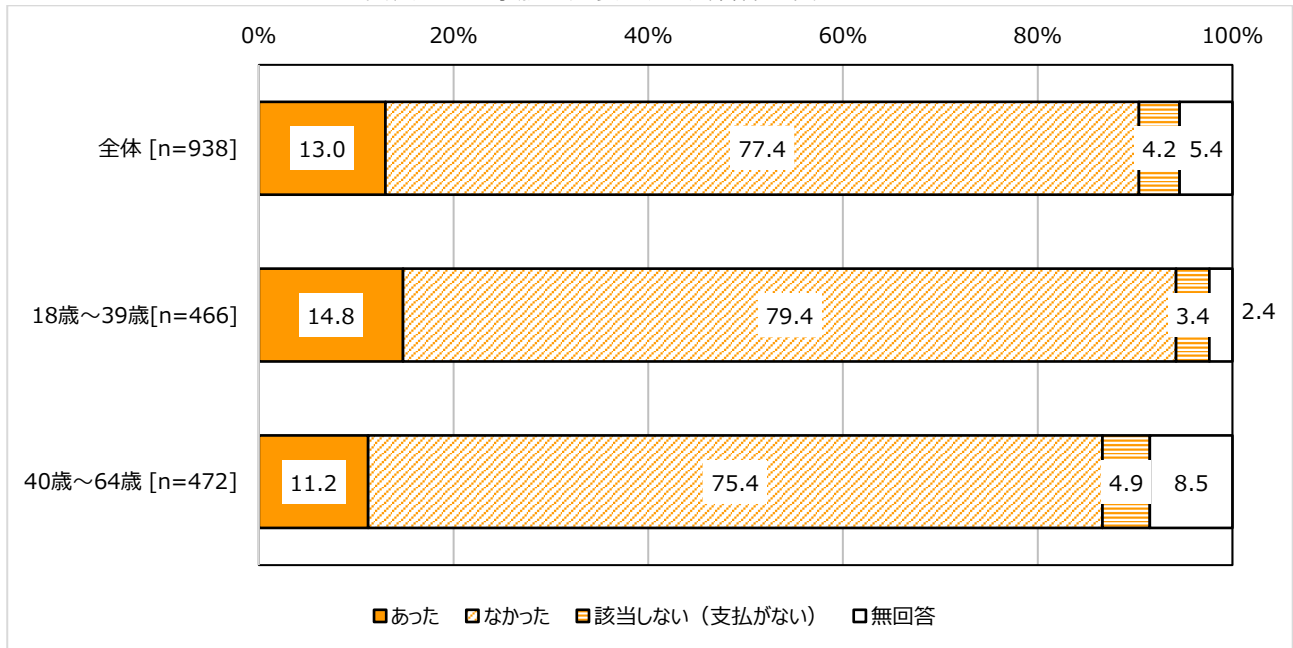
図表 99 光熱水費を払えずに止められてしまった



(ウ)家族が必要とする食料品が買えなかった

過去1年間の経験として、「家族が必要とする食料品が買えなかった」経験のある人は全体で13.0%となっている。

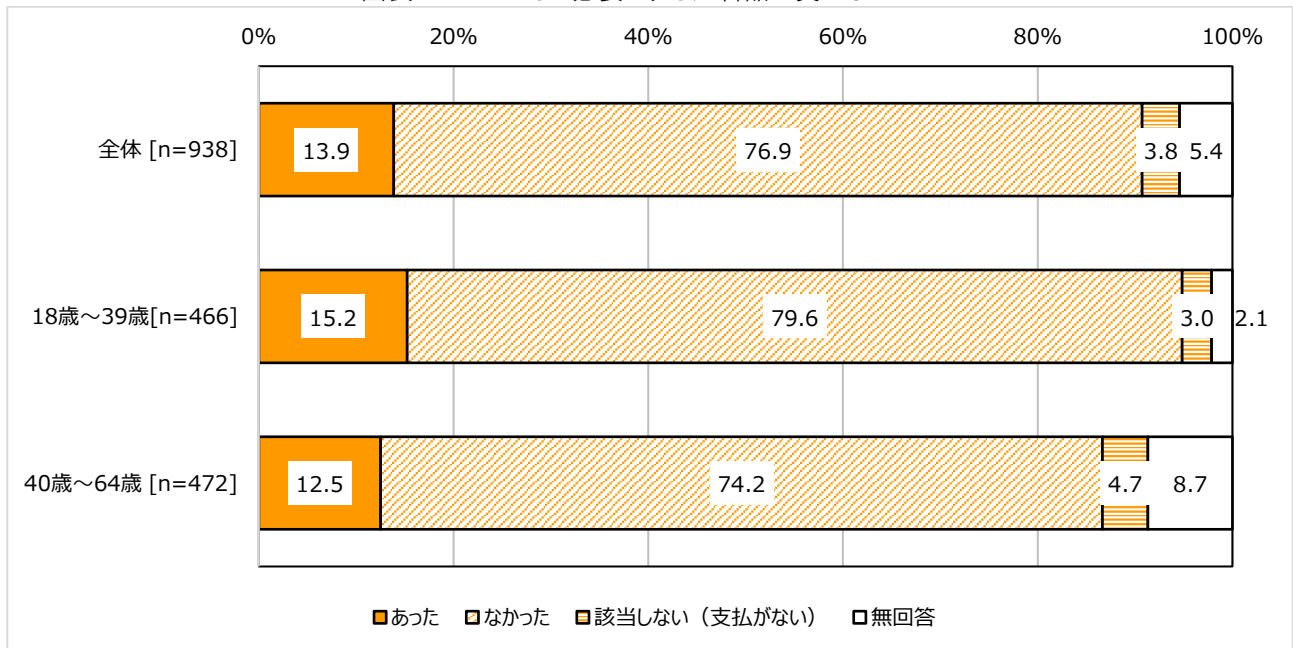
図表 100 家族が必要とする食料品が買えなかった



(エ)子どもが必要とする衣料品が買えなかった

過去1年間の経験として、「子どもが必要とする衣料品が買えなかった」経験のある人は全体で13.9%となっている。

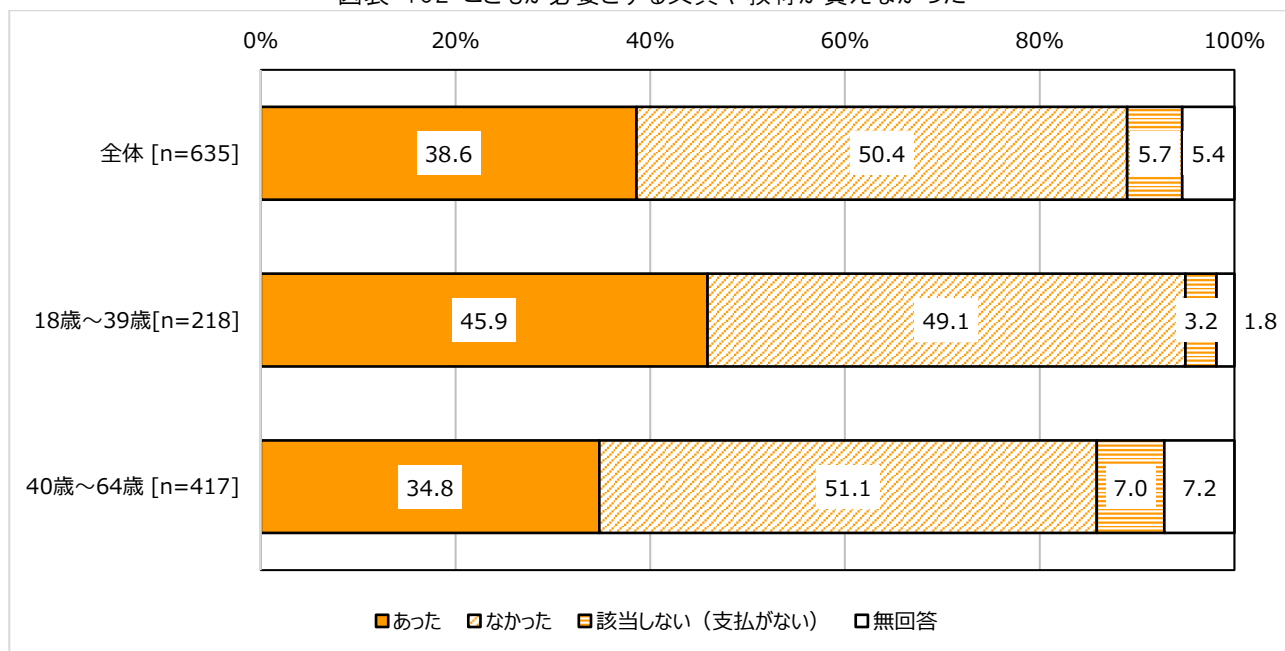
図表 101 子どもが必要とする衣料品が買えなかった



(オ)子どもが必要とする文具や教材が買えなかった

小学生がいると回答した人に対して、過去1年間の経験として、「子どもが必要とする文具や教材が買えなかった」経験を聞いたところ、経験のある人は全体で38.6%となっている。

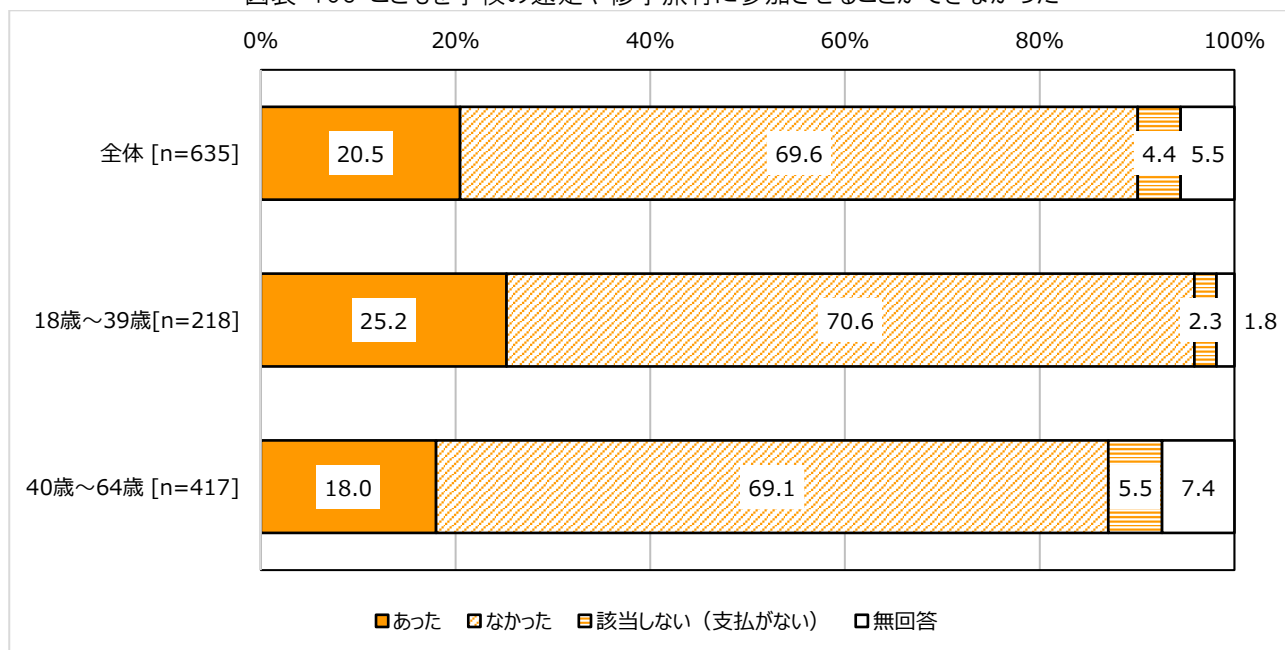
図表 102 子どもが必要とする文具や教材が買えなかった



(カ)子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった

小学生がいると回答した人に対して、過去1年間の経験として、「子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった」経験を聞いたところ、経験のある人は全体で20.5%となっている。

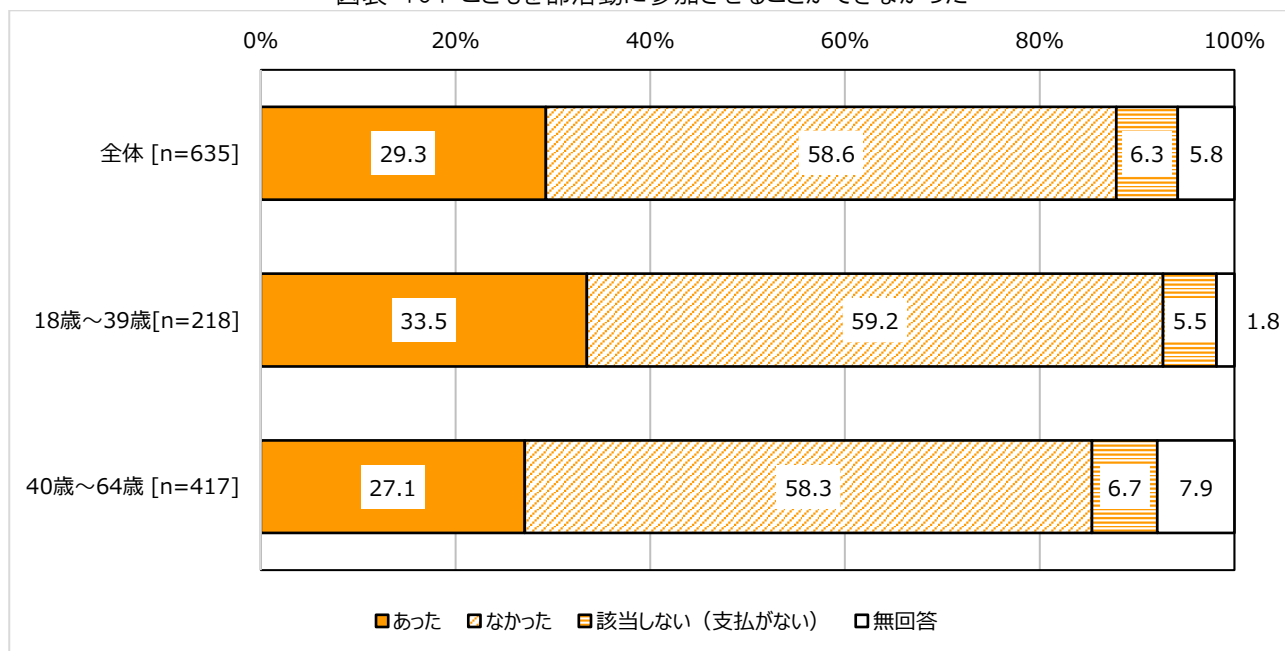
図表 103 子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった



(キ)子どもを部活動に参加させることができなかった

小学生がいると回答した人に対して、過去1年間の経験として、「子どもを部活動に参加させることができなかった」経験を聞いたところ、経験のある人は全体で29.3%となっている。

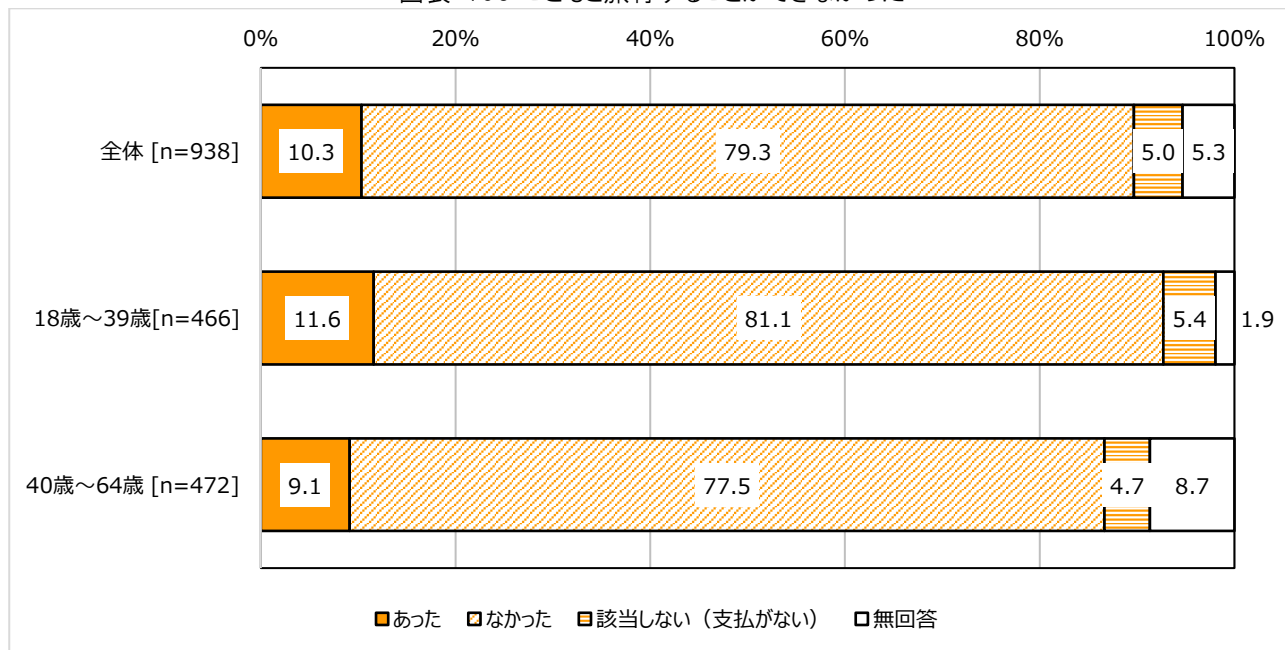
図表 104 子どもを部活動に参加させることができなかった



(ク)子どもと旅行することができなかった

過去1年間の経験として、「子どもと旅行することができなかった」経験のある人は全体で10.3%となっている。

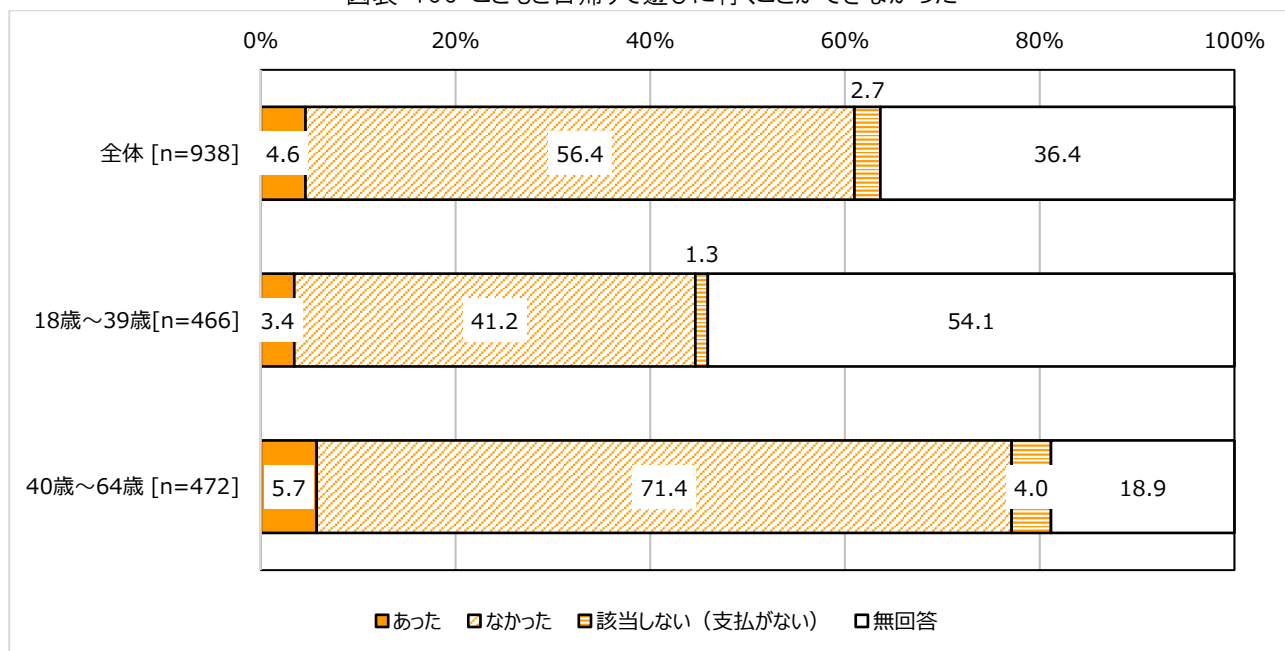
図表 105 子どもと旅行することができなかった



(ケ)子どもと日帰りで遊びに行くことができなかった

過去1年間の経験として、「子どもと日帰りで遊びに行くことができなかった」経験のある人は全体で4.6%となっている。

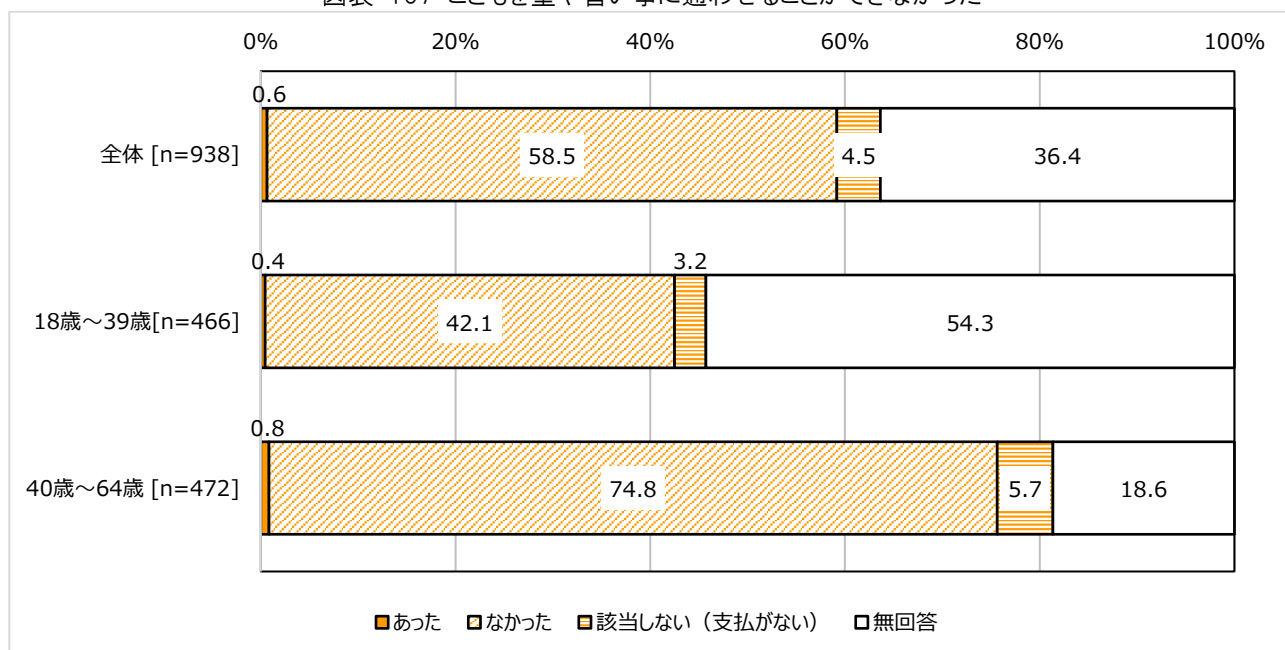
図表 106 子どもと日帰りで遊びに行くことができなかった



(コ)子どもを塾や習い事に通わせることができなかった

過去1年間の経験として、「子どもを塾や習い事に通わせることができなかった」経験のある人は全体で0.6%となっている

図表 107 子どもを塾や習い事に通わせることができなかった

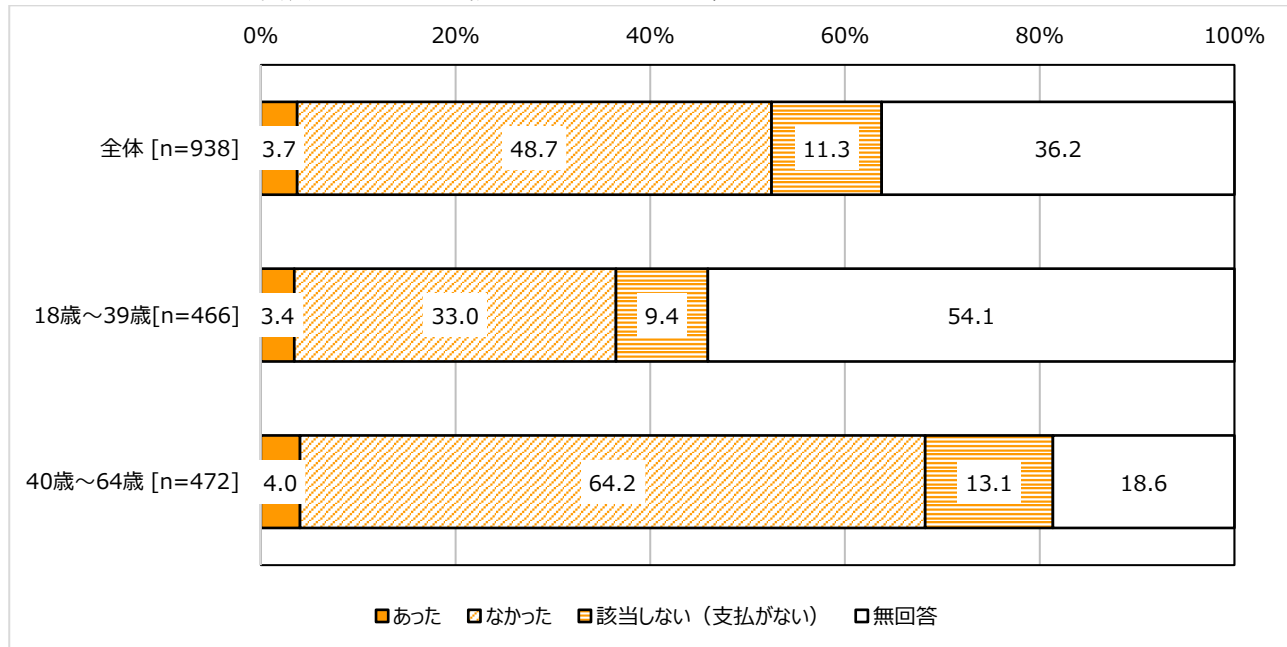




(サ)こどもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった

過去1年間の経験として、「こどもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった」経験のある人は全体で3.7%となっている

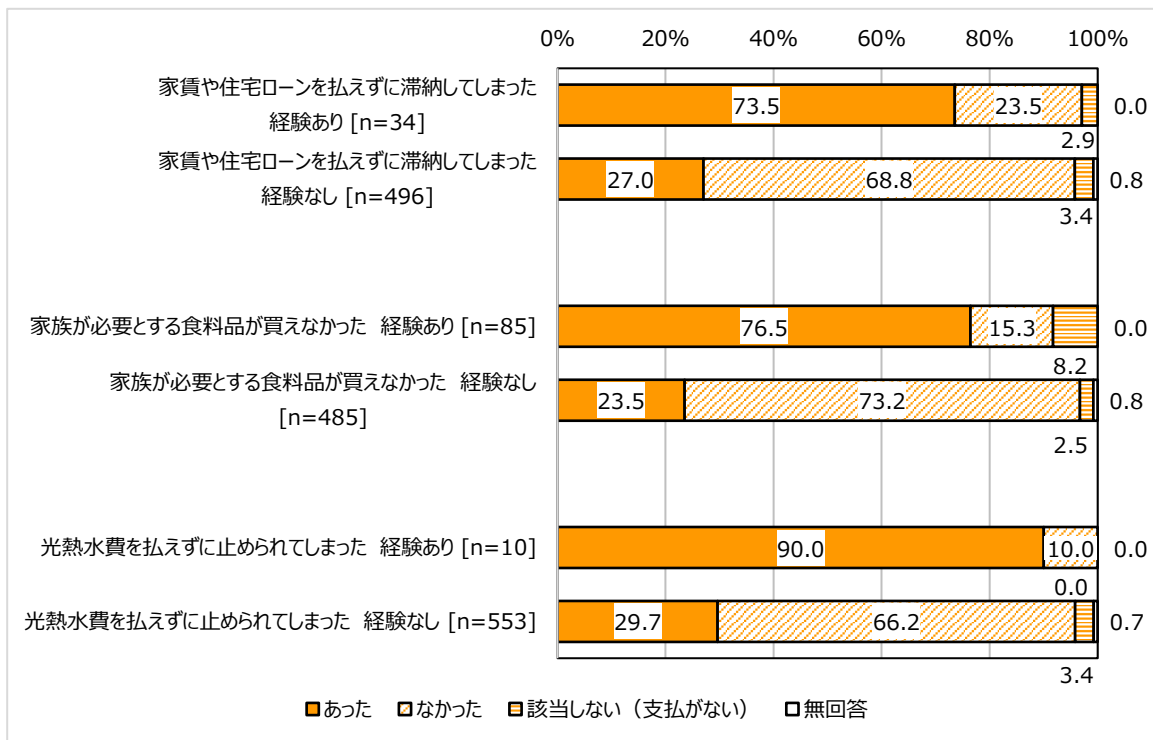
図表 108 こどもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった



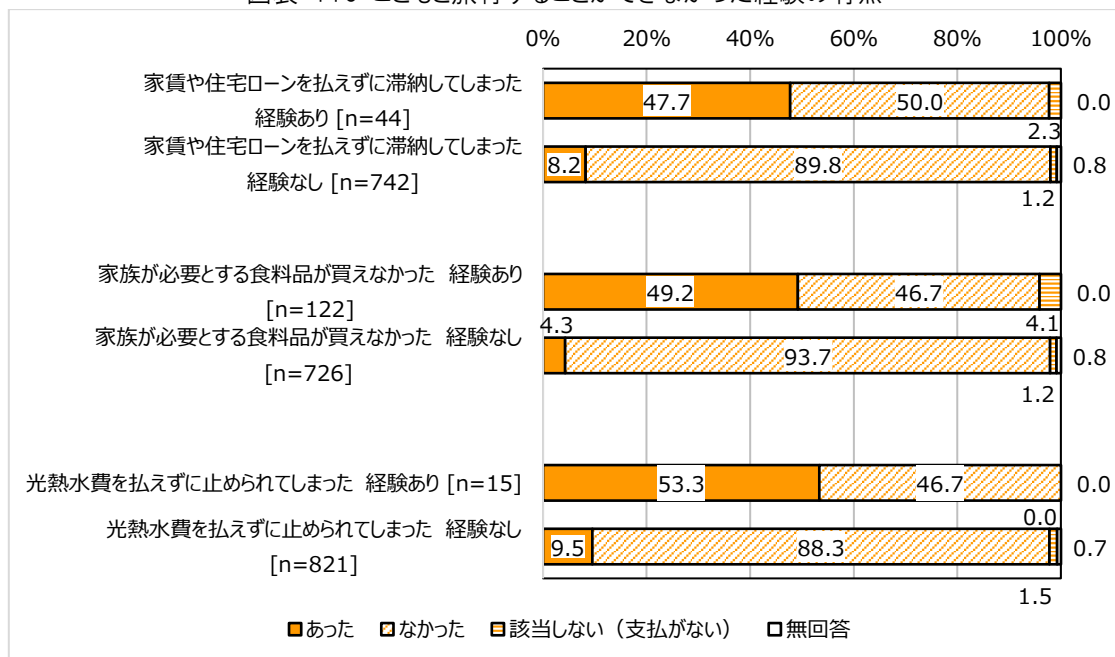
「こどもを部活動に参加させることができなかった」経験について、「家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった」、「家族が必要とする食料品が買えなかった」、「光熱水費を払えずに止められてしまった」、という経験ありの方が、「あった」割合が高くなっている。

また、「こどもと旅行することができなかった」経験についても、「家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった」、「家族が必要とする食料品が買えなかった」、「光熱水費を払えずに止められてしまった」、という経験ありの方が、「あった」割合が高くなっている。

図表 109 こどもを部活動に参加させることができなかった経験の有無



図表 110 こどもと旅行することができなかった経験の有無



### ③こどもは週にどのくらい朝食を食べているか

こどもは週にどのくらい朝食を食べているかについては、全体では、「毎日またはほとんど毎日（週6~7日）」が89.2%、「週に4~5日」が2.8%となっている。

図表 111 こどもは週にどのくらい朝食を食べているか

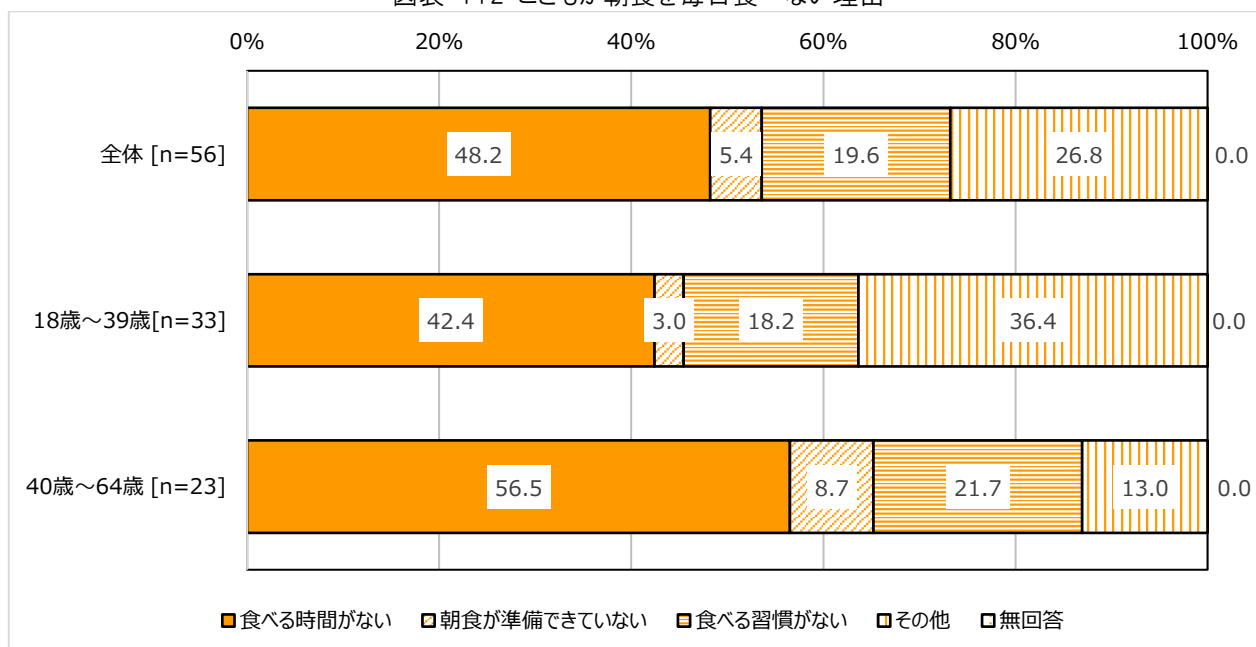
(単位:%)

	(n=)	(週6~7日) 毎日またはほとんど毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	食べない	わからない	無回答
全体	938	89.2	2.8	0.7	0.5	1.2	0.7	4.8
18歳~39歳	466	91.6	3.4	0.6	0.4	1.1	1.5	1.3
40歳~64歳	472	86.9	2.1	0.8	0.6	1.3	0.0	8.3

### ④こどもが朝食を毎日食べない理由

こどもが毎日またはほとんど毎日（週6~7日）食べると回答した人以外に対して、こどもが朝食を毎日食べない理由を聞いたところ、全体では、「食べる時間がない」が48.2%、「その他」が26.8%、「食べる習慣がない」が19.6%となっている。その他としては、乳児でまだ離乳食だから、という回答が多く見られた。

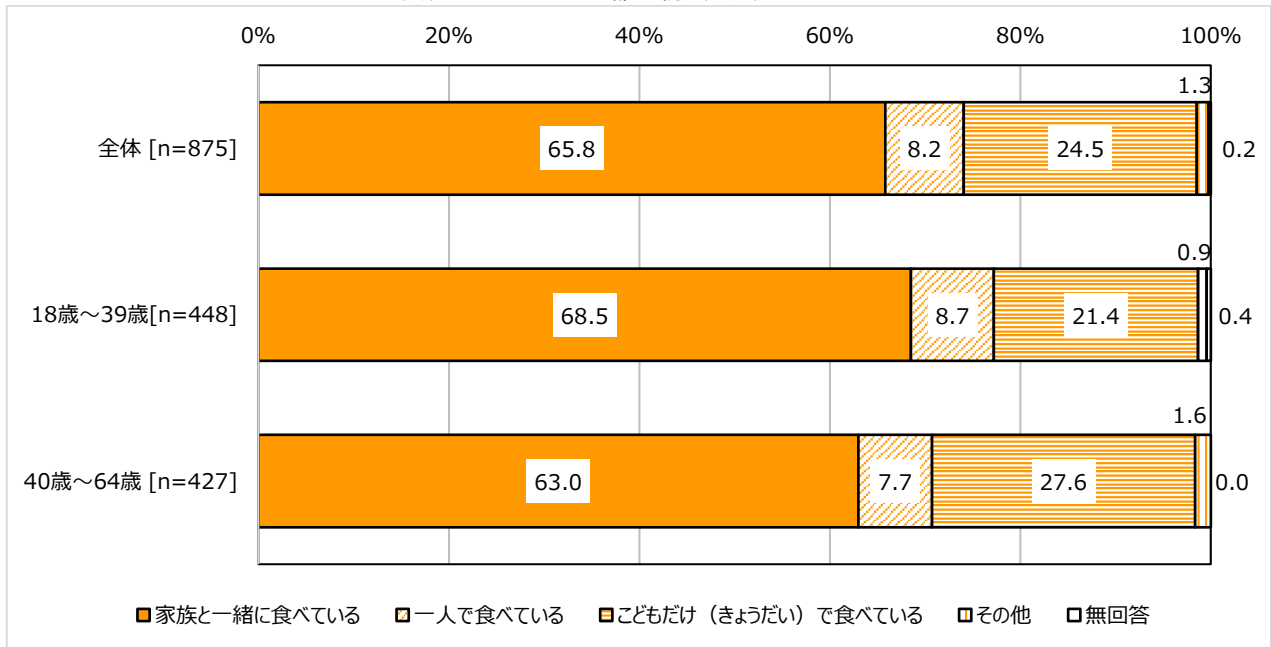
図表 112 こどもが朝食を毎日食べない理由



### ⑤ こどもは誰と朝食を食べているか

こどもが朝食を食べない、または、わからないと回答した人以外に対して、こどもは誰と朝食を食べているかを聞いたところ、全体では、「家族と一緒に食べている」が65.8%、「こどもだけ（きょうだい）で食べている」が24.5%、「一人で食べている」が8.2%となっている。

図表 113 こどもは誰と朝食を食べているか



### ⑥ こどもは週にどのくらい夕食を食べているか

こどもは週にどのくらい夕食を食べているかについては、全体では、「毎日またはほとんど毎日（週6~7日）」が94.1%、「無回答」が4.7%、「週に4~5日」が0.5%となっている。

図表 114 こどもは週にどのくらい夕食を食べているか

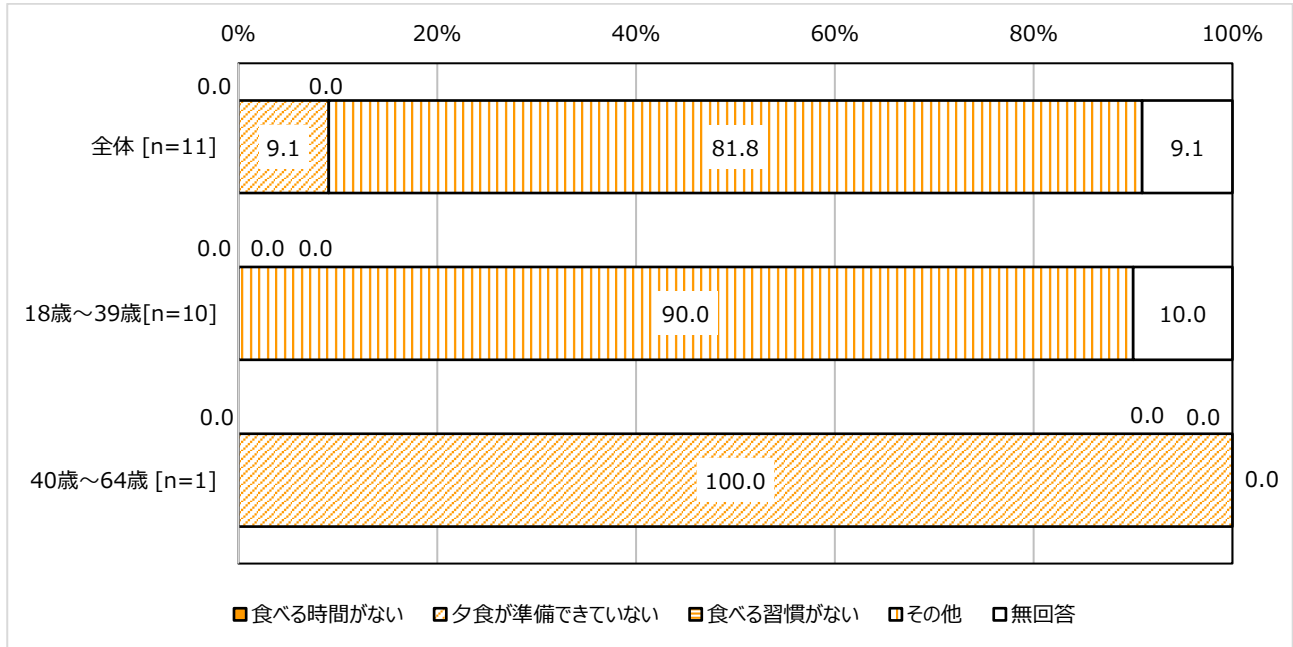
(単位:%)

	(n=)	(週6~7日) 毎日またはほとんど毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	食べない	わからない	無回答
全体	938	94.1	0.5	0.0	0.1	0.2	0.3	4.7
18歳~39歳	466	96.6	0.9	0.0	0.2	0.4	0.6	1.3
40歳~64歳	472	91.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1

## ⑦こどもが夕食を毎日食べない理由

こどもが毎日またはほとんど毎日（週6～7日）食べると回答した人以外に対して、こどもが夕食を毎日食べない理由を聞いたところ、全体では「その他」が81.8%、「夕食が準備できていない」が9.1%となっている。その他としては、乳児でまだ離乳食だから、帰宅後疲れて寝てしまうから、という回答が多く見られた。

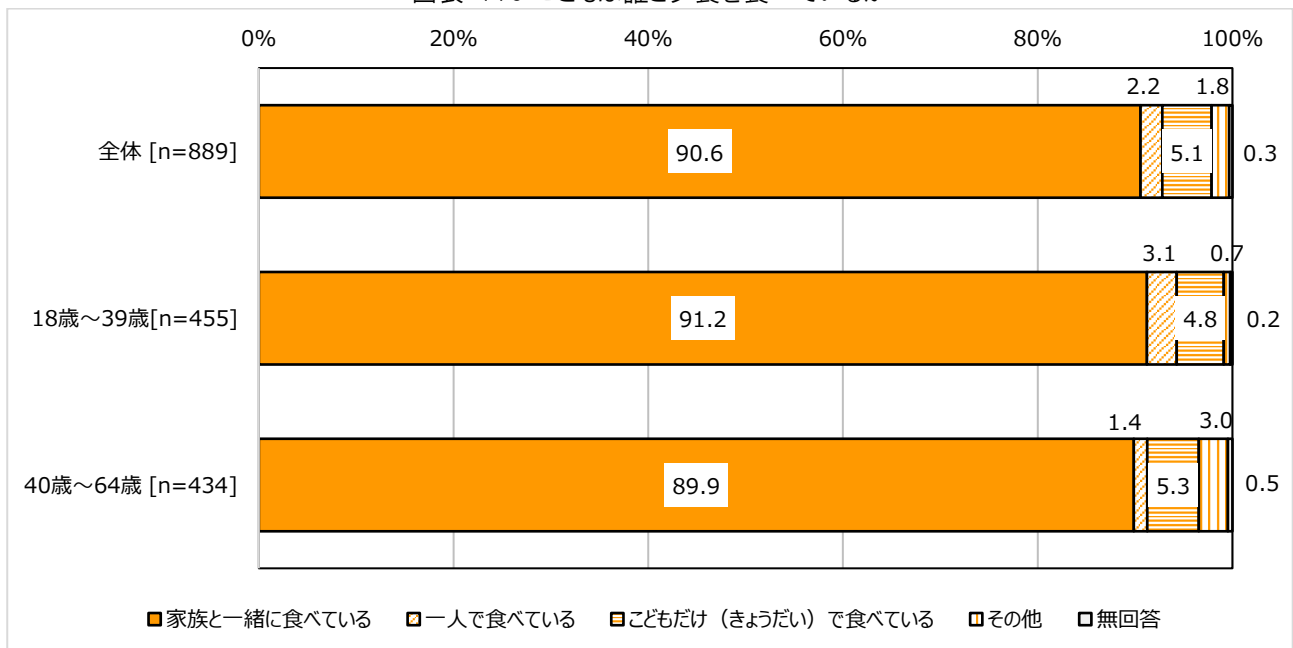
図表 115 こどもが夕食を毎日食べない理由



## ⑧こどもは誰と夕食を食べているか

こどもが夕食を食べない、または、わからないと回答した人以外に対して、こどもは誰と夕食を食べているかを聞いたところ、全体では「家族と一緒に食べている」が90.6%、「こどもだけ（きょうだい）で食べている」が5.1%、「一人で食べている」が2.2%となっている。

図表 116 こどもは誰と夕食を食べているか



【以下は小学生のこどもがいる人が回答】

⑨こどもが学校以外で学習する機会

こどもが学校以外で学習する機会については、全体では、「有料の塾に通っている」が37.9%、「家族が教えている」が36.3%、「児童クラブに通っている」が18.6%となっている。

図表 117 こどもが学校以外で学習する機会〔複数回答〕

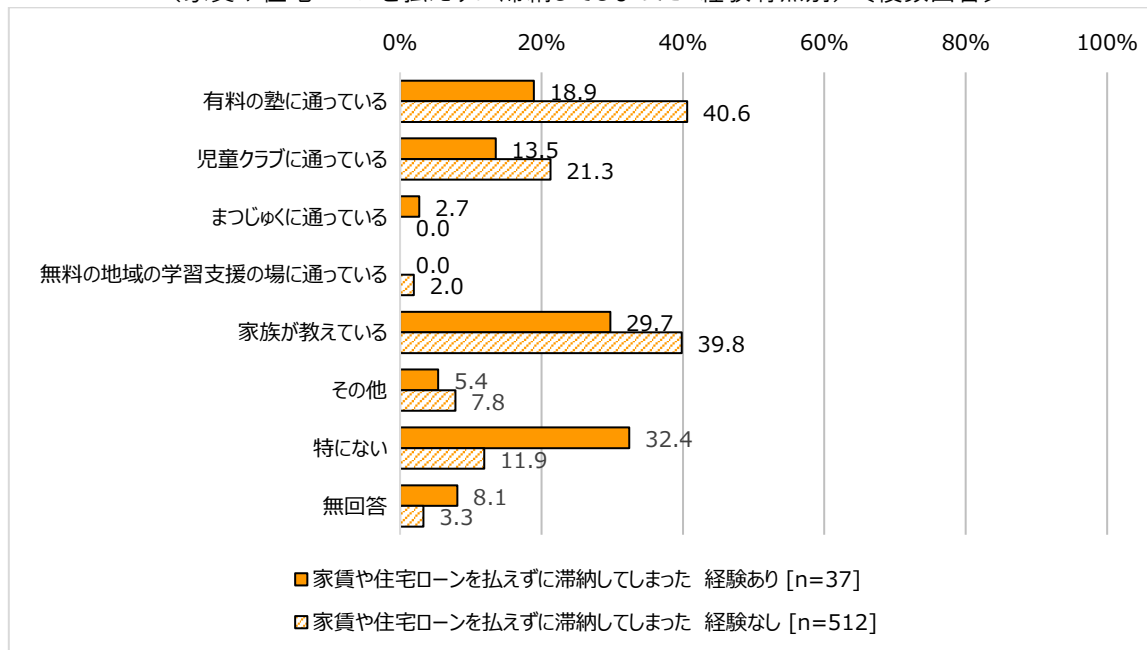
(単位:%)

	(n=)	有料の塾に通っている	児童クラブに通っている	まつじゅくに通っている	無料の地域の学習支援の場に通っている	家族が教えている	その他	特にない	無回答
全体	662	37.9	18.6	0.2	2.0	36.3	7.6	12.5	9.1
18歳～39歳	228	28.5	26.8	0.0	2.2	45.2	7.0	10.5	6.1
40歳～64歳	434	42.9	14.3	0.2	1.8	31.6	7.8	13.6	10.6

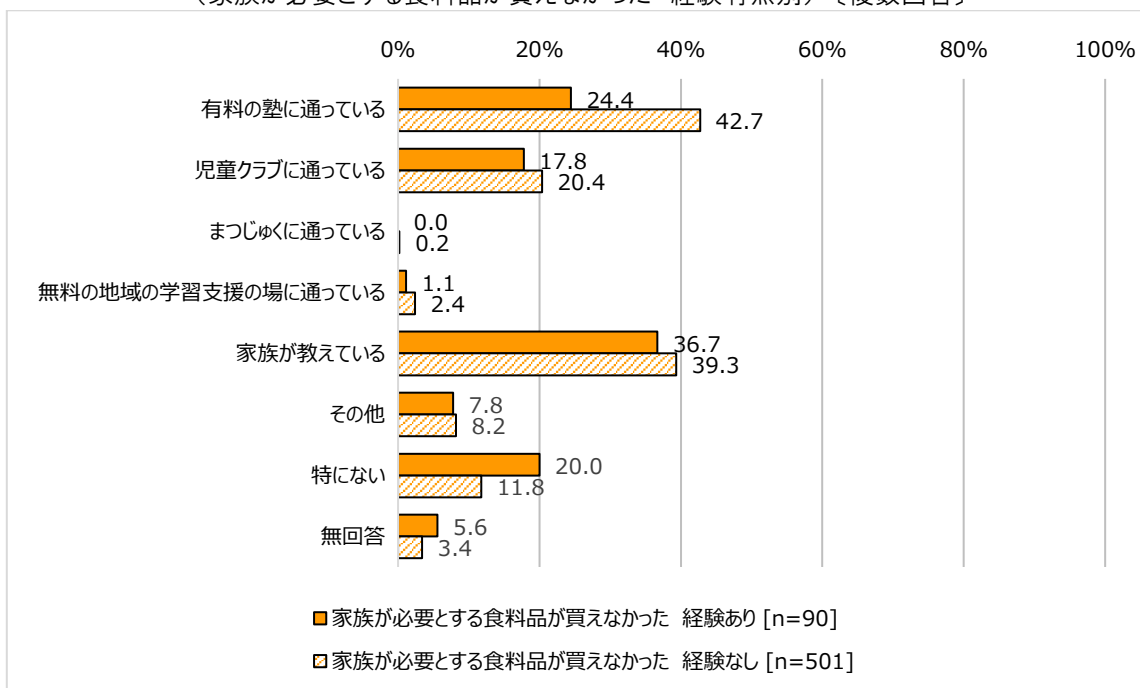
こどもが学校以外で学習する機会を、過去1年間の経験別に見てみると、「家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった」、「家族が必要とする食料品が買えなかった」、「光熱水費を払えずに止められてしまった」という経験がある人の方が、「有料の塾に通っている」割合が低く、「特にない」割合が高くなっている。

図表 118 こどもが学校以外で学習する機会

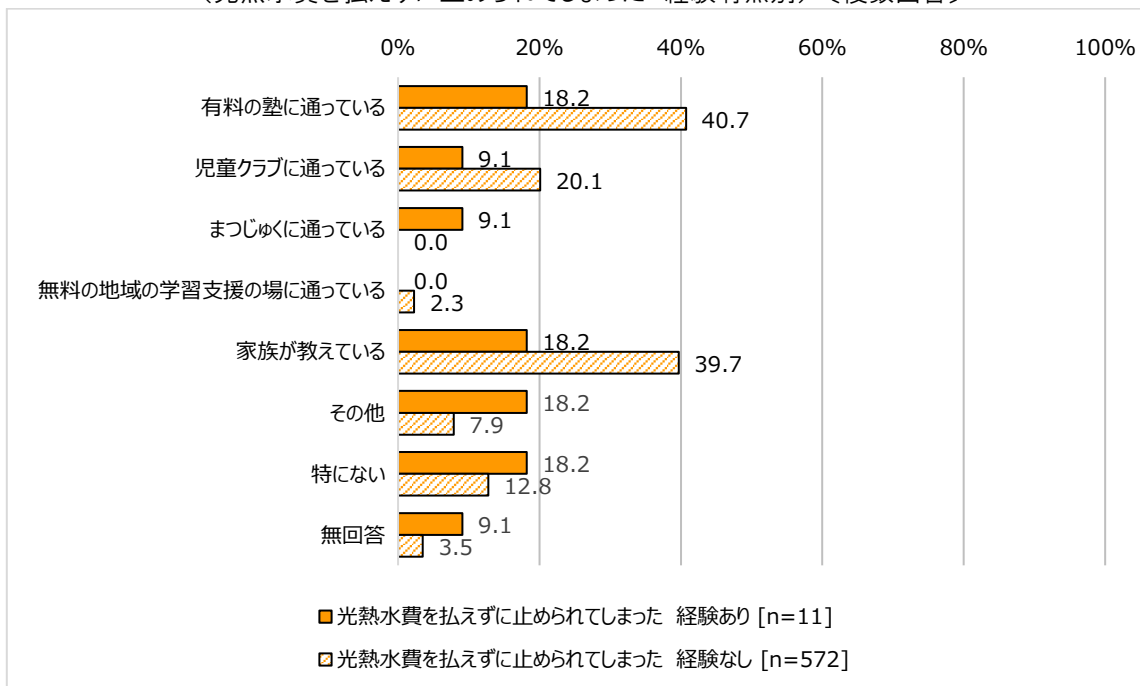
(家賃や住宅ローンを払えずに滞納してしまった 経験有無別)〔複数回答〕



図表 119 こどもが学校以外で学習する機会  
 (家族が必要とする食料品が買えなかった 経験有無別) [複数回答]



図表 120 こどもが学校以外で学習する機会  
 (光熱水費を払えずに止められてしまった 経験有無別) [複数回答]



### ⑩こどもは月曜日から金曜日の放課後、主に誰と過ごしているか

こどもは月曜日から金曜日の放課後、主に誰と過ごしているかについては、全体では「家族」が63.0%、「きょうだい」が41.4%、「学校の友人」が38.5%となっている。

図表 121 こどもは月曜日から金曜日の放課後、主に誰と過ごしているか〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	家族	きょうだい	塾の先生	近所の人	学校の友人	学校以外の友人	一人である	その他	わからない	無回答
全体	662	63.0	41.4	12.8	2.9	38.5	5.1	11.3	9.2	0.2	9.2
18歳～39歳	228	68.9	45.6	9.6	3.9	41.7	3.9	10.1	9.6	0.4	6.1
40歳～64歳	434	59.9	39.2	14.5	2.3	36.9	5.8	12.0	9.0	0.0	10.8

### ⑪こどもは月曜日から金曜日の放課後、主にどこで過ごしているか

こどもは月曜日から金曜日の放課後、主にどこで過ごしているかについては、全体では「自宅」が72.2%、「児童クラブ等」が22.4%、「塾」が15.4%となっている。

図表 122 こどもは月曜日から金曜日の放課後、主にどこで過ごしているか〔複数回答〕

(単位:%)

	(n=)	自宅	親戚の家	友人の家	塾	学校	児童クラブ等	その他	わからない	無回答
全体	662	72.2	2.1	10.0	15.4	8.2	22.4	14.2	0.2	9.2
18歳～39歳	228	71.5	3.5	9.6	9.6	8.8	32.0	12.7	0.4	6.6
40歳～64歳	434	72.6	1.4	10.1	18.4	7.8	17.3	15.0	0.0	10.6